

2003-2004年度  
国際ロータリー第2510地区  
**地区大会記録**

2003年10月24日(金)～25日(土)



2003-2004 R I D I S T R I C T 2510

A large, white, stylized number "2510" is prominently displayed in the lower half of the page. Behind it, a faint, light blue outline of the Rotary International gear logo is visible, with the words "ROTARY" and "INTERNATIONAL" partially legible within the gear's structure.

ホストクラブ／千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ



2003～2004年度

# 国際ロータリー第2510地区 地区大会

2003年10月24日(金)～25日(土)

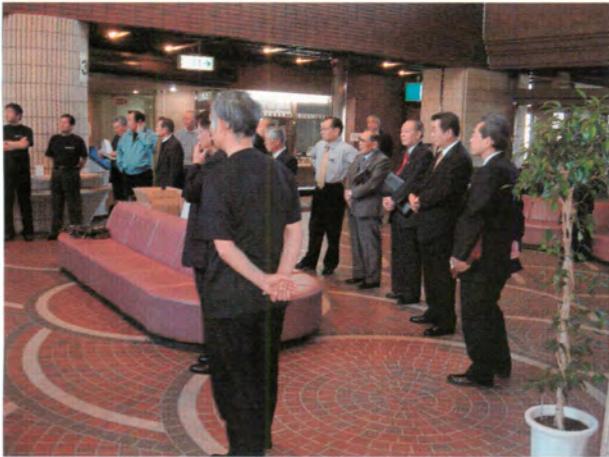


大会第1日目 (会長・幹事会)

# 会長・幹事会



川尻政輝 R | 会長代理挨拶



本番前のミーティング



受付準備も完了



地区内クラブのバナー展示



インターネット体験コーナー



川尻政輝 R | 会長代理ご夫妻



会長・幹事会風景



佐藤秀雄ガバナー挨拶



熱心に聞き入る会場



司会をする木村地区代表幹事

# 大会第1日目 (本会議1日目)



本会議1日目会場



大会運営委員の皆様



挨拶をする佐藤秀雄ガバナー



委員会活動報告



大きな拍手で承認



川尻政輝R I 会長代理講評

# 大会第1日目 (記念フォーラム)



記念フォーラム会場



佐藤秀雄ガバナーによる講師紹介



基調講演をする井上勝一北大助教授



パネラーの皆さん



事例報告

# 大会第1日目 (RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会)



挨拶をする川尻政輝RI 会長代理



お祝の言葉 伊藤義郎元RI 理事



乾杯 大橋康次パストガバナー



ザ・ノース・クアルテットによる四重奏の調べ



乾 杯



山口幸太郎千歳市長も歓談



ご夫人方も和やかに



司会 村田愨親委員長と横道さん



ロータリー会員談笑



フィナーレは“手に手つないで”

# 大会第2日目 (本会議2日目)



川尻政輝 R I 会長代理挨拶



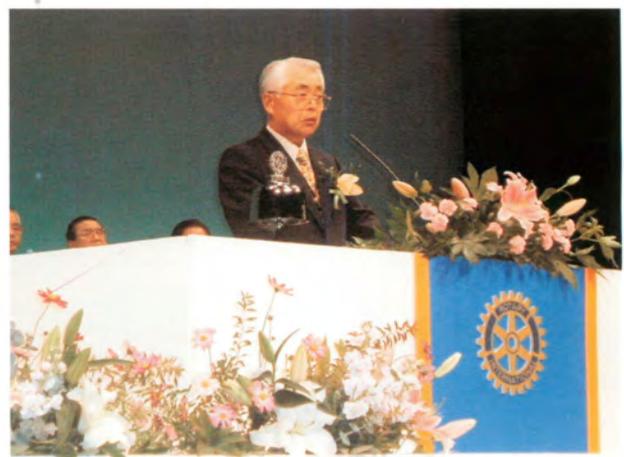
佐藤秀雄ガバナーによる点鐘



ロータリーソング“我等の生業” 斉唱



開会の言葉 浅利作造大会実行委員長



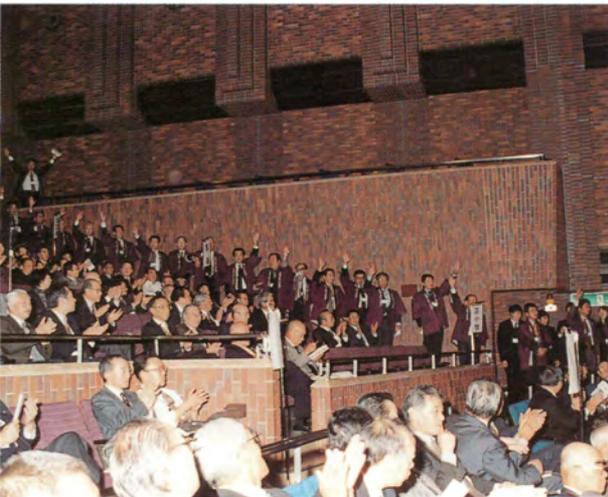
歓迎の言葉 佐々木昭千歳 R C 会長



川尻政輝RI会長代理他壇上右手の皆様



佐藤秀雄ガバナー他壇上左手の皆様



クラブ紹介に応えるホストクラブの皆さん



派遣GSEチームの皆さん



交換留学生もにこやかに

# 大会第2日目 (本会議2日目)



佐藤ガバナーよりロータリー財団表彰他各表彰を受賞した皆さん



ク ラ ブ 紹 介



表彰をサポートした千歳スカイレディズ



挨拶をする遠藤秀雄ガバナーエレクト



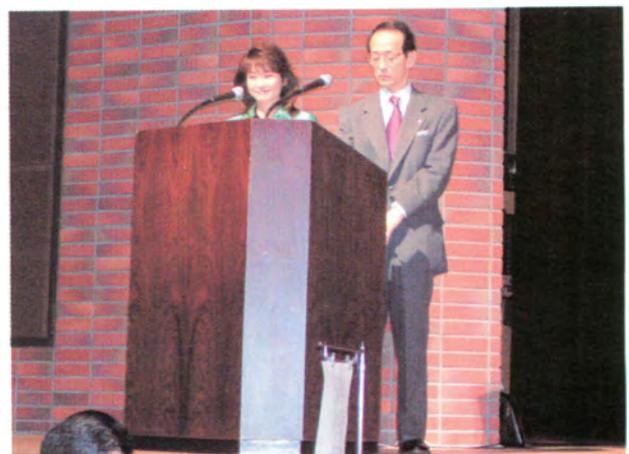
次期地区大会開催地 登別RC寺島紀子夫会長



歓呼に応える川尻政輝RI会長代理ご夫妻



閉会の言葉 村上正治大会実行副委員長



司会 横田義弘大会SAAと横道さん

# 大会第2日目 (記念講演)



記念講演会会場



佐藤秀雄ガバナーによる講師紹介



記念講演会講師日高義樹米・ハドソン研究所主席研究員



熱心に聞き入る会場



熱弁をふるう日高義樹氏

# 大会第2日目 (記念懇親会)



会場案内板



お客様をお迎えるホストクラブの皆さん



浅利作造大会実行委員長



佐藤秀雄ガバナー



富原 薫パストガバナー



成績発表 大屋建一ゴルフ大会委員長



成績発表 藤田信一囲碁大会委員長

# 大会第2日目 (記念懇親会)



日高義樹氏と談笑する遠藤正之バストガバナー



麒麟ビールバックアップガールズ



サントリーのお手伝い



日高さんよろしく



日高義樹氏を囲んで



トロをください。



大野 馮千歳セントラルRC会長



フィナーレ“手に手つないで”

# 記念ゴルフ大会



案内板



受付風景



大屋建一ゴルフ大会委員長



大野 馮千歳セントラルRC会長



“緊張してます”



“はやく写せよ”



“リラックスしてます”



ナイスショット



遠藤秀雄ガバナーエレクトより優勝杯授与

# 記念囲碁大会



審判長の説明



いよいよ決勝戦



成績発表



見事Aクラス優勝



乾杯 伊藤長英バスターガバナー





## 地区大会の記録 目次

RI 会長メッセージ ……………	18	歓迎の言葉 ……………	84
ガバナー挨拶 ……………	20	挨拶並びにRI 会長代理ご夫妻とご来賓の紹介 ……	86
<b>大会 第1日目</b> ……………	21	ご来賓祝辞 ……………	87
<b>会長・幹事会</b> ……………	22	RI 会長代理挨拶 ……………	89
開会の挨拶 ……………	22	物故会員の追悼 ……………	91
挨拶並びにRI 会長代理ご夫妻の紹介 ……	22	RI 現況報告 ……………	93
RI 会長代理挨拶 ……………	24	地区現況報告 ……………	98
協議 ……………	31	表彰 ……………	100
大会決議案上程審議 ……………	31	直前ガバナーへ記念品贈呈 ……………	101
大会決議案上程承認 ……………	31	表彰者名簿 ……………	102
大会運営について ……………	32	ガバナー・エレクト挨拶 ……………	106
諸事お知らせ ……………	32	次期地区大会開催地ホストクラブ会長挨拶 ……	107
<b>本会議 (1日目)</b> ……………	33	記念講演 ……………	108
挨拶並びにRI 会長代理ご夫妻とご来賓の紹介…	33	講師紹介 ……………	109
大会運営委員会報告		講演「ブッシュ政権の新しい世界戦略と アメリカ経済の見通し」 ……	109
大会登録委員会報告 ……………	34	謝辞 ……………	118
大会信任状委員会報告 ……………	34	RI 会長代理所感 ……………	119
大会選挙管理委員会報告 ……………	34	お礼の言葉 ……………	120
大会決議案上程 ……………	34	閉会の言葉 ……………	121
2002-2003年度決算報告 ……………	34	<b>記念懇親会</b> ……………	122
2002-2003年度決算監査報告 ……	35	開会の言葉 ……………	122
大会決議案採択 ……………	35	ガバナー挨拶 ……………	122
RI 会長代理講評 ……………	36	乾杯 ……………	123
各委員会活動報告 ……………	41	閉会の言葉 ……………	124
<b>記念フォーラム</b> ……………	58	<b>記念ゴルフ大会</b> ……………	125
パネラーご紹介 ……………	59	成績発表 ……………	125
基調講演 ……………	61	<b>記念囲碁大会</b> ……………	126
事例報告 ……………	66	成績発表 ……………	126
<b>RI 会長代理ご夫妻歓迎晚餐会</b> ……	76	ご来賓ご招待者ご芳名 ……………	127
ガバナー挨拶 ……………	76	参加クラブ紹介 ……………	128
RI 会長代理挨拶 ……………	77	地区大会特別参加者名簿 ……………	134
ご来賓祝辞 ……………	78	地区大会登録者名簿 ……………	135
元RI 理事挨拶 ……………	79	地区資金収支決算書 ……………	145
乾杯 ……………	79	地区年次大会収支決算書 ……………	149
アトラクション ……………	80	地区協議会収支決算書 ……………	151
閉会の言葉 ……………	81	地区大会実行委員会名簿 ……………	153
<b>大会 第2日目</b> ……………	82	編集後記 ……………	155
<b>本会議 (2日目)</b> ……………	82		
開会の言葉 ……………	83		

## 国際ロータリー会長メッセージ

JONATHAN B. MAJIYAGBE  
President, Rotary International



Dear Rotary Friends and Guests attending the District 2510 Conference,

I send my warmest greetings to each and every one of you attending this 2003-2004 District Conference. I wish to express my great appreciation for the dedication and hard work of Governor Hideo Sato who, along with the District Conference Committee, have put together a comprehensive program of Rotary information, fun and fellowship. I hope that you will take this opportunity to make new friends, renew friendships with previous acquaintances, and above all broaden your Rotary horizons with an increased understanding of true Rotary service.

As there are over 500 district conferences taking place around the world, you will please understand that it is not possible for me to visit all of the conferences taking place this year, as much as I would love to. I have, therefore, invited an outstanding Rotarian to represent me at your district conference. Kindly welcome Masateru Kawajiri and his spouse, Ayako, as your president's representatives. I know you will enjoy their company and their inspiring messages during the conference.

I have asked Masateru to encourage you to **Lend a Hand** to those in need. With the combined strength of our membership, we must fight poverty in our various communities. We must clothe the naked, feed the hungry, provide homes for the homeless and eliminate those deprivations which lead to conflict and violence. Find a way to **Lend a Hand** in your club, vocation and community and to our world to promote international understanding and peace.

Kind regards,

Yours sincerely,



Jonathan B. Majiyagbe  
President, Rotary International

## 第2510地区大会にご出席の来賓 及びロータリアンの皆様へ

2003-2004年度地区大会にご出席の一人一人そして全ての皆様に心からご挨拶申し上げます。

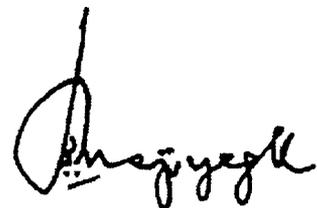
私は地区大会実行委員会の皆様と共に、ロータリー情報、喜び及び友情の広範囲のプログラムを組み立てて下さった佐藤秀雄ガバナーのご献身とご苦勞に対して感謝の気持ちを申し上げます。私はこの機会に皆様が新しい友人を作って、古くからの友人と親交を暖めて、真のロータリー奉仕の理解を高めると共に、皆様のロータリー精神の範囲を拡げられる事を希望申し上げます。

世界中で500を超える地区大会が開催されますので、私は是非参加したいのですが、今年開催の全ての大会を訪れる事は出来ませんので、どうかご理解を賜りたいと存じます。

それで私は著名なロータリアンを私の代理として貴地区大会に出席させたいと存じます。どうか貴地区大会への会長代理として川尻政輝・綾子ご夫妻を受け入れて下さるようお願い申し上げます。私は大会中にお二人が列席して差し上げるすばらしいメッセージを喜んでいただけたと思います。

私は川尻政輝氏に“困った者に手を貸そう”という言葉で皆様に自信と希望を与えるようお願い致しました。我々会員の強力な結びつきで、我々は様々な地域社会で困苦と闘わなければなりません。我々は裸の者に着物を着せて、飢えている者に食べ物を与えて、家のないものに住まいを与えて、衝突と暴力に繋がるこれらの剥奪を取り除かねばなりません。皆様のクラブ、職域、そして地域社会で“手を貸そう”の方法を見つけて、我々の世界に国際理解と平和の道を見つけましょう。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



国際ロータリー会長  
ジョナサン B. マジィアベ

## ガバナー挨拶

2003～2004年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー

佐藤 秀雄



地区大会にあたり一言ご挨拶申し上げます。地区大会は年に一度地区会員が一同に会して、朋友との交流、感銘深い講演、地区内クラブやR I全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進する事に行ります。今大会はR I会長代理に川尻政輝様をお迎えし、かつ地区内外よりご多忙にもかかわらずガバナー、令夫人、パスト・ガバナー、ガバナー・エレクトそして新世代の皆様のご臨席を賜り、心から歓迎と感謝の意を表したいと思ひます。私は72クラブの公式訪問を終えました。そこで感じたことは札幌市を中心とした市町村は僅かでありすが人口が増えています。それ以外の都市、町村では全て人口を減らし、ロータリー会員も減っています。日本経済特に北海道経済は厳しい環境にあり、そんな中で各クラブは会員増強に努めかつ予算を節約しながらクラブ運営を余儀無くされています。心から御礼を申し上げます次第であります。

さて、今年度マジニアベR I会長は世界に幾百万と存在する極貧の人々に「手を貸そう」をテーマに掲げられました。暖かいロータリアンの心をもって支援するのは勿論のこと、今大会の記念フォーラムを地球環境に「手を貸そう」との思いから、環境保全の問題を皆で考えることとしました。宇宙の惑星地球は今大変な時を迎えています。人類の利便性のために発明された数々の製品によってオゾン層の破壊、地球温暖化によって各地で起こる異常気象、異常気象によつてもたらされる旱魃そして洪水。このように人類によって破壊された地球をどのようにすれば、もとの地球に修復できるのか、身近な観点から考えて参ります。前半は各クラブが実施した環境に関連した事業を取り上げナレーション付映像を使つて報告し、後半は4人のパネラーで環境について討議をしたいと考えています。

又、遠距離からの参加を考慮し、本大会の終了は15時を考え、登録料も最低限で抑えました。多くの会員の登録をいただき心から御礼を申し上げます。



## 大会第1日目プログラム

### ◎会長・幹事会

と き 2003年10月24日(金)  
 ところ 千歳市民文化センター 4F大会議室  
 司 会 地区代表幹事 木村 照男

- 11:00 登録開始
- 12:00 点 鐘 ガバナー 佐藤 秀雄  
 国歌斉唱  
 ロータリーソング「我等の生業」  
 開会の挨拶 大会実行委員長 浅利 作造  
 挨拶ならびにRI会長代理ご夫妻の紹介  
 ガバナー 佐藤 秀雄  
 RI会長代理挨拶 RI会長代理 川尻 政輝
- 12:35 協 議  
 大会決議案上程審議  
 大会決議委員長 遠藤 正之  
 大会決議案上程承認 ガバナー 佐藤 秀雄  
 大会運営について  
 大会実行副委員長 村上 正治  
 点 鐘 ガバナー 佐藤 秀雄
- 12:50 諸事お知らせ 地区幹事 大川 健一  
 終 了

—— 移 動 ——

本会議(1日目) 千歳市民文化センター 2F中ホール  
 進行 木村 照男

- 12:00 登録開始
- 13:00 点 鐘 ガバナー 佐藤 秀雄  
 挨拶ならびにRI会長代理ご夫妻とご来賓の紹介  
 ガバナー 佐藤 秀雄  
 2002-2003年度決算報告  
 前年度財務委員長 杉下 清次  
 2002-2003年度決算監査報告  
 パスト・ガバナー 岩城 秀晴
- 13:20 大会運営委員会報告  
 大会登録委員会報告  
 大会登録委員長 伊藤 長英  
 大会信任状委員会報告  
 大会信任状委員長 岩城 秀晴  
 大会選挙管理委員会報告  
 大会選挙管理委員長 森本 正夫
- 13:40 大会決議案上程 大会決議委員長 遠藤 正之  
 大会決議案採択 ガバナー 佐藤 秀雄
- 13:50 各委員会活動報告  
 講 評 RI会長代理 川尻 政輝
- 15:45 —— 休 憩 ——

### ◎記念フォーラム

と き 2003年10月24日(金)  
 ところ 千歳市民文化センター 2F中ホール

- 16:00 記念フォーラム  
 「地球の未来の為に今、私達が出来る事は？」  
 環境保全について各クラブの事例を映像で放映  
 基調講演 北海道大学助教授 井上 勝一  
 劉 向東 (中国)  
 チンタ マニ ゴータム (ネパール)  
 ジラサック ギムファン (タイ)
- 進 行 ガバナー 佐藤 秀雄  
 点 鐘 ガバナー 佐藤 秀雄
- 18:25 諸事お知らせ 司会進行副委員長 酒井 宏
- 18:30 終 了

### ◎RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

と き 2003年10月24日(金)  
 ところ 千歳全日空ホテル  
 司 会 村田 研一 アシスタント 横道 貴子

- 18:30 ウェルカムドリンク
- 18:45 開 会  
 歓迎の挨拶・来賓紹介 ガバナー 佐藤 秀雄  
 RI会長代理挨拶 RI会長代理 川尻 政輝  
 乾 杯 第2510地区PG 大橋 康次  
 祝 宴 アトラクション「The North Quartet」  
 閉会の言葉 大会実行委員長 浅利 作造  
 ロータリーソング「手に手つないで」
- 20:15 閉 会

# 大会第1日目

## 会長・幹事会

### 開会の挨拶



大会実行委員長

浅利 作 造

2510地区ならびに地区外のロータリアンの皆さん、ようこそ千歳にいらしてくださいました。沢山のご出席ご登録大変ありがとうございました。今日、明日と種々いろいろな催しがありますが、実りあってそして楽しい大会でありますことを祈念申し上げまして、開会のご挨拶といたします。どうもありがとうございました。

### ガバナー挨拶並びにR I 会長代理ご夫妻の紹介



ガバナー

佐藤 秀 雄

皆さんこんにちは。天候も大分よくなりました、実は昨日、一昨日は非常に豪雨でございましたけれども、今日は朝から大体晴れましてゴルフの方も少しですね、安心したかなというふうに思っております。本日はR I 会長代理、川尻政輝様ならびに令夫人綾子様ご臨席のもと、この会長・幹事会を盛大に開催することができまして、会場を設営して頂きました、ホストクラブであります千歳ロータリークラブならびに千歳セントラルロータリークラブの会員の皆様に、心から御礼を申し上げます。後ほど大会決議委員長からご報告があらうかと思いますが、9月26日早朝に起こりました十勝沖地震、この義援金支援についてのご提案を申し上げたいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。

昨日2時半過ぎにR I 会長代理川尻様ご夫妻をお迎えいたしまして、空港VIPルームでお話をいたしましたところ、気楽に楽しくこの大会をやりましょう、というお話をして下さいました。大変心の荷が下りたような気がしているわけがございます。そんなわけで、途中大変とちる場面があ

ろうかと思えますけども、ご容赦の程宜しくお願  
いしたいと思います。

川尻政輝様ご夫妻のご紹介をさせていただきます  
。「R I 会長代理川尻政輝様ならびに綾子様で  
ございます」。

それでは、R I 会長代理のご経歴を皆様にご報  
告させていただきます。

1969年4月、日本弁護士連合会に登録され、

1994年4月、日本弁護士連合会役員、

1998年4月、関西弁護士連合会役員、

ロータリー歴は1982年8月、東京世田谷ロー  
タリークラブに入会、1997年から1998年、東  
京世田谷ロータリークラブ会長、2000年から2001  
年、第2750地区ガバナー、2001年から2004年、  
ロータリークラブのための新モデルの試験的プ  
ロジェクト日本代表、2003年から2004年、会  
員増強コーディネーター、2004年からR I 研修  
リーダーというご経歴でございます。

来年からR I の研修リーダーということは、私  
たちがアナハイムにいった時に、徹底的にしごか  
れる先生でございまして、これもですね、R I 研  
修リーダーというのは大変でございまして、私た  
ちがアナハイムに行く10日くらい前からアナハ  
イムで徹底的に私たちの先生が教育されてその教  
育したそのものを私どもにぶつけてくるもので  
すから、これも全部英語でやるものですから、本当  
にこの2004年度から川尻R I 会長代理にしごか  
れると共に、しごく立場でもありますので大変い  
い方をR I は当地区に派遣をしていただいたな  
ど、心から思っているわけでありまして。そんな  
ことございまして、新プロジェクトの日本代表で  
ございますし、またR I 研修リーダーという立場  
からもいろんなR I のお話が聞けるとおもいます  
ので、乞うご期待ということでございます。

つづきまして、来賓のご紹介をさせていただきます。

大会決議委員長の遠藤正之パスト・ガバナー、  
遠藤秀雄ガバナー・エレクトでございます。

10月15日に当地区ガバナー指名委員会がござ  
いました。ここで次々年度のガバナー・ノミニ  
ーの決定を見ております。

ガバナー・ノミニーの塚原房樹様でございま  
す。

先程挨拶しました浅利作造大会実行委員長、ホ  
ストクラブの千歳ロータリークラブ佐々木昭会  
長、千歳セントラルロータリークラブ大野 馮会  
長でございます。

以上でございます。

## 国際ロータリー会長代理挨拶



### 国際ロータリー会長代理 川尻政輝

皆さんこんにちは。只今過分の紹介をいただきましたけれども、佐藤ガバナーが言われるように私は人をいじめるのは生きがいではありません。ただ、天命の勤めでありますので、なるべく遠藤エレクトとは、アナハイムで仲良く思い出になるように帰ってきたいと思っております。宜しくお願ひします。

皆さん方のこの地区は、なかなか歴史のある地区でございます、日本でも指折りの地区でございます。私と家内がこの地区の会長代理に指名されましたことは本当に光榮に思っております。ただ、会長・幹事の皆さん方とできれば小人数のグループでロータリーの今後についても議論をしていきたいと思っておりますが、アナハイムへ行っても日本から34人のガバナー・エレクトが2班に分かれて、なかなか一同で議論するという機会がないので、これも国内において何か制度を考えなければならない時期になっているのかも知れません。

この地区には私が日頃から敬愛しております元RI理事の伊藤バスター・ガバナーと竹山バスター・

ガバナーがいらっしゃって、しかも、私が日頃からご指導いただいております、地区バスター・ガバナーの先輩方がいらっしゃるのです。また私の友人も沢山いる地区でございます。私はこの方々とお会いできるのを指折りに楽しみにしております。

昨日から佐藤ガバナーにはお世話になりながら、この日本の開拓精神が残っている北海道が、やはり全国の開拓精神をロータリーに取り入れて日本をリードしていただきたいというのが、私の会長代理としての皆さん方に期待すると同時にお願いをするところでございます。本日も明日の許された時間内で100年経ったロータリーが、次の100年、本当に発展し続けることができるのだろうかという厳しい時代に遭遇しております。皆さん方も各クラブでいろいろ悩んでいらっしゃると思います。その問題について今日は少し皆さんといっしょに考えてみたいと思っております。時間が限られておりますので、整理されないままで本会議での話とダブる点があるかも知れませんが、お許しを願ひたいと思っております。



今、皆さん方のクラブで、しかも、今国際ロータリーの定款細則あるいは標準ロータリークラブ定款を適用した皆さん方のクラブで、どうもその条文自体が皆さんのクラブの発展に障害になる条文があるのではないかとということで、ひとつそれを世界200クラブで試験的に試みようということで、今日本でも三つのクラブで試験的なプロジェクトとして定款を取り払ったところで、ロータリーの次の100年の発展のためには、今国際ロータリーの定款細則あるいは標準ロータリークラブ定款の障害になるべきものは何かということ、客観的なデータとしてまとめて見ようということになっております。これは、本会議のところで皆さま方にご披露しようと思っております。今日はまず国際ロータリーの基本的な考え方の一つとして、国際ロータリーは何かといいますと、皆さん方のクラブの連合体であるということ、これをまず頭にに入れて整理していただきたい。

皆さん方のクラブが、すなわち世界中のクラブの連合体が国際ロータリーということになっております。したがってロータリーで一番大事なものはクラブであるということ、これをまず認識していただきたいのです。この問題を皆さんといっしょに考えてみたいと思います。

今世界で取り組むべき問題をクラブ会長とクラブ幹事が取り組まなければなりません。これは今の国際ロータリーの定款細則、標準ロータリークラブ定款に基づくクラブの運営について、四つだけ皆さん方に取り組んでいただかなければならない問題があるわけで、そして、今の皆さん方のクラブが十分に機能しているクラブとして評価されるには、この四つの問題と会長さんが取り組んでいるかどうかというのが基準になっております。

一つ目は、まずクラブの会長、幹事さんが会員の基盤を維持するように努力しているかどうか、これが一つの要素であります。昔から言われる問題として、会員の増強と退会防止という問題、これについてどう取り組んでいるかというのが、クラブの一つの重要な要素であります。しかも、これは十分に効果を上げているクラブかどうかという問題の評価になっております。ただ、今なぜ会



員の増強、退会防止という言葉をよく使わなくなったかと言いますと、会員の退会防止というのは、皆さん方のクラブで退会しようという特定の会員を、どう退会させないかということであり、今そうではなく、やはり会員がいろいろのクラブの機能を果たすのについて、その基盤がクラブの中で維持されているか、ということであり、それは会員の基盤を維持していくためには、クラブの例会運用が形式的になっているんじゃないか、あるいは出席が疎かになっているんじゃないかとか、いろいろの問題がございますけれども、そういうものがクラブの中で機能しているか、どうかという問題でございます。

それから、二つ目は、皆さんのクラブが奉仕活動、特にクラブの問題として重要なのは地域社会に対して奉仕活動しているかどうか、それと他国の地域社会で活動しているかどうか。これは手続要覧からいうと、社会奉仕と国際奉仕、これと皆さま方のクラブが真剣に取り組んでいるかということが、一つの重要な要素になるわけです。

それから三つ目は、ロータリー財団に対して、ロータリー財団のプログラムにどの程度クラブが参加して、ロータリー財団のプログラムに参加するために、それに必要な資金調達、これはクラブがどのような形で努力をしているか、こういう問題があります。この二つを支援しているかどうか、三つめの重要な要素でございます。

それから四つ目は、私達が皆さま方のこの会合に私が家内と会長代理として指名され、皆さんとこのように一同で将来のロータリーについて考える、このこと自体もひとつのロータリーにおいて

は奉仕でございます。皆さま方もクラブの中で、クラブを越えた指導者の養成の奉仕をしているのかどうかは、今重要な問題でございます。これは具体的な例を言いますと、やはり地区の要請があった場合に、有能でやる気のある人を派遣しているか、あるいは地区の中でRIに人を推薦しているか、自分達のクラブだけで小さく纏まっているクラブであるかどうか、この四つの点が今クラブが有効に活躍して役割を果たしているかどうかという重要な問題です。

ただ今日は、この四つを皆さま方といっしょに考えると時間が足りませんので、二つ、会員基盤を維持しているかという一番目の問題と、三番目のロータリー財団のプログラムに参加してそれに必要な資金調達を皆さんどうしているのだろうかという、この一番と三番について皆さま方と一緒に考えてみたいと思っております。

ご存知のように、皆さま方のクラブで会員はなぜやめるのだろうかという問題について、どうお考えですか。何故あの期待されていた若い会員が3年未満でクラブを去っていったか、その理由は何だろうかということをお考えになっていらっしゃるだろうとは思っておりますが、この会員がやめる理由については、もうご存知だろうと思えます。私が問題提起して皆さま方に答えていただくという時間がございませんので、私が回答しますので、これをクラブに帰ってクラブの中で議論を深めていっていただきたい。

現会員がロータリーを退会する理由については、一つはロータリーにあまりにも時間が取られ過ぎるという問題です。これは、明日の本会議になるか今日の本会議になるか分かりませんが後ほどお話しします。将来クラブを背負って期待されていた若い会員が、このロータリークラブに時間が取られすぎるため退会する。これが一つの理由です。この時間的な問題をどう解決するかということも後ほどできますけれど、ロータリーというのは今までのように例会を一週間に一回開催するのが本当の21世紀、あと100年のロータリーを発展させるための本質的な問題なんだろうか、あるいはロータリーの手段なんだろうかとい

う問題がここにあるわけです。これは世界的に提起されている問題で、私は日本のロータリーがこれに反対するならば、ここを徹底的に皆さんと究明していかなければなりません。ロータリーというのは時間がないといっても、一週間に一回開催するのが、ロータリーの本質だというならば、またこれが日本のロータリーの本質だというならば、日本のリーダーは外国に向かってそれを発信していかなければ、世界のロータリーの傾向は50%以上が若い人に時間がないなら一週間に一回例会を開く必要はないのではないかという方向になりつつあります。私は、これは日本のロータリーの先輩方と研究して日本の立場を主張していきたいと考えております。それでなければ多数の外国の頭数に押し切られる危険があります。この問題は本会議でもう一度皆さんといっしょに考えさせていただきたいと思っております。時間のない人に、その時間を与えるから二週間に一回の例会に出席すればいいから、あなたはロータリアンを続けなさいということが、ロータリーの本質なのかどうか、そこまでロータリーは原則を変えなければならないのかどうか、いや原則を変えてもロータリーは、重要なものを維持すればそれでいいんだというように皆さんが考えるかどちらかになります。これはおそらく、2、3年の間に結論がでてくる問題だろうと思っております。これを皆さんに考えていただきたい。

若い有望な会員が3年未満でロータリークラブをやめる、私は、ロータリーがあまりにも時間がかかり過ぎる。だから続けられないという人はロータリアンとして好ましいのか、あるいはそうい



うものまで取り込んでいかなければならないのか、という苦しい選択をいずれはせざるを得ないだろうと考えております。

それから二つ目は、退会する理由は会員の経済的な負担を軽くしなければならないのではないかと。特に日本の場合、あまりにもクラブ運営その他に金がかかり過ぎるのではないかと、やはり負担を軽くしていくべきでないのか、軽くしないから若い人と長年在籍した高齢会員が退会していく傾向があるわけです。日本でもこれを考えていかなければならない。

従来日本の場合は、あまりにもロータリーに金を使い過ぎた、もう少し変わったやり方がないんだらうかということ、皆さんといっしょに考えていかなければならない。

外国のガバナーに聞きますと、日本のロータリークラブは金がかかりすぎているという。一流のホテルで例会を開催して各クラブで事務局を抱えて、そして昼間高級な食事を取るということ、これがロータリーの本質的な要求じゃないんだよ。コーヒー一杯とケーキで例会をやるということもロータリーは手段としては許されている。何故日本は高級ホテルで行へならなくてしかも昼間の一番大事な時間に高級ホテルで高級な料理を食べながらロータリーを運営していくのか、金がいくらあっても足りないはずだ、もうちょっと考えるべきではないか、日本のロータリークラブは、と言われるんです。

しかし、これは突然に途中でコーヒー一杯で例会をするというのは、どうもなじまないのではないかと、やはりロータリアンのプライドもあるわけで、これを日本のロータリーは解決していかなければならない。すなわち会員の経済的負担を軽くしなければ、若い会員はますます減っていくであらう。

三つ目としては、クラブの運営が、今会員が要求するニーズと乖離して運営されているという問題、クラブは30年、40年前の形式で運営されている。しかし会員は新しい考え方を持って入会している、ここにニーズに応えられないクラブの運営方法があり、これに物足りないか、これに飽き

て会員がやめていくという問題があります。

それから四つ目は、やはり親睦の欠如、昔のロータリアンは、非常に仲良く楽しく、あまりよいな心配もなく楽しんで過ごしていたというけれども、今のロータリアンは、どうも形式的に義務的に例会に出席しているような気配がある。これは親睦という問題がロータリー全体の中で軽視されてきているのではないかと、これは皆さん、この先輩方、パスト・ガバナーの先輩方も気づかれていますと思いますが、我々がクラブに入会した時には、先輩方からロータリーというのは親睦、日本という友情ですね、友情と奉仕が車の両輪として走るものである、今の手続要覧を読んだと、親睦という言葉はもう親睦委員会の項目のところにしかありません。手続要覧の中から



殆ど親睦とか友情というのが消えてしまっている。それじゃ何が多くなったかという、奉仕が手続要覧のどのページをめくっても、多くなってあります。そうすると、今若い人は我々が教わった親睦と奉仕は車の両輪で、二つとも大事なことだというような教えが、今やロータリーは奉仕を中心とした団体になりきったんじゃないかという疑問を持たれている、奉仕の方へウェイトが置かれてしまったということです。これはロータリークラブの運営そのものをもう一度見直して、友情というものが奉仕と同じようなバランスを持ったクラブ運営でなければならぬんじゃないかという、もちろん友情というのは何かというと、私はドイツの詩人のシラーが言っているように、友情は楽しみを2倍にして苦しみを半分にするということだ。それから日本の徳富蘇峰は友情は、命も



共にできる関係をいう。

そうすると、今日本のロータリークラブについて、そういう人と人との繋がりというか、人と人との支え合い、ロータリアン自体の支え合いというものが段々なくなって、奉仕だけにウェイトが移ってしまった、ここにも退会する理由があるんじゃないかと思っております。

これを皆さま方のクラブで考えて検討していただきたい。もう一度ロータリークラブは、友情を深めながらその絆のもとに奉仕する、後ほど皆さん方に問題を提起いたしますけれど、ロータリーは皆さん誰のためにあるんですか。これは皆さま方で、この地区大会を機会に考えていただきたい。ロータリーは誰のためにあるのか。私はやっぱり、まず皆さま方自分のためにあるんだろうと。そうすると、ロータリーというものが自分のためにあるというならば、これは今経済的に苦しい人がいたとすると、その人に手を差し延べてやらないで、自分以外の人に手を差し延べるのがロータリーの本質だということになれば、ロータリーは後100年続けられるだろうかという問題にぶつかります。どうかロータリーは誰のためにあるのかという問題をクラブで取り組んでいただきたい。今までのロータリークラブの運営について、私はメンバーの一人が経済的に苦しくて会社が潰れそうな時、だまって去らざるを得ない場合、それでいいんだろうか。私はやはりクラブの多くの友人が友情が深められたら、その人達に話したらその人達なりの手助けをしてくれるというところに、ロータリーを続ける価値があるのではないのでしょうか。自分が苦しくなり会社が倒産しようとするときには、黙ってロータリーを去らなければならないのが、本当のロータリーなのかという問題、私はこれから誰のためにあるのかという問題と取り組んでいかなければならないだろうと思っております。

それから五つ目は、今、クラブの会合にいろいろな問題があると思います。しかし、この会合が、まとまりがないと特に若い人は我慢をすることができない人が多くなっているのです、こういう人たちに対して何の拘束もないロータリークラブは、

その人がやめると言ったら引き止める力はないわけで、それには、クラブの中にその人が魅力を感じるものが潜在していなければ、その人はクラブを去っていくわけです。この問題をクラブにおいて皆さま方が工夫をしていただきたい。

それから今の皆さま方のクラブの例会が場所と時間においてベターなんだろうかという問題。もうちょっとベターな方法と時間があるんじゃないか、例会のやり方これがやはり若い人なり退会者に対して不満になっている。

それから最後にやはりこの奉仕活動がどうもクラブの会員そのものに興味を引かないようなプログラムが先行してしまっているという問題があるわけで、こういう問題を会長さん幹事さんがこの一年間で工夫をして、そしてクラブに魅力がなければ退会する会員を引き止める力はロータリークラブにはありません。何の制裁もないわけですから、やめるといふ人に対しては、強制できません。

ロータリークラブのような緩やかな社会を構成した組織ではやはり組織自体が魅力を持って、そこにいることによって、そのメンバーであることがやはり魅力だと、他のところではその魅力はないんだというものがなければ、ほかにもいっぱいそんなものはどこにでもあるということだったら、何も高い金を払ってロータリアンを続けなければならない必要性はなくなってくる。したがって、ロータリーにおいては国際ロータリーも大事ですが、皆さま方のクラブが独自性を持って、独自に運営され、そこに魅力を持つということが最も大事なことであることを自覚していただきたい。

これが退会する人達の大まかな理由になっておりますので今後取り組んでいただきたい。

あと時間が5～6分ということですから、ロータリー財団について、少し触れさせてもらいたい。

ロータリー財団は、皆さん誤解が先に来ているんです。財団というと寄付だと。これは皆さま方の先輩が3年前に寄付された寄付金はまだ2005年までは、60%地区に戻ってきているんです。その地区に戻ってきた金を皆さま方のクラブがどういうふうを使うかという、ロータリー用語でいうとDDFというものです。

3年前に皆さんの先輩がロータリーのために寄付した金の60%が、3年して返ってきてそれを皆さま方のクラブで使える、クラブで使えるというのを、使い方も知らないクラブもあります。そして60%の金が第2510地区に1500万円か2000万円なのか、その金額も知らないで各クラブの運営を続けているのが現状だろうと思います。それは皆さん方と同じように私の第2750地区の東京



の地区でも同じなんです。私は、ロータリー財団というすぐ寄付かという、これは寄付じゃないんです。皆さま方が年間に例えば3万円ロータリー財団に寄付されたとすると、その3万円が、どれだけ地域社会への奉仕と国際社会への奉仕ができていくかということを考えていただきたい。これは米山奨学金も同じです。

私はロータリアンになって何のメリットがあるのかと若い人から聞かれたら、1年に3万円をロータリー財団に毎年寄付している、この3万円で奨学生を外国に派遣して勉強させている、このように説明しています。

米山奨学金であっても毎年2万円寄付することによって、私は外国から来た1000人の外国の学生が日本で勉強するのを手助けしております、そこにロータリアンとしての生きがいを感じている。

というように若い人に説明しなさいと言っております。自分だけで3万円なり2万円寄付しても、そういう活動はできないわけであり、しかしロータリー財団は、世界で120万人のロータリアンが少しずつ協力するからそれができるわけです。ロータリー財団は、素晴らしいプログラムが三つあ

ります。しかも今年の7月から人道的補助金プログラムは抜本的に改正されましたので、この面において財団委員長をはじめとする先輩方は、クラブのレベルで理解を促していただきたいと思います。

どういうプログラムがあるか、教育的プログラムと人道的補助金プログラムとポリオ・プラスプログラムがあります。この三つしかプログラムはないんです。そしてロータリー財団のプログラムは、この三つのプログラムの中の、教育的プログラムに国際親善奨学金と世界平和奨学金といろいろ各論はあります。各論のほうは、皆さんが混乱しますのでここでは説明はいたしません。これは、地区財団セミナー等によって深めていただきたいと思います。

ロータリー財団のプログラムは三つしかありません。この三つのプログラムに皆さんのクラブが参加されて、これをうちのクラブで一人奨学生を面倒見ようとした場合には当然そこには金がかかるわけです。その金をどうして調達するかというのが資金調達という意味で、日本では今まで言われた寄付のことです。寄付というから誤解されるので、私は今年から寄付と言わないで資金調達というようにしております。

資金調達、それは、例えば世界平和奨学生を年間10人日本で預かると、将来の国際平和のため、また紛争解決のために、10名預かるという時に、このプログラムに対して皆さま方が協力するにはやはり資金を少しずつ調達しなければならない。しかし、資金を今年3万円皆さま方が調達されると、それは3年間投資して利益が1割あがると33千円になります。この3千円の収益だけは、運用費とか実費に使われて元金の3万円の60%が皆さんの地区に戻ってきます。2005年までは60%戻ってきます。この60%を皆さんのクラブがどのようにに何に使うかということ、今年を考えていただきたいと思います。

例えば一つの具体例を私のクラブであったことを申し上げますと、東京世田谷ロータリークラブでは、60%戻ってきた金を今年全部地域社会と国際社会の奉仕のために使うという方針をもって、一つは今了承されたのは、例えば災害の時に



皆さま方の家族で小学校、中学校の講堂に避難します。これが2日も3日も続きますと、プライバシーの保護の問題があるので、世田谷区とクラブが研究して、ダンボールで折りたたみ式の間仕切りがあるんです。それを買って区に寄付して、そして区は、災害の時に避難している人達に貸し出すのです。その代金は、DDFで買って寄付するという。これは、クラブの社会奉仕委員会から私が相談を受けて、大いに地区に戻ってきた金を使いなさいということで、もう認可がおりております。そういう形で皆さん方、ロータリー財団は寄付をする、資金調達をするということはまずここ1、2年は棚に上げていただき誤解を解くために、ロータリー財団のプログラムそのもの、それからDDFを十分理解していただきたい。

日本人は理解すると、非常に協力するんです。外国人とアメリカ人と違うところは、理解しないところには金をださないという風潮が、日本の若い人達にも強くなっております。ただ理解すると協力するというのは日本人の非常にいいところです。どうか2006年から地区に戻ってくる金が50%になりますが、皆さま方のクラブで社会奉仕、例えば札幌の町の中で麻薬防止のキャンペーンについて、その金を使うということであれば、地区に戻ってくる60%あるいは、2006年からは50%の金を大いに使って地域社会の社会奉仕を実施していただきたい。

また、国際的に他国のクラブと提携してマッチングを行う場合、昔は同額補助金と言ってました。今年からはマッチング・グラントという。これを大いに使っていただきたい。そうすると、先輩が3年前に寄付した60%を自分達が使え、半分使えるという意識を持って、ロータリー財団にもご理解とご協力を願いたいと思っています。時間がきましたので、今日、明日の話の中で補足したりして説明をしたいと思っています。

## RI 会長代理プロフィール

### ■経 歴

#### 生年月日

1934（昭和9）年2月25日生

#### 所属クラブ

東京世田谷ロータリークラブ

#### 勤務先・役職

川尻法律事務所・弁護士

### ■職 歴

1969年4月 日本弁護士連合会 登録

第二東京弁護士会 所属

1980年4月 東京家庭裁判所調停員並びに  
参与員に任命され現在に至る

1993年4月 第二弁護士会役員に選任される

1994年4月 日本弁護士連合会役員に選任さ  
れる

1998年4月 関東弁護士連合会役員に選任さ  
れる

### ■ロータリー歴

1982年8月 東京世田谷ロータリークラブ  
入会

1993年～94年 同クラブ幹事

1997年～98年 同クラブ会長

2000年～01年 第2750地区ガバナー

2001年～04年 ロータリークラブのための新  
モデルの試験的プロジェクト  
日本代表

2003年～04年 会員増強ゾーンコーディネ  
ーター（RIMZC）

2003年 第2510地区RI会長代理

2004年 RI研修リーダー

ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、  
米山功労者



## 協 議

### 大会決議案上程審議



大会決議委員長  
遠藤正之

只今から大会決議案を上程させていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

只今プログラムの10ページに載っていると云われましたのですでに皆さんお目通しと思えます。ここで川尻RI会長代理、佐藤ガバナーのお許しを得て第1号より13号まで要点のみを申し上げます。

佐藤ガバナーよろしいでしょうか。ありがとうございました。というわけで、10ページからの要点を述べさせていただきます。

- 決議第1号 国際ロータリーのテーマを推進する件
- 決議第2号 ジョナサンB、マジリアベ国際ロータリー会長並びに川尻政輝国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件
- 決議第3号 平成15年十勝沖地震災害に対する救済に協力する件
- 決議第4号 会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件

- 決議第5号 地域社会に対する奉仕活動を推進する件
- 決議第6号 貧困に喘ぐ途上国の人々を支援協力する件
- 決議第7号 2002-2003年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件
- 決議第8号 国際ロータリー第2510地区直前ガバナー小林博氏に感謝する件
- 決議第9号 ロータリー財団寄付増進に協力する件
- 決議第10号 米山記念奨学会の寄付増進に協力する件
- 決議第11号 国際ロータリー2004年国際大会（関西）への参加を推進する件
- 決議第12号 次期地区大会開催に関する件
- 決議第13号 地区大会ホストクラブに感謝する件

以上でございます。よろしくご審議お願いします。

### 大会決議案上程承認

ガバナー  
佐藤秀雄

只今決議第1号から13号までご提案ございました。これにご賛同いただければ大きな拍手でお願いをしたいと思います。

(拍手)

ありがとうございました。決議第1号から13号まで、皆さんの大きな拍手を持って決議させていただきます。ありがとうございました。

## 大会運営について



大会実行副委員長  
村上 正 治

今回の大会につきまして、まず、1,836名にのぼる大勢の参加を頂きましたことは、本日お集まりの皆様方のご理解ご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

本年度の大会はガバナーの方針もございました、最少の経費で最大の効果を上げるべくホストの両クラブが一丸となって努力致して参りましたが、如何せん、初めての経験でもあり、且つまた、会場等限られた施設でもありまして、大会ご参加の会員の方々のご満足を頂けない点多々あるかと存じますが、何卒私どもの熱意をお酌み取り頂きまして、ご理解とお許しを頂きたいと思えます。

そして会員の皆様方によろしくお伝え下さいますようお願い致します。

これからの記念フォーラムにつきましては、現在最も大きな社会問題となっております環境の保全について「地球の未来の為に今、私達出来る事は？」をテーマとして、それぞれ専門の立場からのご講演と、各クラブが取り組んで実施致しております事例を、ナレーションつき映像を使って報告致します。

次に明日の大会における記念講演でございますが、ご案内のように、ハドソン研究所首席研究員であります、日高義樹先生をお招き致しておりますが、皆様もご承知の通り、日高先生は世界を駆け回っておりまして、大変お忙しい方でございますが、万障お繰り合わせの上、明日のご講演を頂くことができました。

明日は混沌たる世界情勢について、裏側のお話もお伺いできると思えますので、お楽しみにして頂きたいと思えます。

以上簡単ですが限られた時間内でございますので、大会運営の概要について報告させていただきます。ありがとうございました。



## 諸事お知らせ

地区幹事  
大川 健 一

諸事お知らせ申し上げます。お手許の資料の中に質問票が入っております。次の会場の中ホールで回収させていただきますので、ご協力の程お願い申し上げます。

もう一点は本日皆様方ご使用のネームプレートでございますが、明日も使用いたします。本日も持ち帰り頂き、明日忘れずにご持参下さることをお願い申し上げます。諸事お知らせと致します。ありがとうございました。



## 本 会 議 (1 日 目)



**木村地区代表幹事** 只今から国際ロータリー第2510地区、2003-2004年度地区大会、1日目の本会議が開催されることに当たりまして、会長・幹事会に引き続きまして、本会議の進行を務めます、私木村でございます。どうぞよろしくお願ひ致します。

本会議は本日と明日午前の2回に亘りまして開催される訳でありますけれども、非常にタイトなスケジュールになっておりますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

それでは早速佐藤ガバナーの点鐘をお願いしたいと思います。

(点鐘)

(拍手)

ありがとうございました。引き続きましてガバナーより挨拶とRI会長代理ご夫妻、そして来賓のご紹介をお願いしたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

### 挨拶並びにRI会長代理ご夫妻とご来賓の紹介

**佐藤ガバナー** 皆さんこんにちは。会長・幹事会が多少遅れたため、1時点鐘のところ少し遅れましたことをお詫び申し上げますと存じます。

本日RI会長代理川尻政輝様ご夫妻ご臨席のもと、第一日目の本会議を只今から開催致します。遠くは第5100地区からチャック伊藤ご夫妻がお見えになっておりますし、それから第2620地区佐藤進ガバナー令夫人の菊香様、そしてご令息、滋様のご参加を頂きました。第2500地区からは豊島ガバナーご夫妻のご参加を頂きまして大変ありがとうございます。

本大会の登録は、1,836名という多くの会員のご登録を頂きまして心からお礼を申し上げます。少し時間が遅れているものですから、私の挨拶はこのくらいに致しまして、ご来賓の方々をご紹介申し上げます。

RI会長代理川尻政輝様並びに令夫人綾子様でございます。続きまして大会登録委員長、伊藤長



英パスト・ガバナー、大会信任状委員長、岩城秀晴パスト・ガバナー、大会決議委員長、遠藤正之パスト・ガバナーでございます。森本正夫大会選挙管理委員長でございます。遠藤秀雄ガバナー・エレクトでございます。塚原房樹ガバナー・ノミネーでございます。

地区外の方をご紹介申し上げます。第2500地区ガバナー豊島弘通様並びに令夫人美智子様でございます。第2620地区ガバナー佐藤進令夫人の菊香様並びにご子息の滋様でございます。第2500地区パスト・ガバナーの道下俊一様でございます。

当地区のパスト・ガバナーのご紹介を致します。大橋康次パスト・ガバナーでございます。引き続きまして富原薫パスト・ガバナーでございます。石垣博美パスト・ガバナーでございます。伊藤祐紀子パスト・ガバナー令夫人でございます。第5100地区からアシスタント・ガバナーのチャック伊藤様、令夫人の泰子様でございます。

続きまして第1グループから第12グループのガバナー補佐をご紹介する予定でございましたが、非常に時間が遅れていますので、一斉ご紹介致します。申し訳ありません。明日は、時間をとってご紹介をしたいと思っておりますので、ご勘弁をお願いしたいと思います。

あとご芳名漏れがございますでしょうか。無いようでございますので、これでご紹介を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

**木村地区代表幹事** ガバナーありがとうございました。ここで2002-2003年度の決算報告を申し上げるところでございますが、唯今、杉下前財務委員長が遅れているようでございますので、次に参りたいと存じます。

大会登録委員会の伊藤長英委員長からよろしくお願いしたいと思います。

## 大会登録委員会報告

**伊藤大会登録委員長** ー全文別掲載 (37頁) ー

**木村地区代表幹事** ありがとうございます。続きまして大会信任状委員会より岩城委員長、よろしくお願い致します。

## 大会信任状委員会報告

**岩城大会信任状委員長** ー全文別掲載 (37頁) ー

**木村地区代表幹事** ありがとうございます。続いて大会選挙管理委員会の報告を森本委員長からよろしくお願い致します。

## 大会選挙管理委員会報告

**森本大会選挙管理委員長** ー全文別掲載 (38頁) ー

**木村地区代表幹事** ありがとうございます。杉下前財務委員長が、まだ見えておりませんので到着次第、後ほど報告させていただきます。

それではここで、決議案について申し上げます。大会決議案につきましては、遠藤大会決議委員長からよろしくお願い致します。

## 大会決議案上程

**遠藤大会決議委員長** ー全文別掲載 (38頁) ー

**木村地区代表幹事** ありがとうございます。それではここで、杉下前財務委員長のご報告がございまして、続いて、岩城パスト・ガバナーの監査報告でございますがこれを後ほど行うと言うことでご理解頂きまして、只今の上程されました大会決議につきまして、採択結果を佐藤ガバナーからご報告したいと思います。よろしくお願い致します。

## 2002—2003年度決算報告

**佐藤ガバナー** ちょっとアクシデントがございまして、議場におはかりさせていただきます。第7号議案でありますけれども、地区資金収支報告並びに監査報告の採択が入ってございますので、杉下前財務委員長がご報告しなければならぬ訳であります。急なアクシデントがございまして、今の

時間帯に来られないということが分かりましたので、私の方からご報告をさせて頂いてよろしゅうございますか？

(拍手)

ありがとうございます。それでは議場の皆様のご承認を得ましたので、私の方から地区資金収支決算書のご報告を申し上げます。

お手元の大会プログラム67ページをお開き頂きたいと思います。ここに、一般地区資金のうち、収入合計の決算額のみご報告致しますが、55,722,241円でありました。それから支出でございますが、支出合計が37,397,363円で、繰越金が18,324,878円であります。総計が55,722,241円、それから特別地区資金ですが、収入合計決算が37,913,149円でありました。特別地区資金支出の部、69ページでございます。支出合計が31,161,288円で繰越金が決算で6,751,861円、支出総計で37,913,149円、沢山の繰越金を預かせて頂きましてありがとうございました。

第2510地区資金、次期繰越金はこのようになりまして、総計は25,076,739円の繰越ということでございます。

以上ご報告申し上げます。ありがとうございます。

**木村地区代表幹事** ありがとうございます。それではここで決算報告についての監査報告を岩城バスター・ガバナーよりお願いします。

## 2002—2003年度決算監査報告

**岩城バスター・ガバナー** 監査の報告をさせて頂きます。お手許72ページに私の地区資金決算監査報告につきまして記載してありますけれども、ここに書いてありますように適正であると認めております。その中で若干私の所見と致しまして、やはり計上すべきものと、繰り越される分と、峻別されて処理することが適当でないかなと、こういう風に考えておりました。次期からは帳簿の保存管理を、次期の5年間に亘って保存管理することを諮問委員会で提言致しました。

このようにこれから帳簿に対する、会計に対する取扱を、後継者にバトンタッチをするというよ

うなことにさせて頂くということを考えておりますので、ご了承頂きたいと思っております。

以上ご報告申し上げます。

**木村地区代表幹事** どうもありがとうございました。以上をもちまして大会運営委員会の報告を終わらせて頂きます。それでは佐藤ガバナーから、只今の決議案の上程につきまして、採択をお願い致します。

## 大会決議採択

**佐藤ガバナー** 決算報告につきましてありがとうございます。先ほど、遠藤正之大会決議委員長から地区大会決議案第1号から第13号までご提案を申し上げます。これについてご賛同頂ければ大きな拍手でご承認を頂きたいと思っております。

(拍手)

ありがとうございます。大会決議案第1号から第13号まで、皆さんの満場の拍手をもって決議ご承認を頂きました。ありがとうございます。

**木村地区代表幹事** 以上をもちまして大会運営委員会の報告の部を終わらせて頂きます。

引き続きまして地区内各委員会の今年度の活動状況と今後の活動につきまして、各委員長さんから報告して頂きたいと思っております。

31名の方がいらっしゃいますが、何とか3分以内でお願いしたいと思っておりますので、宜しくご協力の程お願いします。

## 各委員会活動報告

**各委員長より報告** —全文別掲載(41頁)—

**木村地区代表幹事** どうもありがとうございました。以上をもちまして各委員長さんの活動報告を終わらせて頂きます。ご協力ありがとうございます。そして、各クラブの委員長さん方の今日の委員会報告の中で、色々と、何かご意見などございましたら、会長・幹事会で皆さんに配布しました用紙にご記入になり、記念フォーラムが終わった後で結構でございますので、出口でお渡し頂き

たいと思います。よろしくお願ひ致します。

それでは大変時間も超過して参りましたが、川尻RI会長代理に講評をお願い致します。

## RI 会長代理講評

**川尻RI 会長代理** まず、地区大会の決議が満場一致で無事に承認いただき、続いて各委員会の報告をお聞きいたしたところ、この地区は私が経験した多くの地区よりも委員会を細分化されて具体的に取り組んでいられるのが特徴と言えます。新しい委員会、あるいは2年目の委員会等いろいろありますが、ただひとつだけお願いしたいのは、委員会は地区ガバナーの指示で各クラブの活動を支援する責務が主要な役割であることです。地区自体の独自のプログラムはどの地区でも非常に少ないことを認識していただきたいと思ひます。地区の委員会は、クラブがプログラムと取り組む時、あくまでもクラブが主体で、クラブの独自性によって、プログラムと取り組んでいってほしい。

先ほども出ていましたがロータリー財団の寄付は、そのままどこかの世界へ飛んでいってしまうのではなく、少なくとも2005年までの2年間は3年前に皆さんのクラブで一人ひとりのロータリアンが寄付した年次寄付の60%がこの地区に戻ってきます。そして2006年からは50%、半分が返ってきます。この50%のお金を有効に地区並びにクラブにおけるプログラムに役立てたり、他の国のクラブまたは地区とマッチングする国際奉仕に活用してほしい。自分の出したお金が半分返ってきて、これは皆様の地区並びにクラブでしか使えないのです。40%だけが資金調達に関係なく世界中のプログラムのために使えるようになっていきます。

このロータリーのシステムはよくできております。これを十分に理解してほしい。いろいろの活用を皆様自身が独自に集めた金だけでなく、3年前に先輩が寄付した金の50%の金を自分のクラブのプログラムに活用できないかという発想を、この大会を機会に十分に検討してほしいのです。

もうひとつお願いしたいことがあります。これはガバナーと実行委員会をお願いするものですが、ガバナー補佐のグループ別の活動の特徴をこ

の地区大会のどこかで聞いてみたかったのです。それぞれのクラブ、あるいはそれぞれのグループが持っている特徴があると思ひます。その特徴をガバナー補佐がガバナーの委任を受けて地区リーダーシッププラン(DLP)に基づいて、どれだけ地区組織に定着させているのか。そして今、どういふ問題が発生しているのか。地区リーダーシッププランが誤解されてはならない。また間違っで運用されてはなりません。私はこれが正しく定着してゆくことを念願している一人です。

したがって、グループのそれぞれの特徴をガバナー補佐に報告する機会があつてもよいのではないのか。そして地区リーダーシッププランが有効に機能し、この地区で定着してゆくことを念願しております。

各委員会の具体的な活動は、私が意見をさしはさむような問題はなく、立派に計画されておられます。この第2510地区は日本においてもリーダー地区であると思ひます。そして細部にわたった委員会活動でクラブを支援されていることは私自体も非常に勉強になりました。

**木村地区代表幹事** 川尻RI会長代理、ありがとうございました。以上をもちまして第一日目の本会議を全て終了致します。ありがとうございました。

尚、これから休憩に入り、引き続き記念フォーラムが開催されます。本来であれば15分の休憩時間だったのですが、16時5分から、この会場で記念フォーラムを開催致したいと思ひますので、3階にコーヒー、冷たい飲み物を用意してございますので、どうぞゆっくりご歓談頂きたいと思ひます。

本日はどうもありがとうございました。





## 大会登録委員会報告



大会登録委員長  
伊藤長英

大会登録委員会からご報告申し上げます。登録総数は1,836名となりました。内訳を申し上げますと、地区内会員1,637名、ご家族111名、地区外会員3名、ご家族4名、青少年交換留学生、ローテックス合わせて16名、インターアクター、顧問教師合わせて6名、ローターアクター28名、米山奨学生13名、米山学友2名、ロータリー財団奨学生9名、ロータリー財団学友1名、GSE 4名、苫小牧北ロータリー地域共同体2名となっており、合計1,836名でございます。

以上ご報告申し上げます。

## 大会信任状委員会報告



大会信任状委員長  
岩城秀晴

それではご報告を申し上げます。本大会に各クラブより選挙人の信任状を提出して頂きました。ありがとうございました。これを国際ロータリー細則第15条第5節に基づき、信任状を慎重に審査しました。

結果、当地区の7月1日現在のクラブ数は72クラブでありまして、会員数は3,304名であります。従いまして各クラブより提出されました選挙人の数は137名であります。それを慎重に審査した結果、全員が適格者であることを確認致しましたのでご報告をさせていただきます。

ありがとうございました。

## 大会選挙管理委員会報告



大会選挙管理委員長  
森本正夫

選挙管理委員会からご報告申し上げます。当地区の2004-2005年度のカバナー・エレクトには登別ロータリークラブの遠藤秀雄君が決定しております。

さて、2005-2006年度のカバナー・ノミネーについては、カバナー月信第2号、第3号で公募推薦を依頼致しまして、10月10日必着で地区内各ロータリークラブにお願いをした結果、札幌東ロータリークラブから塚原房樹君が候補者として推薦されました。

これを踏まえ10月15日カバナー指名委員会を行い、他の候補者の推薦がないことを確認し、翌16日塚原君の意志確認を行った結果、本委員会は塚原房樹君のカバナー・ノミネーが確定したことをご報告するものであります。

先ほどカバナーから先にもう本人を紹介しましたので、これ以上のことは申し上げませんが、以上選挙管理委員会からのご報告でございます。

## 大会決議案上程



大会決議委員長  
遠藤正之

決議案を上程させていただきます。先ほどの会長・幹事会におきまして、大会決議案が承認されました。

決議案の項目についてはプログラム10ページに出ておりますので、お目通しを頂きたいと存じます。

決議第1号国際ロータリーのテーマを推進する件は、ジョナサンB.マジアベ国際ロータリー会長は本年度のテーマとして「手を貸そう」を示されました。我々第2510地区ロータリアンは、このテーマをよく理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議致します。(決議案についてはプログラムの通り)以上でございます。



## 2003-2004年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会 決議案

### ●決議第1号

#### 『国際ロータリーのテーマを推進する件』

ジョナサン B. マジリアベ国際ロータリー会長は本年度のテーマとして「手を貸そう」を示されました。

我々第2510地区ロータリアンは、このテーマを良く理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議致します。

### ●決議第2号

#### 『ジョナサン B. マジリアベ国際ロータリー会長並びに川尻政輝国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件』

2003-2004年度国際ロータリー第2510地区地区大会を千歳市で開催するに当たり、ジョナサン B. マジリアベ会長は会長代理として川尻政輝国際ロータリー第2750地区パスト・ガバナーを派遣されました。同氏は令夫人と共に本大会にご臨席下され、マジリアベ国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講話と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大の感銘を与えられて本大会を成功へと導かれました。本大会はマジリアベ国際ロータリー会長に心からの謝意を表すると共に、川尻政輝国際ロータリー会長代理ご夫妻に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議致します。

### ●決議第3号

#### 『平成15年十勝沖地震災害に対する救済に協力する件』

2003年9月26日早朝に発生した十勝沖地震は日高、釧路地方に大きな被害をもたらしました。周辺の住民は先の見えない避難生活を余儀なくされています。当地区内で起こった、この災害に救援支援することを決議致します。

### ●決議第4号

#### 『会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件』

当地区のロータリアンは、ジョナサン B. マジリアベ国際ロータリー会長が本年度の最優先事項として掲げられた会員増強と退会防止及びクラブ拡大を一層推進することを決議致します。

### ●決議第5号

#### 『地域社会に対する奉仕活動を推進する件』

当地区のロータリアンは、ジョナサン B. マジリアベ国際ロータリー会長が強調事項として、地域社会への奉仕を掲げられたので、より積極的に遂行することを決議致します。

### ●決議第6号

#### 『貧困に喘ぐ途上国の人々を支援協力する件』

ジョナサン B. マジリアベ国際ロータリー会長は「今の私たちの世界では幾百万という人々が貧困のどん底生活をしています。彼らの胃袋は空っぽです。彼らの胸には絶望以外のなにもありません」と訴えています。貧困に喘ぐ人々を積極的に支援協力することを決議致します。

### ●決議第7号

#### 『2002-2003年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件』

2002-2003年度の地区資金収支報告並びに監査報告は別紙の通りであります。本大会は国際ロータリー細則第15条第6節第4項の規定に則り、これらの報告を正式に採択することを決議致します。

### ●決議第8号

#### 『国際ロータリー第2510地区直前ガバナー小林博氏に感謝する件』

2002-2003年度地区ガバナー小林博氏はビチャ

イ・ラタクル直前国際ロータリー会長のテーマ「慈愛の種を播きましょう」を地区内ロータリアンに理解し実践するよう務められ、ご在任中は当地区ロータリアンのリーダーとしてその卓越した手腕とロータリーに対する情熱を持って激務を見事に果たされました。よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表する事を決議致します。

#### ●決議第9号

##### 『ロータリー財団寄付増進に協力する件』

ロータリー財団はロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区全てのロータリアンは国際理解、友好、親善、人道的援助の願いを込めて、ロータリー財団への寄付増進に協力することを決議致します。

#### ●決議第10号

##### 『米山記念奨学会の寄付増進に協力する件』

米山記念奨学会は日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区全てのロータリアンは国際理解、友好、親善の願いを込めて、米山記念奨学会への寄付増進に協力することを決議致します。

#### ●決議第11号

##### 『国際ロータリー2004年国際大会（関西）への参加を推進する件』

2004年5月23日から26日に大阪市において開催される国際大会に当地区会員並びにご家族の積極的な参加を推進することを決議致します。

#### ●決議第12号

##### 『次期地区大会開催に関する件』

2004-2005年度国際ロータリー第2510地区地区大会は登別ロータリークラブをホストクラブとして登別市において開催することを決議致します。

#### ●決議第13号

##### 『地区大会ホストクラブに感謝する件』

2003-2004年度国際ロータリー第2510地区地区大会が千歳市の千歳市民文化センター及び千歳全日空ホテルにおいて開催され、多くの成果を収めつつあることは、千歳ロータリークラブ並びに千歳セントラルロータリークラブの周到なる準備と会員、ご家族のご協力の賜物であります。

よって本大会はここに深甚なる謝意を表することを決議致します。



## 各委員会活動報告



**クラブ奉仕委員会**  
委員長 羽部 大仁  
(札幌南RC)

今年度のクラブ奉仕委員会の大きな仕事は、ほとんどは地区協議会で終わっておりますが、今日は地区大会ということで、本年度掲げている私達の委員会の目標に少し触れてみます。

まず今回の大会決議案の中にも上程されている会員増強と退会防止について、楽しいプログラムを組んでいただきますようにということで、過日の地区協議会でお願いしております。

もう一点は、地域に根ざした活動ということも大会決議案に盛り込まれておりますが、それについては過日の地区協議会で、このようなプリントを各クラブの奉仕委員長さんにお渡ししておりますので、各地域に根ざした、例えば汚染、保健と福祉、教育と住宅、公衆安全、人間関係、文化団体、青少年など、地域にいろいろな問題があるのではないかとということを再点検し、もう一回各クラブのプログラムを見直していただくことも大変効果的ではないかと考えております。



**職業奉仕委員会**  
委員長 富岡 公治  
(札幌西北RC)

今月は職業奉仕強調月間ということで、最も職業奉仕委員会としては大事な月ですが、要請のあったクラブに地区職業奉仕委員を派遣して、職業奉仕理念の普及と職業奉仕委員の実践活動の紹介

などを行いました。特に10月9日に苫小牧東クラブでクラブ自体が職業奉仕フォーラムを実施するというので、地区の職業奉仕委員会に参画してほしいという要請があり、私と札幌南ロータリークラブの砺波職業奉仕委員が出席しまして、有意義な職業奉仕苫小牧東クラブのフォーラムに参加できたことは幸いだったと考えております。

次に10月16日ですが、去年から実施しているロータリアンの奉仕による市民講座第3回目を、札幌市の北方圏センターにおいて高齢者問題、健康問題の権威である札幌ロータリークラブの田中良治先生を講師として開催しました。各道民の方々、市民の方々百数十人と多数の市民の参加を得まして「大往生のための70章」、これはロータリーも高齢者の方が多いですが、多くの人に聞いてもらいたいと思うような大変有意義な講演でした。そして50歳からの生き方についてということで、2時間ぶっ通し田中講師に講演をいただきまして、ロータリーが市民に奉仕する機会を得たということで有意義な活動だと思っております。

今後とも第4回市民講座開催に向けて職業奉仕委員会として取り組みたいと思っております。職業奉仕はロータリーの根幹とも言われており、今後とも地区職業奉仕委員会として鋭意熱心に取り組みたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



**社会奉仕委員会**  
委員長 対木 正文  
(札幌西RC)

地区社会奉仕委員会からは3点ご報告します。  
①地域社会から真に喜ばれる奉仕活動とは何か、会員の減少や予算面での悩みを抱えながらどのように奉仕活動をしていったらよいのかなど、これらの問題について話し合い情報を共有化するために地区内5箇所ですべて7月から8月にかけて、社会奉仕に関する意見交換会

を家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会と合同で開催いたしました。ご参加いただきました各クラブ、ご指導いただきましたガバナー補佐、そしてお世話いただいた地元クラブに心から感謝申し上げます。

- ②年度末に、各クラブが実施した社会奉仕活動をデータベース化した報告書を作成したいと考えております。真に地域社会が求めるプロジェクトを模索するうえで役立つものと確信しております。
- ③地区社会奉仕委員会の本年度の活動の一つとして、ロータリアンと一般市民が一緒になって子供の教育問題、その延長上にある児童虐待の問題を考えてみたいと思い、ロータリー市民フォーラムを11月29日(土)午後2時から札幌道新ホールで開催します。最近子供を巻き添えにした事件が毎日のように報道されております。本当に子供達の問題だけなのか、大人、社会の責任はないのか、また、どのように関わればよいのかいっしょに考えてみたいと思います。

特別講演には、当地区のWCSとご縁のある、タイで子供と女性の駆け込み寺をつくり、国民から広く親しまれているパペナ女史をお願いしております。パペナ女史は、ロータリアンでもあり国会議員でもあります。今の日本は他の国で起きているという、そういう認識だけでは通用しないと思います。多くのロータリアンがこの問題に関心を持っていただき、この市民フォーラムにご参加いただければ幸いです。



家庭奉仕委員会  
委員長 和田 壬三  
(札幌南RC)

家庭奉仕委員会は昨年初めて当地区にできた委員会で、各ロータリークラブには十分活動内容が

浸透しておりません。そこで、昨年はおつばら地区が先導して勉強会やフォーラム、ワークショップなどを開催し、さらにはそれらの成果をビデオにまとめるなどして啓蒙に努めましたが、今年度は各クラブの活動として自主的に取り組んでいただくということを中心に活動を進めております。

具体的には地区の社会奉仕関連委員会の連絡会において、当委員会の各委員が出席して家庭奉仕が現在日本社会において最も重要な課題の一つであるということを訴えて、ぜひ取り上げていただきたいとお願いしております。また、その機会にもあるいは地区協議会の場においても、さまざまな具体的なプログラムを提案して取り上げていただくようお願いいたしました。現在のところ江差ロータリークラブから具体的に親業訓練セミナーを開催したいという申し出があつて、現在講師の土橋芳美先生と50人規模の集会に向けて打ち合わせが進行中です。また過日は札幌市内の小学校をお借りいたしまして、小林直前ガバナーの肝入りで約150人規模の父母や先生方を対象とする家庭教育をテーマとするシンポジウムを開催いたしました。その成果が間もなく小冊子としてまとまりますので、各クラブに最低1部はご送付申し上げますので、参考にさせていただきたいと思っております。ちなみに講師は、地区の子ども奉仕委員長の米山道男先生、札幌モーニングロータリークラブ会長の池上公介さん、地区国際親善奨学金委員長の上橋信男先生の奥様でいらっしゃいます土橋芳美先生、コーディネーターを私が担当しました。

過日の当委員会において次の三つの事業を直接各クラブ、各ガバナー補佐をお願いして、ぜひ実行できるのであればお願いしたいということにいたしました。

一つは当委員会の主催で各クラブあるいはグループ毎に、家庭奉仕をテーマとするワークショップを開催していただけるように呼びかけるということです。すでに昨年第11グループにおいて実際に実行しており、その反省を踏まえてぜひ提案したいと思います。

二つ目は、先に実践した小学校単位とした家庭教育をテーマとする集会に各クラブの家庭奉仕事

業としてぜひ取り上げていただきたいとお願ひしたいと思ひます。講師は同じようなメンバーになるかも知れませんが、先ほどワークショップに講師として当委員会の委員あるいは土橋信男先生、土橋芳美先生、池上公介先生あるいは米山道男先生などにもぜひお願ひしておりますので、実行していただきたいと思ひます。

三つ目はすでに現実化しつつある江差ロータリークラブの親業訓練セミナーの例をご紹介しながら、ぜひ各クラブで取り上げていただきたいと思ひます。



#### 子ども奉仕委員会

委員長 米山 道男

(札幌北RC)

最近小中学校、高校では、外部講師による授業や児童生徒の職業体験が盛んです。昨年9月ガバナー会は、ロータリアンがこのような活動を通じて子ども達の教育にもっと関わるよう、各地区に呼びかけました。当地区でも、これはロータリアンの職業奉仕に相応しい活動であるとして、本委員会の設置が検討され、先導的試行として、昨年度は22名の会員が授業協力会員として登録し、札幌市内4小中学校と協議して延べ20名が授業をしました。本委員会は、今年度正式に発足しましたが、まず会員各位のご理解を得るために、7～8月に地区内5ヶ所で会員各位との意見交換会を開催しました。このあと年内に会員のご協力を頂き、「小中学校での授業」及び「小中学生の職業体験」協力会員名簿を作成します。

各クラブにおかれましては、この2種類の名簿それぞれに100%以上の会員の登録を目標にご協力をお願い致します。名簿ができた後、クラブ代表と本委員会委員が関係教育委員会に赴き、名簿を渡して理解と協力を要請してきます。その後、各クラブでは受け持ち区域（後日連絡します）内

の小中学校に出向いて、名簿を渡してこの活動の説明をして頂きたく思ひます。今年度は、会員と縁のある学校、1校でも2校でもよろしいですでお話しして頂ければと思ひます。そして来年4月以降に、学校からの要請に応じて、小中学生との実際の関わりが始まることになると思ひます。この活動により、子どもは今まで知らなかった世界を知り、興味を持ったり将来の目標を見つけたりするかも知れませんが、一方、会員は子どもの素晴らしい感性に触れ、自分や社会を見つめ直す契機になるかも知れませんが、また、子どもの抱えている問題や社会の問題の解決のために、子どもと一緒に考え一緒に行動する契機になるかも知れませんが、この素晴らしい活動を皆さんと一緒に盛り上げて行きたいと思ひしておりますのでよろしくお願ひ致します。



#### 国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜

(札幌東RC)

地区の国際奉仕委員会は親睦活動、友情交換、世界社会奉仕の三つがあります。この三つの委員会以外でもロータリーの国際奉仕というものは行われておりますが、いわゆる委員会が縦割りの機能以外に横の連絡も大切に関連委員会と協調していきたいと思ひしております。地区委員会はガバナーの委員会であるとともに、地区内の72のクラブのための委員会です。地区内のクラブはその規模が異なり、地区の縦割りの組織と同じ委員会での国際奉仕活動は不可能ですし、伝統的に培われた各クラブの独自性の調和ということも大切であると思ひしております。

地区は各クラブからの納められる資金で活動しております。戦前は当たり前だった「お払いする」「いただく」という言葉が消えて、最近では「取る」「取られる」というのが当たり前になって



きております。せめてロータリーでは地区、財団への負担金以外に、本来クラブは奉仕に使うお金はニコニコで集めておりますので、地区とクラブの間で「取る」「取られる」ではなくて「お払いする」「いただく」というような理解が必要であると思います。それには利益優先や効率などの姿勢を丸出しにしないで、職業奉仕の心が大切ではないかと思っております。

ロータリーの4大奉仕の中で青少年交換は国際奉仕、新世代は4大奉仕のどれに入るかなどと言葉の遊びをしているときではないと思っております。国際奉仕は、青少年交換から世界社会奉仕へと大きく流れを変えてきております。地区は昨年初めて友情交換の委員会ができて、その生まれいずる悩みをしております。これらの変化の中で1年間ガバナーとクラブの緩衝地帯としての役割を地区委員会も果たしていきたいと思っております。

最後に国際的なレベルでロータリアンを鼓舞し、各情報を与える国際大会が、本年度の5月23日から26日まで4日間大阪で開催されます。日本で行われる国際大会は、おそらく一生に一度か二度しかないでありましょう。地区ですでにいろいろな国から友情交換の話が来ております。従来の国際大会とは異なり、開会式、閉会式以外のどの会議やワークショップも、有料のトランシーバを利用すれば、日本語で聞けるように実行委員会が企画をしております。世界レベルでロータリーを理解できる良い機会ですので、皆様ぜひ参加して下さることを期待します。



世界社会奉仕 (WCS) 委員会  
委員長 土倉 裕之  
(札幌東RC)

今年度は既に3件の活動をしております。

①函館北ロータリークラブにより、インドネシ

アのジョグジャカルタへの支援を行っております。

- ②千歳ロータリークラブと千歳セントラルロータリークラブにより、スリランカへの中古自転車およびオルガンの寄贈をしております。
- ③札幌東ロータリークラブにより、米国の車椅子財団に車椅子の寄贈をしております。今のところこの三つの活動でございますが、まだ資金に余裕がありますので、皆さん参加されることを期待しております。よろしくお願いたします。



親睦活動委員会  
委員長 灰野 篁  
代理:長太 義雄 委員  
(札幌北RC)

この親睦委員会は1993年国際ロータリーに初めて新設され、当2510地区では1994~1995年の高原年度に発足しました。初代の地区委員長は札幌南RCの畑中俊介会員で、ご自身もヨットを持っていたので同好会を発足させ、日本では神戸、大阪、和歌山に次いで4番目の発足となりました。これに先立ち、当地区にはスキー同好会があり、1995年のカナダでのロータリースキー親睦大会(ISSR)には11名参加しております。その後囲碁同好会が1998~1999年度に発足。また、ロータリー親睦ゴルフ世界大会(IGFR)は40年以前から毎回各国持ち回りで開催されております。24回大会は日本で開催され「川奈ゴルフクラブ」で行われました。昨年7月はポルトガル、今年の9月は南アフリカ、日本からは13名(男女)参加と聞いております。来年41回大会はアメリカで5月に、42回大会はオーストラリア、43回大会はトルコの予定です。2002年1月1日より従来の趣味・職業別親睦活動(RRVF)は、ロータリー親睦活動とかわり、また、従来の趣味別・職業別の他に医療又は保健問題が加わ

り、5月には環境・教育が追加と、活動は幅広いものとなっております。

活動計画と致しましては ①地区内クラブ間の親睦活動の推進 ②他地区の同種の活動との交流 ③6月のロータリー親睦活動月間を推進する ④関連する世界社会奉仕委員会 (WCS)、友情交換委員会と連携を深め国際親睦活動を担うよう努めたいと思います。

尚、2004年5月に大阪で開催されます国際大会にトランプのブリッジや囲碁のブースが設けられるとの事、興味のある方は是非お立ち寄り下さい。



友情交換委員会  
委員長 金井 重博  
(札幌南RC)

昨年は初めてできた委員会ということもございまして、何を行ったかということをご報告申し上げます。地区内の姉妹友好クラブの調査をさせていただきました。今年の月信の11月号に一覧が載っております。今年も現在その一覧の修正について4ロータリークラブからご指摘がありまして、そのご報告を近々の月信に掲載する予定です。

次に昨年は世界大会がプリズベンで行われましたので、私どもの事業の中に北海道ナイトの設営というのがあり、プリズベンで約120名の皆様方においていただきまして、特にオーストリア、アメリカ、スリランカのバスト・ガバナーさんを含めて約15人のガバナー、バスト・ガバナーがお見えになりまして、大変楽しい有意義な国際パーティをさせていただきました。これにつきましては、今年度は大阪で世界大会がありますが、ガバナーサイドではもっと盛大に大きく約500人から700人くらい集めて行うようにというような大きな夢を持っておられるようです。今後、皆様方とご相談いたしまして、できれば皆様方の姉妹友好

クラブの国内の出会い、また海外の皆様方がお見えになったときの交流の場にさせていただければと思っております。

昨年は友情交換プログラムとして、アリゾナ地区がかつてGSEと交流した関係でアプローチしましたけれども、今年度継続事項となっております。お話によりますと、大阪大会の後に先方からこの地区にお見えになるというお話もございす。アラスカ、一部ロシア、北のカナダを含む5010地区からも来年の大阪大会の後にまいるというお話もございす。現在来年の世界大会の機会にカナダの7820地区、これは赤毛のアンのお話の島の地区から姉妹提携のお話が来ております。それから5080地区これはアイダホ州とワシントン州の一部とカナダのブリティッシュコロンビア州の東側の一部、この地区からもかなり強力な友好提携を申し込まれております。

最近9月に日韓親善委員会がありまして、岩城バスト・ガバナーにおいていただきましたが、3700地区韓国の大丘市から我々2510地区と地区内で交流したいという申し出がございす。これにつきまして佐藤ガバナーからも、前向きに進めるようにというお話をいただいておりますので、決まればローターアクトの事業とかGSEとかもしたいと言っておりますが、我々委員会としては、その事業ではなくて、まず最初に五つくらいの家族が相互交流したあとで、通常の簡単な交流している中にいろいろな事業をするというようなことだと思います。実は韓国と姉妹交流している地区内クラブを調べましたところ5クラブあります。札幌東RC、赤平RC、留萌RC、様似RC、深川RCで、現在深川RCと留萌RCは順調にうまく交流が続いているようでありますが、札幌東RC、様似RC、赤平RCこれは事実上終息のような方向で事業がうまくいっていないようです。今回、3700地区というのは別の地区になりますので、我々委員会サイドとしては、今後あまり具体的な事業を細かく計画しますと、韓国と日本の政治問題に翻弄されて事業がドタキャンになるということになると非常に困ると思っております。もし提携するとすれば、簡単な形で続くような形で実

施したいものと考えております。何れにしましても、沢山の申し出を今後どのようにしたらいいか、いずれ皆さん方のご意見をお聞きしながら進めていきたいと考えております。実は昨年の小林年度の事業の中に国別部会がありまして、私ども一番メンバーの多かったロシア部会を立ち上げるべく努力しましたが2回の勉強会に切り替えました。今後この件に関しましては、私どもの委員会から国際奉仕委員会に所管が変わるということになっておりまして、今後これがどういう形になるか国際奉仕委員会の推移を待ちたいと思っております。

昨年ワークセッションということで、50名の皆様方お見えになり国際交流のあり方を勉強させていただきました。何れにしましても、相手のあることでまた基本的には、もし交流すると自費でやることとなりますので、予算の問題など中々難しい問題がありますので、皆様方のご意見をお聞きしながら、何とかこの事業を実行したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。



拡大委員会  
ロータリー財団委員会  
委員長 森本 正夫  
(札幌西北RC・PG)

我々はロータリアンですが、先輩達から習ってきたことは、ロータリーというのはロータリアンの心得があり、使命があり、最終的には世界平和に貢献しなければならない、財団というのはそれを支援することだということです。ある人は車の両輪だと、いやそんなものではない、むしろ先立つものはお金である、だから「いただく」どころかお願いします、というのが財団委員長の立場であると思います。

6月末の全国の地区の寄付状況について、年次寄付と恒久基金の明細が11月のロータリーの友に載る予定であります。その写しを見せていただきましたが、その大雑把な内容について我々の8

月の委員会に出されました。そこで私が驚きましたのは、今日お見えになっている2500地区は、日本一目標を達成しているのに、我が地区は下から数えたほうがはるかに早いのでびっくり仰天しました。

今日皆さんに申し上げたいのは、結局我々は人道的、教育的、文化交流プログラムなど、いろいろ実行しなければなりません。そのために先立つものはお金だと思います。会員が減っては困るので会員の増加にご協力をいただくことと、重点的にお願いしたいのは、一つは2005年まで一人100ドルを目標にという我々の目標があります。当地区も各クラブの皆さん一人一人大変な時期ではありますが、多くのご協力をいただきたいと思えます。

もう一つはポリオ・プラスですが、これは終わったのではないかという議論もごさいますが、まだ終わらず実際に世界で発生しております。終息してから5年経たないと撲滅宣言できません。ロータリーとして2005年の100周年に向けて努力しております。前にも皆さんにお願いしましたとおり、世界全体で10億ドル必要とされており、そのうちロータリーは8,000万ドルとなっております。去年、今年、来年の3ヶ年で日本は1,600万ドル担当することになっております。会員総数で割ると標準的ですが、一人当たり3年で150ドル必要であります。ぜひ小林年度と佐藤年度の2年で100ドル、最終年度の遠藤年度で合計150ドルを目安としてご協力をぜひお願いしたいと思います。



財団増進委員会  
委員長 大村 孝男  
(千歳RC)

財団増進委員会の主な役割は、ロータリー財団の活動に対してご理解をいただき一人でも多くの方に寄付をお願いするということにあると思いま



す。そのために、本年3月の会長エレクト研修セミナー（PETS）におきまして各クラブの会長・幹事および財団委員長の皆様「ロータリー財団への寄付について」と題しまして説明させていただき、その場で年次寄付への協力もお願いいたしました。

来月はロータリー財団月間にあたりますが、それに先立ちまして年次寄付、恒久基金寄付およびポリオ・プラス寄付について協力をお願いする文書を当地区72クラブ宛に送らせていただきました。同じく財団月間に合わせまして、ガバナー月信11月号に財団の活動概況を説明させていただいております。またロータリー財団のことをもう少し知りたいので説明に来てほしいという要望が来ております。これにつきましては森本財団委員長と私とで手分けしまして、これも来月の財団月間に合わせて説明にお伺いする予定にしております。

ロータリー財団というのは機構そのものが複雑ですし、このように私が口頭で話しましても、中々理解していただけないのではないかと思います。そこで、財団の活動内容や寄付金の流れ、また財務内容といったことについて簡単にまとめたスライドを作成しました。依頼を受けましたクラブへの説明は、スライドを使って視覚に訴えて、多くの方に財団の内容ならびに現状を知っていただくような計画をしております。

本年度もロータリー財団の活動にご理解いただきまして、一人でも多くの方に寄付していただきますよう、この場をお借りしてお願いいたします。



国際親善奨学金委員会  
委員長 土橋 信男  
(札幌幌南RC)

私どもの委員会は、ご承知のように国際親善奨学生を募集して世界各地へ送り出すということが

大きな役割です。実は皆様からご寄付をしていたくお金を一番沢山使っている委員会として、奨学金額は毎年約2,000万円近くのお金を奨学金として抱えております。奨学金の種類は4種類ありまして、3ヶ月の留学期間、6ヶ月、1年、2年とありまして、3ヶ月が12,000ドル、これは上限ですが、6ヶ月が19,000ドル、1年が25,000ドル、2年というのは学位をとるのが目的として、2年間かけて12,000ドルということで24,000ドル、3ヶ月の奨学生を5名、6ヶ月を2名、1年を2名、2年を2名ということで11名選考しております。

本年度選考した11名につきましては、来月は財団月間ですので来月の月信に顔写真入りで載せております。その方々につきましては、今日の大会のプログラムの24ページにありますし、明日のこの場にそのうちの8名がまいります。48ページに名前が掲載されております。その11名ですが、来年度派遣することになりまして、実は正式には財団のほうからご承認をいただいてなくて、正式な承認は来年の1月ということになります。毎年私どもは1月から募集を開始して4月に各クラブへ応募していただくという形をとっております。そしてクラブから承認をしていただき、推薦をしていただいた奨学生候補者につきましては、私どもの委員会で書類審査、面接、これを6月から7月にかけて行いまして、正式に財団のほうに推薦をするという形となっており、実際には推薦をしたら全員合格はしますが、形のうえでは1月までは候補者ということになっております。

昨年度選考しました11名は、この7月からすでに出発をしております。これから行く学生もおり、まだ現在正式に決まっていない奨学生もおります。今年度派遣している奨学生につきましては、今まで行ったことがないタイとトルコにそれぞれ6ヶ月の奨学生が希望しております。タイのほうがついこの前、向こうの受け入れクラブ、受け入れの大学が決まりました。トルコは非常に苦勞しております。現在、盛んに財団のほうとやり取りをしております。実はタイもトルコも、正式にこれまでは中々はっきりできなかったの

すが、私どもの委員会としてできるだけこれまで派遣していないところに送りたいということで希望して、これがかなえば非常に嬉しいことでございます。来年度もまた同じような形で韓国に2名、セネガルに1名希望しております、そういった新しい地域を開拓して派遣できるということは大変嬉しいことです。なお、派遣だけでなく、私どもの委員会としては受け入れもしており、これもご承知のようにロシアから3ヶ月、毎年2名受け入れておりました。昨年度まで4回に亘り8名の受け入れをしたのですが、今年はどういう理由か分かりませんが、実は2人とも向こうから来ないということになり受け入れをしておりません。

変わりまして、グアムから私どもの寄付ではありませんが、1名札幌にどうしても留学させてほしいという申し出がありまして、9月22日に受け入れまして、現在札幌大通公園ロータリークラブさんをお願いをしまして受け入れております。ロレーナ・スネアさんというグアム大学で勉強している女子学生ですが、明日ここにお見えになるので皆さんにご紹介できるかと思っております。9月22日から3ヶ月の予定で日本語の研修しております。できましたら皆さんのクラブの卓話あるいは例会にお招きいただければとお願いいたします。



GSE (研究グループ交換) 委員会  
委員長 山名 善久  
(札幌幌南RC)

GSEプログラムは、前年度から受け入れと派遣を2年にまたがって実施することになり、前年度はフィリピンの3830地区からチームを受け入れ、皆さまのご協力により大成功に終わることができました。今年度はその2年の最後の年になり、来年の2月から3月にかけてチームを派遣いたします。チームリーダーは札幌西クラブの戸部会員です。今年度の主な活動としては、そのR1

3830地区へ派遣するチームメンバーの研修そして派遣がメインです。実はその派遣時期ですが、つい2~3日前に2月18日から3月24日まで派遣と決まっていたわけですが、これは両地区で確認した事項ですが、3830地区のほうから地区大会が変更になったということで、3月24日帰国するのが、向こうの地区大会が3月26日、27日ということになり、現在その対応に迫られて、おそらく5日くらい出発および帰国を後ろにずらさざるを得ないだろうということで作業を進めています。今年度の作業としまして、次年度、次々年度2004~2006年度の交換相手地区として、3350地区タイ・バンコクにある地区を予定しております。従いまして、3350地区とのプログラムは次年度タイからGSEチームを受け入れる予定であります。派遣は2年後の2月から3月を予定しております。そしてその受け入れに向けて、現在受け入れグループおよび受け入れ世話クラブの選考をしております、今日、明日の地区大会において、受け入れグループ候補のガバナー補佐をお願いに上がりたいと予定しております。意味もなく私が近づきましたらご協力よろしく申し上げます。

その他のプログラムとしては、受け入れ派遣日数の変更ということで、従来は35日間を実施しておりましたが一週間短縮して28日間にしようということで進めております。これは、受け入れ、派遣費用の検討の中の一つです。

皆さんご存知のとおり会員数が減少しており、特別地区資金の取入もそれに伴い減少することになりますので、GSEプログラム予算を少しでも少なくするという目的があります。同時に受け入れグループおよび受け入れの世話をさせていただくクラブのほうで、次年度のプログラム予算に計上していただきやすいように、前年度のなるべく早い時期に受け入れグループ、受け入れ世話クラブを決めさせていただき、お知らせをしていきたいと考えております。



### 財団学友委員会

委員長 鍋谷 操子

(函館東RC)

学友会の今年度の活動計画を報告致します。

- ①昨年度に引き続き学友委員会のミーティングは学友会の役員にもオブザーバーとして参加して頂きます。学友委員会と学友会の連携を緊密に致しております。また、学友会の総会には委員会のメンバーが多数参加して学友会の活動計画を支援すると共に、学友の情報交換や懇親を深めるように考えております。学友のスポンサークラブの皆様と、地区財団委員会の方々にも、学友会の総会へご参加をお願い致します。
- ②学友がロータリークラブの貢献を果たしやすいように11月のロータリー財団月間には学友のクラブ例会卓話の斡旋を致しております。昨年度は4件の卓話の依頼がございましたが、今年度は昨年度を上回るように努力致しております。クラブの会長・幹事の皆さん、学友に是非活躍の場を与えて頂きたいと思えます。連絡先はガバナー事務所又は学友委員会まで電話かFAXにてお願い致します。
- ③昨年度、地区で初めての帰国学友報告会を開催致しましたが、本年度は財団学友への理解をより一層深めるために、時期として来年の5月に帰国報告会を開催する準備を進めております。この報告会を通じて国際親善奨学生とGSEの学友が、ロータリークラブとの結びつきを一層強くすると共に、ロータリークラブとその会員が学友への理解を深めて頂くことを期待しております。3月頃にはクラブ関係者へご案内を差し上げる予定でございます。是非クラブからは1名以上のご参加を頂きまして、学友へのご支援をお願い致します。
- ④学友会と共同で2000年以降の学友名簿を整備し、クラブで利用しやすい状態の名簿の改訂版が作成されましたので、近々に各クラブ

と関係者へ配布する予定でございます。この名簿が大いに活用され各クラブの財団プログラムが充実されますように願っております。

終わりになりますが、学友会が地域社会で積極的な活動を行うように、引き続き学友委員会のメンバーは努力をして参りますが、今後とも地区とクラブのご理解とご支援をお願い致しまして報告を終わらせて頂きます。



### 補助金委員会

委員長 伏木 忠了

(札幌西RC)

ロータリー財団の人的補助金には大きく分けて三つあります。地区補助金、個人向補助金、マッチング・グラントの大きく分けて三つあります。

最初に地区補助金についてご説明致します。地域社会に恩恵を与え、また、経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために、地区の財団活動資金、DDFといいますが、地区の裁量で使えることとなります。それでは私どもの地区はどれだけ使えるかと申しますと、三年前に財団への年次寄附を致しましたが、その中の60%が地区の活動資金DDFとしてバックしてくる訳です。その中の80%近くが教育的プログラムに使われる訳ですけれども20%を上限とし地区の補助金として使えるということでありまして、今年度は3万7千ドル使える訳であります。もう2万5千ドルが地区にお金が入っております。それではそのお金をどのように使うかと申しますと、今年4月の地区協議会に、ロータリー財団地区補助金プログラムの申込書を各クラブに配布している筈です。この用紙で申込みをして頂きます。そうしますと、地区の補助金委員会で色々検討して、適切であるということであれば、財団委員会、ガバナーと私で審査をして補助金をいくら出すということによって補助金の決定通知書を作りまして、各クラブにはお

申込頂いて約1ヶ月以内で出すということを考えております。決定通知書が出ましてからその事業を実行して頂く訳ですが、その活動が完了しましたら活動完了報告書というものを作って頂く訳であります。OKであれば二週間以内で送金をする段取りになっております。

ちなみに現在まで6件のプログラムが出されて6件とも承認致しました。受付順にご紹介しますと、

- ①札幌西クラブ：9月19日に札幌育児園の児童約50人を札幌市の円山動物園に招待。保護者のいない児童、社会から疎外されている児童、家庭が崩壊して愛に飢えている児童をロータリアン及びその家族が一日里親として円山動物園に招き共に遊ぶことにより愛と勇気を交換するという事業。これに対し20万円補助をするということを通知。
- ②白老クラブ：創立25周年記念で全盲のオルガニスト大島 彰さんを町に招いて音楽会を開催。どんな障害があってもやればできるんだという、目標を持って生きる大切さを子供達に伝えたいということで、白老町にある4つの中学校の全校生徒と高校生或いは一般市民、障害者を招待するプログラムに149万円ほどかかるからという補助金の申請があり、55万円補助することで決定。
- ③苫小牧東クラブ：苫小牧青少年合唱団、苫小牧市民管弦楽団、苫小牧ウィンドアンサンブルという三団体共演による演奏会を開催。約1,500名を招いて、NHKの後援も頂いて行うこの事業に100万円かかるから援助して欲しいという要請に対し、50万円の補助金を決定。
- ④苫小牧クラブ：北海道ベアーズという身障者のアイススレッジホッケーチーム（ソルトレークパラリンピックに出場、2006年のトリノパラリンピックにも出場予定）に対し、リンクの借賃等のお手伝いをしたいということで申請あり、20万円補助で決定。
- ⑤七飯クラブ：「おいしく学ぼう」ということで、親子と一緒に栄養と健康との関係を学び

ながら料理をつくりコミュニケーションを深める事業に対し14万9千円を補助。

- ⑥恵庭クラブ：9月の秋祭りに地元小学校6校で約400名が参加をする相撲大会を実施。30万円を補助。

今までこのように195万円の補助を決定しておりますが、まだ残金が約200万円あり、色々と地域社会でこういうことをやっているんだということが分かるようなプログラムで、ロータリアンの皆さんが参画するというのであれば、どんどん申し込んで頂ければ審査をして約1ヶ月以内には決定をして参ります。以上が地区補助金であります。

二つ目の個人向け補助金は、海外で色々な援助をしたり、将来人道的なプログラムをやっているというための調査をする際の旅費の補助であり、国際補助金のWFの方から出て参りますので4ヶ月以上前に申し込む必要があります。

三つ目のマッチング・グラントは同額補助金ありますが、これは非常に申込みが多くてなかなか順番が回ってこない、申し込んでも非常に時間がかかっているようであります。

以上三つの補助金について説明致しましたが、これはロータリー財団の方針、指針に従って適切な支出をしないと補助金の全額返還、或いは年度の補助金を停止するとかということがありますから、私ども補助金委員会あるいは財団の方は充分注意をしてやって行きたいと思っております。ちなみに来年度、遠藤年度になりますと、3年前ですから30万4千ドルありますので、3万6,600ドルの枠があります。これは来年3月頃までに次年度の計画書を出して頂くと、来年の7月から補助金はどんどん使っていけますので、今後計画されているものがあり、次年度に実施していくものがありましたら早めに申請書にご記入の上、今のような条件をクリアして頂いたら結構ですから、有効に使うことをおすすめしたいと思います。



新世代委員会  
委員長 奥貫 一之  
(札幌東RC)

当委員会はインター、ローター、青少年交換、ライラの四つの委員会から成り立っております。詳しくはそれぞれの委員長が報告致しますが、まず本年度は委員長の内3名は今年新しくなった1年生の委員長、1人が2年生の委員長と、文字通り新世代の委員会でありますので、私の第一の務めは色々アドバイスをしながらそれぞれに汗をかかせていくことだと思っております。

次に7年前、今までなかった新世代という言葉が突然出てきて、0才～30才までの若い人を対象に奉仕を広げていくという、非常に考え方の幅が広がった訳であります。当地区では5年前の伊藤長英ガバナー年度に、地区大会の新世代フォーラムでその基本的な、そして具体的な方向をガバナーからご指導を頂いて、今まで縦系列だったロータリープログラムの新世代関係の委員会が横の連絡をとりながらやればもっといい活動ができるのではないかとこの示唆を頂き、以後忠実にそれを守りながら進んでおります。

遠藤正之ガバナー年度には待望のライラが復活をしました。そして新世代同士の交流のスキーマラソンでは遠藤ガバナー自ら走って頂くという活躍をされています。次年度の岩城ガバナーからも同様のご指導を頂きまして現在に至っております。この縦の糸と横の糸をうまく組み合わせる幅広い新世代活動をしていこうと、こういう風な方針でこれからも臨んでいきたいと思っております。



インターアクト委員会  
委員長 堀田 昌資  
(札幌東RC)

2510地区のインターアクトの活動は今年で38年目ということになります。スタートは室蘭大谷インターアクトクラブの発足に始まります。現在地区内には10クラブ、241名の会員がそれぞれ共同プログラム、リーダーシップ研修、青少年と大人の交流等を通してそれぞれがベストを発揮し、ユニークな活動を通して真剣且つ楽しく取り組んでおります。青少年との共同奉仕活動を通してロータリアン側の熱意と関心が理解され、また、ロータリーとしての適当な役割を果たすことができると確信致しますので、是非新しいインターアクトクラブが産声を上げますよう、また、ロータリアンの愛の奉仕を新世代に伝えて頂きますようお願い致します。

昨今、青少年に関わる、あつてはならない悲しい痛ましい事件が多発しております。青少年の心身の成長が注目をされているところですが、人の痛みが分かり合える世の中を誰もが望んでいる訳でございます。ロータリーと新世代の交流は、奉仕のプロジェクトを共有しながら世界の平和を目指すロータリーに尊い学ぶ機会を与えてくれると同時に、青少年の将来に大きく貢献をするインターアクトの活動の重要性が認識されることを期待しております。



ローターアクト委員会  
委員長 柳 孝一  
(札幌南RC)

ローターアクトクラブはロータリークラブが提唱、スポンサーになって18才から30才の青少年

を集めクラブとして運営しているところです。現在地区内には12クラブ約150名のローターアクターがおります。例会を月2回、だいたい夜が多いですが、ロータリークラブと同じような形式で例会をやっております。この他奉仕活動として、施設への訪問、ロシアへ日本の絵本を贈呈等、色々な活動を各クラブが行っています。

地区行事としては8月31日室蘭北ローターアクトクラブの主催でセミナーを開催、11月1日～2日岩見沢で地区協議会の開催、来年5月29日～30日札幌で地区大会の開催と、主な行事はこの三つですがその他、2500地区と北海道ローターアクト交流会というのが昨年度から行われており、今年で2回目となりますが札幌で開催されます。また、全国研修会が北海道から沖縄までのローターアクトを一堂に集めて来年2月帯広で行われます。

このようにローターアクトの行事が多い訳ですが、例会に出るとメーキャップがつかますので、是非皆さん方もローターアクトの存在を理解して頂き、こういう行事があるけれども一緒にこないかと声をかけて頂きたくお願いを致します。



**青少年交換委員会**  
委員長 野澤 幸平  
(岩内RC)

現在アメリカ、オーストラリア、カナダ、フィンランド、メキシコの5ヶ国に13名が当地区から派遣されてそれぞれ各地区で頑張っております。また、オーストラリア6名、カナダ、メキシコ、アメリカからの11名が現在当地区で交流しております。また、次年度アメリカ、オーストラリア、フィンランド、カナダへ8名が派遣候補学生と決まっております。

7月12日には渡辺淳一文学館で派遣学生渡航手続き等の最終オリエンテーションを実施しまし

た。また、受入留学生の帰国報告会、送別会、派遣学生の壮行会、短期受入学生の歓迎会等を併せ実施しました。

8月31日には同じく渡辺文学館で、受入学生の歓迎会、派遣学生の帰国報告会を実施しました。

また、10月18日～19日にはガトー・キンダーに於いて派遣学生のオリエンテーションと秋季キャンプを行いました。今後是非青少年交換委員会にご協力をお願い致します。



**ライラ委員会**  
委員長 宮崎 善昭  
(札幌西RC)

ライラというのはロータリー・ユース・リーダーシップ・アワーズという青少年のためのセミナーのプログラムです。9月が新世代の月間ですので毎年9月にセミナーを行っております。去年から高校生までのジュニアクラスと高校生以上のシニアクラスの2グループに分けて実施しております。

ジュニアクラスはローテックスとインターアクターが中心で、今年度は9月13日～14日札幌のNTTセミナーセンターにて一泊二日で行い、93名の新世代とロータリアンが参加をしました。プログラムは高校生も積極的に参加して貰うということで「もし地球が100人の村だったら」というワークショップにしました。今年は交換留学生にも参加してもらい通訳をつけながらユニークなやり方でありましたが、いい交流が出来たと思います。

シニアクラスについてはローターアクター、奨学生(財団、学友)が中心で、ロータリアンと併せて56名が参加をしました。北海道被爆者協会から来て頂いて被爆の体験談を話して頂き、また、「平和をつくりだす」ということでディスカッションを行いました。セミナーを通じて平和とい



うのはただ単に戦争がない状態だけをいうのではなく、人権の問題、貧困の問題、病気の問題といった基本的な問題を解決しない限り、真の平和ということにはならないんだということを参加者全員が学ぶことができました。なかなか普段新世代の中でも横のつながりで交流する機会は少ないわけですが、ライラセミナーはそう言った意味で良いチャンスであり、大変多くの青少年とともに私達も学ばさせて頂きました。多くの方々のご協力を頂いたことに感謝を申し上げます。



#### 米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖

(札幌北RC)

本年度当委員会の活動計画の一つに、米山記念奨学事業について会員の皆様により理解を深めて頂くため、できるだけ多くのクラブを訪問し卓話を実施することを掲げました。10月の米山月間に伊藤長英米山奨学会常務理事、地区委員長並びに奨学生が手分けし、依頼を受けた10クラブを訪問し卓話を実施しました。訪問先では奨学制度の歴史、意義、目的等について理解を求め、特に今年度は表彰制度の改定があったので、従来累計寄附30万円で米山功労者の表彰を受けておりましたが、本年度から10万円に変更になったことなどの改正点について説明をしました。

活動計画の二つ目に掲げた奨学生とロータリアンの相互理解を深めるため、地区大会の参加は勿論のこと9月末開催のライラシニアクラスに7名の奨学生に参加して貰い、ロータリアン並びにローターアクトメンバーと交流を図りました。今後の活動は11月に奨学生とカウンセラーに集まって頂き、半期を終えた反省と残された奨学期間への要望等について話し合う懇親会を開催する予定をしております。また、次年度の奨学生の選考に向けて各大学での募集と推薦一次選抜が始まり、

2月の選考試験に最終選抜を準備しております。しかし、奨学生を受け入れるための基本であります寄附金の減少傾向に歯止めがかからない状態で、9月末現在の国内全体の寄附金実績は前年度比3%強減少しております。奨学事業の先行き懸念が生じる事態が予想されます。地区内のクラブ別の寄附金も大きなバラつきが見られ、本年度残された期間内を皆様の更なるご協力を頂き、また地区委員とともに努力を続けて参りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いします。



#### 米山学友委員会

委員長 見延庄三郎

(小樽南RC)

昨年7月に米山学友北海道のチェーン組織として新設され、当委員会も丸1年を経過しました。この間新会長以下学友会の役員の皆様の大変な熱意と多くの努力によりまして、2年間休眠をしておりました学友会も元気に復活を致しました。今後の発展の種を播くことができたということは、私達バックアップをする方も大変喜んでおります。

今年度の活動計画ですが、基本的にはロータリー米山学友会活動の主体はあくまでも学友であり、我々委員会は学友と一体になって楽しく魅力のある学友会活動を展開していく、そして米山奨学生制度の究極の目的であります国際親善と交流を深めていく、こんなことを基本におきまして計画を進めております。

活動計画の一つですが、学友会名簿の補正作業がひとつあります。これは米山学友会というのは学友であっても本国へ帰ったり、転出したりした人は米山学友会から抜けることになるので、この出入りの補正をする。

もう一つの新しい事業として道内全部のクラブにつきまして世話クラブ毎の元米山奨学生全員の

名簿を作ろう。これは大変な作業になると思いますが、特に本部のデータをもとに作ろうと思っておりますが、分からない部分につきましては各クラブに今後照会していく予定をしておりますので、その節はよろしくご協力をお願い致します。

また、活動の一つとして、ライラセミナーへの参加、米山奨学委員会、新世代委員会と関連委員会との連携事業に出来るだけ積極的に参加していく。「米山学友会だより」という会報があるが、これの発行の支援、12月には定期総会をやるので、これとクリスマスパーティを含めてこれの支援をしていく。5月には家族懇親の会を催す。今年是小樽の朝里で家族懇親の野外パーティを開きました来年も継続していく。

これも新しい計画ですが研修会の開催、これは日本の文化や社会制度等を学友が興味と関心を持つ勉強したいということについて研修の機会を持たせる。例えば個性的な会社や工場の見学、自衛隊の研修、その他色々希望を頂いて進めて行こう。こういったことについて米山学友会の役員と我々委員と逐次役員会を開いて具体的な計画を立て進めて参ります。



#### 広報委員会

委員長 丸山 淳士  
(札幌真駒内RC)

活動報告を致します。

- ①昨年度に計画された各クラブの奉仕活動の要旨をこの程完成させ、CD-ROMに記録しました。
- ②今年度はこの資料に基づき、マスコミ関係にわかりやすいように編集し、アピールしていきたい。
- ③各クラブの奉仕活動の写真を掲載したポスターの作成をする。
- ④会員個人個人が広報マンである自覚を持てる

よう、各クラブでの卓話に1回はクラブ広報委員のプログラムを組むように働きかける。

- ⑤各会員の名刺には所属ロータリークラブの名称を必ず入れるよう働きかける。
- ⑥ロータリークラブ会員のステッカーを作成し配布する。
- ⑦マスコミ関係者の入会を積極的に勧めるように努力する。

以上、上半期の報告です。2004年2月上旬に委員会を開催する予定です。



#### 情報委員会

委員長 亀井 敏清  
代理：大淵 勝敏 委員  
(小樽南RC)

クラブ情報委員会は会員候補者、新会員、更に既存会員それぞれに適応して、ロータリーの全ての情報を提供することであります。従ってクラブの情報委員会はロータリーの崇高で且つ豊富な奉仕哲学と共に100周年を目前にしたロータリーの基本理念に基づく組織規定を正しく理解しなければなりません。この重大な任務を効果的に遂行できるよう援助するのが地区情報委員会の務めであります。2001年の規定審議会ではロータリーの基本をゆるがすような組織規定の改正もされております。

このためクラブ又は会員の中で改正された規定の適用に適切でなかったり、誤解が生じた事例がありまして、地区情報委員会に対しての問い合わせが多くありました。これらを月信を通してQ&A方式で回答して参りました。問いには規定に対する質問以外にも歴史に関するもの、手続要覧に掲載されていないクラブライフの問題等々あり、組織規定のみでクラブ運営がなされていないことを如実に物語っていることを知ることができました。

今年度は2004年6月に3年毎の規定審議会が

開催されます。詳細な情報は月信を通してお知らせする予定です。



### IC委員会

委員長 山田 信夫  
(苫小牧北RC)

インターネットコミュニケーションを地区内で普及展開することを基本方針として活動しております。従来からメールマガジンの配信とすることで、色々ネットで配信されているロータリーに関する情報を皆さんのお手許へお届けするということを原点にスタートしておりますが、今年度からホームページの開設とかメーリングリストの開設、各クラブの皆さんにももっと活発にインターネットを使って頂きたいということも含めてクラブホームページスペース、クラブの方がホームページを作る上で必要なホームページ用のサーバーの提供もしております。

今年になってからホームページについては当地区で7件のクラブが開設し累計で21件のクラブが情報を発信しております。地区委員会のホームページも4件になりました。メールマガジンではニュースバスケットとかハイライトよねやまとか沢山の情報をみなさんに配信しておりますが、昨日の配信で452件に達しています。

今年度佐藤ガバナーがインターネットコミュニケーション、地区、クラブ、各地区の委員会のネットワークをインターネットでということ盛んに活動されているので、お陰で私のメールマガジンも多くの方に読んで頂けるようになりました。また、クラブ事務所のいわゆるネットワークの設置についても46クラブに昇っており、更にクラブ単位でどなたかがインターネットでコミュニケーションできるという範囲まで加えると実に91%のクラブとインターネットによる接点を持っているという状況にあります。各クラブの事情

があるので100%は難しいとは思いますが、是非皆さんのお力を借りて100%に限りなく近づけていくことが使命だと思っております。メーリングリストも新設しましたが登録者が130名とまだまだ不十分ですが双方向の情報交換が可能な状況が少しずつできております。

尚、今地区大会において3階大ホールホワイエでインターネット体験コーナーを設置しておりますので時間の許す限り利用して頂きたいと思っております。



### 文献資料室

委員長 関堂 勝幸  
(札幌東RC)

文献資料室について実際どれくらい会長、幹事さんがご存知かなと思っております。過去に私どもが人会した当時は文献資料室から色々な資料を貸出し提供を受けておりました。

現在勿論資料の新しい購入はしておりませんが、IC委員会に協力を頂き、ネットで文献の資料を提供しております。今後としましては文献資料室の書庫が一杯になっており、このままだと書類を入れる場所がないということで、小さい形でまとめていく必要があります。予算の関係ですぐにはできませんが、長い時間をかけてもやっていきたいと思っております。

IC委員会で皆さんに文庫の書類を見出して出しておりますが、それ以外に貴重な文献が沢山ありますので、是非一度文献資料室に問い合わせを頂いて、クラブの今後の活性化のためになるのではないかと資料を見て頂いて、ロータリーのこれからの向上に役立てて欲しいと思っております。



ロータリーの友委員会  
委員長 佐藤 公  
(札幌北RC)

昨年度新設された委員会で活動としては今年2年目ですが、主たる目的は皆さんに毎月お届けしている「ロータリーの友」を如何に沢山読んで頂き且つ購読して頂くかということにあります。現在当地区には72のクラブがありますが、この中で購読数が会員数より少ないというクラブが12あります。会員は全て購読の義務があります。当委員会は地区内の全クラブ会員に購読がされるようやっていきたいと思えます。72クラブの数だけ雑誌委員会がありますが、この名称を「ロータリーの友委員会」に変えて頂きたいというのが昨年の提案でした。まだその辺の周知徹底がされていませんが、本年度も全クラブに名称変更をお願いし、全会員に「ロータリーの友」読んで貰うのが最大の方針です。

また、雑誌に対するご要望、ご意見がありましたら各クラブの委員会を通して本部に上げて欲しいと思えます。



オン・ツー・大阪委員会  
100周年記念委員会  
委員長 岩城 秀晴  
(札幌南RC・PG)

来年の5月23日から26日まで大阪で国際大会が行われます。皆さん方に是非ご出席頂きたいと思えます。国際大会は世界のロータリアンが集まる訳でありまして、来年はだいたい4万人位が集まると思っておりますが、日本で開催されるのは実に26年振りのことでもあります。私も地区の委員長になっておりますから責任上どうしても皆さんのご理解とご協力を頂いて、だいたい715名位

の数に是非お願いしたいと思っております。各クラブさんに目標の数字をお願いして月信にも載せたいと思っております。旅行プランもA、B、Cと3通り位用意をしましてご希望による選択が可能になるようにしたいと考えておりますので、ご無理なお願いですが是非よろしくお願い致します。

それから私にもう一つ科せられたことは2005年には100周年が参りますが、これは非常に大きな100年目の節目でありまして意義深いものになければならないわけでありまして。そこでハード的な問題もありますけれども、ソフト面でどういう風にするかということ委員会を考えておまして、やはり各グループ毎にロータリーとは何だ、何でロータリーなのかということを考えて頂いて、100年は過ぎたがこれからの101年のロータリーはどうあったらいいかといった理念的なことを考えて、ロータリーのあるべき姿をここで見直して頂きたい、そんなことを考えております。できれば各グループごとでそういうテーマを掲げてシンポジウム等を開いて頂きたいと考えております。それから先ほどもポリオの問題がありました。最近ロータリーの寄附が若干低調になってきております。どうかひとつポリオに対するもう一步のところでございますので、1人50ドル位佐藤年度内にご寄附頂ければと思っております。

また、先ほど友情交換委員長の金井さんから話がありましたが、9月に日韓親善会議がございまして韓国の3700地区からは是非姉妹提携をして頂きたいというプロポーズもされております。どうかひとつ意義ある100周年、そしてこれからのまた100年、そういったものを我々として考えて、ロータリーの一步一步高きに昇っていく姿勢が必要ではないかと考えておりますので、宜しくお願い致します。



### 会員増強委員会

委員長 小林 博

代理：戸部アナマリヤ  
(札幌はまなすRC)

委員長の小林博直前ガバナーがどうしても本日出席できませんので代理で報告させていただきます。小林委員長が作りました会員増強指針（案）は各クラブの会長にすでにもうお渡ししておりますので、お帰りにになりましたら各地のクラブや地域の現状、そして将来のロータリーというのはどういうものであるべきかを探りつつ、会員の増強又は退会の防止にこの指針（案）が参考になり、そしてお役に立てればという委員長の気持ちでつくられておりますのでよろしくお願い致します。また、この報告書ですけれどもとても長いので私の持ち時間をオーバーしますので、委員長の書いております最後のところの「基本的に大切なこと」を読ませて頂きます。

ロータリーは親睦と奉仕の団体といわれるが、親睦と奉仕の両輪をうまく回転させロータリーの魅力をつくるように努力する。計画を批判するばかりでなく自ら工夫を凝らして実行することが大切である。親睦について言えばロータリーを取り巻く環境はこの98年間に大きく変遷してきました。価値観が多様化しただけではなく人生を楽しむ方法も多種多様となり、安い会費で楽しむ方法が沢山出てきました。特に人口密集地帯は人口比で比べるとロータリアンの数は低下の傾向にあります。ロータリアンにとっての真の親睦とは何かを再考する必要があり、奉仕の団体としてのロータリーは大きな社会的貢献をしてきたが、昨今のNPO、NGO活動に比べますと、ロータリーの活動は影が薄くなってきました。ロータリーならではの奉仕とは何かを実行する必要がある。

以上のようにロータリーが置かれた立場の歴史的变化を自覚し、グローバルなものから長期の展望に立ってこれからのロータリーの親睦と奉仕のあるべき姿を求めて努力を重ね、出来ることから実行し、社会の模範となるような言動の積み重ね

が大切である。これが会員増強の基本と心得たいです。

最後に小林委員長が言われたことは、今年度は委員長自ら出来るだけ沢山のクラブを訪問し、皆さんと今の問題を語り合いたいと申しておりました。先ほどの会長代理のお話の中でも退会防止が大変大きな問題になっておまして、今後会員増強と同時に大きな考えなければならない問題になっているので、小林委員長はこれから出来るだけ沢山のクラブへ足を運ぶことになると思いますので是非声を掛けて頂きたいと思っております。

## ●記念フォーラム

### 「地球の未来の為に今、私達が出来る事は？」

#### 第1部 地区内各クラブが実施している環境に関 した事業の紹介

栗沢RC (第3グループ)  
記念植樹事業について

札幌はまなすRC (第4グループ)  
防風林の清掃、植樹などの事業

新札幌RC (第5グループ)  
使用済み割り箸の回収、リサイクル事業

恵庭RC (第7グループ)  
市内各所に桜、りんごなどの植樹事業

静内RC (第8グループ)  
植樹事業

浦河RC (第8グループ)  
無人駅のJR日高本線、日高幌別駅周辺で  
草刈作業

函館RC (第10グループ)  
エゾヒキガエルの保護活動

函館五稜郭RC (第11グループ)  
地域清掃奉仕活動

千歳RC (第7グループ)  
桜の植樹、分取造林などの事業

#### 第2部 フォーラム

##### 基調講演 「水と健康」

北海道大学大学院地球環境科学研究科  
環境情報医学講座・助教授

井上 勝一 氏

#### 事 例 報 告

「工業污水・工業廃棄物・家庭ごみは中国  
(天津) でどう処理していますか」

北海道大学大学院

劉 向 東 氏 (中国)

「ネパールの環境問題、その背景および保全」

北海道大学大学院

チンタ マニ ゴータム 氏 (ネパール)

「田畑での養殖漁業産地における環境問題と  
社会問題」

北海道大学大学院

ジラサック ギムファン 氏 (タイ)

進 行 ガバナー 佐藤 秀雄



## パネラーご紹介



**井上 勝一 氏**

北海道大学大学院地球環境科学研究科  
環境情報医学講座・助教授

【経歴】

- 1942年2月12日生
- 1971年3月 北海道大学医学部医学科医学専門課程卒業
- 1982年3月 医学博士の学位授与
- 1989年4月 北海道大学大学院環境科学研究科  
環境医学講座助教授
- 1996年4月 北海道大学大学院地球環境科学研究科  
環境情報医学講座助教授



**劉 向東 氏 (中国)**

【経歴】

- 中国天津市出身 (1962年2月12日生)
- 1997年4月より北海道大学大学院資源化学研究科修士課程入学、1999年3月修士学位取得、2002年3月環境科学博士学位取得、現在外国人研究員として西研究室に所属  
(専門分野：高分子化学)



**チンタ マニ ゴータム 氏 (ネパール)**

【経歴】

- ネパール国グルミ県出身 (1970年8月21日生)
- 王立トリブバン大学大学院修士課程卒業、北海道大学大学院地球環境科学研究科修士課程卒業  
(専門分野：地理学)



**ジラサック ギムファン 氏 (タイ)**

【経歴】

- タイ国スパンブリー県出身 (1975年4月15日生)
- 1999年4月より北海道大学大学院地球環境科学研究科取得学位修士課程終了、現在、博士課程3年生  
(専門分野：資源化学キトサンポリマー界面活性剤糖質界面活性剤)

**佐藤ガバナー** 皆さん方に各クラブからの事例発表を見て頂きました。各クラブが素晴らしい地球環境保全のために、このような事業を展開していると言うことをご理解頂いたと思います。

続きましてこれからフォーラムに入らせて頂く訳であります。壇上に上がっておられる方々のご紹介をまずさせていただきます。私の横にいらっしゃいますのは北海道大学大学院地球環境科学研究科の井上勝一先生です。向こう側は劉 向東さん、中国でございます。

皆さん、少し暗くて分からないかもしれませんが、プログラムの19ページにそれぞれこれから講演していただく内容と簡単なプロフィールが出ておりますので見て頂きたいと思っております。次にネパールから北海道大学大学院に学んでおりますチンタ マニ ゴータムさんでございます。次にタイから北海道大学大学院にいらっしゃっておりますジラサック ギムファンさんです。

まず、井上先生から地球が非常に汚れており、そういう水を飲んでどういう病気にかかるのかということ映像を使いながら、基調講演を頂きます。それからお三人の方々からそれぞれの国の環境問題に関するお話、これも映像を使ってそれぞれ15分ずつ報告させて頂くというフォーラムであります。

その後会場の皆様方からそれぞれご質問を受ける予定でしたが、二つほど予定が変更になりました。一つは井上先生がどうしても6時10分には東京に発たなければならないと言うことになり、この会場に6時10分まではいらっしゃいますが、それ以降飛行場に向かうことが一件、それから二つ目は第5100地区、当地区と非常に青少年交換関係で親密になっておりますチャック伊藤さんがお見えになっております。明日の全体会議、本会議の二日目にお話を頂きたいと思っておりましたが、どうしても日程がつかまっておりまして時間が取れない。せっかくオレゴン州のポートランド市近くの街であります。そこからお越しになりまして、特に札幌市内のクラブとの交換留学生につきましては、もう何十年も前からずっと継続してやってらっしゃるということもあり、チ



ャック伊藤さんからこの青少年交換プログラムについて、本当に時間の少ない訳ですが15分くらい第5100地区の青少年事業についてお話をさせて頂きたいと、こういうことで時間を取りましたので、質疑応答はなくさせて頂いて、報告だけということでご了解を頂きたいと思っております。

そして私の方から3～4分で、司会進行させて頂きます建前上、このテーマでございまして「地球の未来の為に今、私達出来る事は？」というテーマを設定致しましたけれども、地球環境がどのようになっているんだということ簡単に4～5分で説明と報告をさせて頂き、それから井上先生に20分間基調講演をお願いします。そういうことで進めて参りたいと思っております。

R1理事の管生さんはR1の環境保全委員会の担当ということで、各34地区に対して環境保全に対してもっと注目をさせて頂きたい、そしてそれぞれ皆様方の34地区のクラブは環境保全についてどういうことをしていますか？というアンケートが参っております。それぞれのクラブに対して地区の方から近々にまたクラブにお聞きしたいと思っておりますけれども、管生さんはこういう風に言っております。4月22日は米国でアース・デイ、5月5日は国連のワールド・エンヴァイロメント・デイ、こういう風に設定されているけれども日本は4月29日を緑の日と言うことで作りました。この日を境にして前後二週間位全面的に環境保全について、ロータリアンが積極的に環境保全の問題を取り上げて頂けないだろうか？こういう要請がきておりまして実は調整に入った訳であります。そんなこともございまして是非この環境問題に各クラブが強い関心を持って頂きたい、そん

な関係からこういうテーマを設定させて頂きました。

そして皆さんもご承知のように、今年の夏は世界的に異常気象が続きました。欧州各国や台湾は記録的な猛暑でありました。インドは大雨に襲われました。中国においては洪水と干ばつのダブルパンチということが7月の新聞で連日報道されておりました。

欧州のバスの運転手は短パンを禁じられた為にスカートを着いてバスの運転をしたということもございましたし、それからパリのある公園には「大木の蔭に寄るのは避けて下さい」という貼り紙が出されたそうでもあります。と申しますのは、40度位になりますと10メートル位の枝が音もなくドーンと落ちてくる、15メートル位の上から落ちてくる、そこに夕涼みをしていますと完全に怪我をされる、そんなことで貼り紙が出た。それも大変な地球の異常気象ではなかろうかと思っております。

それからマッターホルンの麓でございます、スイスのツエルマットを流れるマッターフェース川という所があるそうですが、ここもですね、マッターホルンの氷河が高熱のためにどんどん溶けてこの川が溢れた、こういう報道もあります。

それからインドのニューデリーにおいては、昨年の7月の降水量が8ミリだった。今年はどうでしょうか？600ミリ、もの凄い雨量でありました。大洪水でありました。

こんなことが頻繁に起こりまして、それは我々文明社会が色々な利便性のために作った製品によってオゾン層が破壊され、それによって地球は砂漠が拡大し、いろんな害が発生している。もう地球は満身創痍、大変な時代を迎えてると言っても過言でないのではなかろうか？RIもそんなことを見ながら世界の理事に指令をかけて、地球の環境問題について考えよう！こういう指令がきているのではないかと言う風に思っております。

中国の劉 向東さんには工業水、工業廃棄物、家庭用ゴミは中国でどう処理されていますか？それからネパールのチンタ マニ ゴータムさんにはネパールの環境問題及びその背景及び保全につ

いて、最後にジラサック ギムファンさんにはタイでございますがタイにおける養殖漁業地における環境問題と社会問題、こういうことを中心としてそれぞれご報告して頂こうと思っておりますので宜しくお願い致します。それでは井上先生宜しくお願い致します。

## 基 調 講 演



**井上助教** 皆さんこんにちは。私は実は札幌北ロータリークラブに所属しております、メンバーの内一人ですが、先ほども各クラブの方々から実例を報告されまして、素晴らしい業績を上げられましたことに感銘しております。私は、今日は、北大の一職員として参加するという形を取らせて頂いておりますが、その一番の理由は、私達は大学におりまして色々なことを頭で考えることはできますが、実際の行動を全く何もしていないということを理解されて、多分佐藤ガバナーがもう少し手足を使ったらどうかというようなことで、こういう機会を与えて下さったと思っております。私どもは本当にダルマさんでありまして、先ほどのような、あのような素晴らしい実績を上げることはできません。

例えば、小児麻痺のことにつきましても、私達はワクチンがどう働いて、どうワクチンを使えば良いかということはよく知っておりますけれども、実際にそれを世界に供給し、それが活用されていく方法というのは、やはりWHOとかロータリークラブが手を差し伸べていかないとうまく行かないということをよく考えます。そういうようなことがありまして、多分、今日お前達はそうい

う色んなことを考えるだろうから、その例を示せと…その代わりロータリーの方で色んな手を貸してあげましょうというというお計らいであろうと考えております。ですから私のお話は、今日はロータリークラブ会員としてではなく、大学のダルマのお話ということで受け取って頂ければと思います。

今日、63枚のスライドを用意しました。1時間かかるところを20分でやりますので、大急ぎでやりたいと思います。短距離ランナーとなりますので、皆さんもそのつもりで後に付いてきて頂ければ有り難いと思います。それでは早速始めたいと思います。

これは1990年にドイツのハンブルクで開かれましたUICC、世界癌会議の会場ですが、どこの街にも高い塔がありますので、そこへ昇りますと、こういう風な素晴らしい建物がありまして、庭園が見えます。この環境のところでUICC、世界癌会議が開かれました。その時のプログラムがこれで、一覧表で20数会場に分かれておりますが、これだけの日々に亘って会議が行われております。

第一日の第一会場の項目を見てみたいと思います。これが第一日の第一会場の最初の項目です。タイトルは「癌発現における環境癌原物質」というようなタイトルの項目から始まっている訳です。もうこの1990年の頃には、環境因子が如何に重要かということが示された訳であります。その頃と同じ頃に、いわゆる環境フォーラム、環境サミットが開かれまして、ここで多く取り扱われましたのは「水」の問題であります。この時点で色んな水のことが討議されましたが、その後どう変わったかということは皆さん現在の状態をよくご存じだと思いますので、現在の状態を抜きにして、ひと昔前の、10年昔に戻ってみたいと思います。

水の問題というのは、実は先ほども植樹の問題がたくさん出てまいりましたけれども、樹木を満たして、池を形成して、それから私達の大切な水の資源をつくってまいります。それはやがてこういうきれいな川になって流れていきます。街の中

へ入ってきますと、流れはゆるやかになるとともに水は少しずつ濁って参ります。こういうことは実は江戸の時代からありまして、平晴海という人が「水上過ぎて流るる川も落ち行く末となりてはようようあらぬ塵芥に汚れてついには元の清き姿を失うことあり」と述べております。私達が生活しておりますのは、実は蒸発された水が集まったこの雲と、これは海ですが、この間というのは実は数百メートルにしか過ぎないんですが、それだけの間で私どもは生活しております。

この中には一つの循環がありまして、その代表的なものがこれであります。工場から出る煙もありますし、生活から出る色んなもの、排気物も混ざってまいりますし、そういうものを含んだ水蒸気も上がってまいります。車からの排気ガスなんかも出る訳でありまして、その結果出てきたのが酸性雨であります。

これは酸性雨に浸されました樹林でありまして、高い木から葉が順番に落ちているのがおわかり頂けるかと思えます。これがその代表的な木でありまして、低い木は残っておりますが、高い木からまずやられて参ります。このように木を直接痛めつけるということもありますが、もう一つ別の観点の飲み水ということから考えて見たいと思います。

飲み水の中で、やはり一番問題は水道ですので、水道というものがどういう意味を持っているかを考えてみますと、皆様方はよくご存じのとおり、昔は赤痢が非常にたくさんございました。ところがそれは次第に減ってまいりますが、それは水道の普及とともに減ってまいる訳でございます。この水道の普及で、どうして赤痢が減ってくるかと申しますと、ここには塩素消毒が入って参ります。水道水には、塩素消毒による、これが逆に有害物質となってまいります。

もう一つの観点からいいますと、札幌市の人口はもう飽和状態に入っております。現在は定山溪ダムと豊平峡ダムから水を取っておりますが、この二つだけでは既に水が間に合いません。従って、途中の豊平川からも取っておりますし、場合によっては地下水も汲み上げている訳です。これ



は北九州市の水道水を調べたものでありまして、これを見てもその中には色んなものが混ざっているのがわかります。一つは工業原料、それから殺虫剤なんかも入ってますし、農薬、これはゴルフ場の方の問題であります、それから当然水道を使いますと、水道管と水道管を接続させますので、そのところに用いる可塑剤が入って参ります。それからもう一つ重要なものは、赤痢菌や何かを予防するために用いた殺菌剤としての塩素消毒によって出てくる反応生成物です。その代表的なものはクロロフォルムです、ジブロモクロムメタ、ブロムフォルムであります。これらのものを総称しまして、ハロゲンが三つあるということでトリハロメタンと総称されて、発がん物質として着目されている訳であります。そういうことの他にもっと端的な例からいいますと、先ほどのように色んな物が入って参りますと、当然そのところでは味がおかしくなってきますし、臭いもおかしくなってまいります。厚生省の方は昭和58年度辺りから始めまして、63年度迄くらいはこの異臭味水の調査をずっと続けておりました。ところが一向に減る傾向がありませんので、実は昭和63年を境にしまして、これ以後はこういう報告をやめております。

幸いなことに北海道というのは比較的味とか臭いが悪いものはありません。それから木曾川を主源とします中部におきましてそういうものは非常に少ないんですね。多いのは近畿であります。近畿のところでは一番多いのは何かといいますと、ここに琵琶湖がありまして、この琵琶湖が大きな水源になっているということが挙げられます。川の水の綺麗な四国では殆どありません。これは実際の湖沼の水の綺麗さを示す生化学的酸素要求度CODを示したのですが、水道一級になるのは1です。ここは0.7となっておりますが、これは支笏湖であります。1よりも下であれば簡易消毒するだけでそのまま飲めます。これは中に入っている有機物の量を調べている訳ですが、その時に1を超えますと、これはもう飲み水としては適しません。そうしますと北海道では支笏湖は0.7です。阿寒湖はこの時点、平成元年ですが、この時

点では2.6であります。琵琶湖はどうかといいますと、この時点で2.9であります。よろしいでしょうか、この数字をご記憶頂きたいと思います。

これがどう変わったかを見ますと、平成11年では支笏湖は0.7と、そのまま維持されております。しかし阿寒湖の方は悪くなって3.0になっております。琵琶湖も3.2という値をとっている訳であります。琵琶湖の方なんかは、かなり努力をして一生懸命CODを減らそうとしておりますが、なかなか結果が思うようにいきません。といいますのは、この阿寒湖の例もそうですが、琵琶湖の例も周辺から生活污水が流れ込むということがあるわけであります。それに比べまして河川はどうかといいますと、河川は石狩川が1.3、十勝川が0.9ということで、十勝川はこの時点では水道一級にすぐ入っていくわけであります。先ほど申し上げた木曾川は0.8で非常に綺麗な訳ですね。四国の方も0.6、0.9と綺麗な値をとっております。それが、十勝川はどうなったかといいますと、やはり上がって参りまして1.5になっております。石狩川は旭川の方の努力でもって、良くなって参りまして1.0になっております。木曾川はそのまま努力されて0.6、四国の方もいい値が続いております。

こういうことがどういう影響があるかといいますと、これは道新に載った記事であります、ペットボトル症候群というのが報告されました。これは子供達が糖尿病になる、成人型の糖尿病と同じ状態になるということが報告された訳であります。これは子供達の身長と体重の変化を男子で見たものですが、殆ど年度を変えて見ましても、あまり大きな変化は認められません。女子の方も同じであります。年度を変えましても殆ど変わりありません。ところがこれを肥満度から見ますと、年度によって徐々に肥満度が増えてくるのがわかります。しかもその年齢は8~11歳、いわゆる小学校の児童に多いということが分かるわけがあります。この写真は何かといいますと、これは赤ちゃんでも人の真似をする、真似ぶから、学ぶという言葉になりました。こういう赤ちゃんの時から学問を始めていることを意味しているわけです

が、私が今日申し上げたいのは、そうではありません。この舌を見ていただきたい。これが舌のところに味蕾でありまして、舌の先はこういう風に沢山に分かれており、ここに血管が見られます。この味蕾のところに甘い物、あるいはしょっぱい物をのせると、そこで電気が起こりまして、それが持続します。例えば砂糖をのつけますと、そこで甘味を感じて、そのまま持続するわけです。ところがそこで水を加えてやりますと、これは元に戻ってまいります。ですからまた甘い物がきまると変化が起きますが、甘い物があつたところに甘い物をのせても、それは変化をしません。常にこういう水を使うことによって甘さに対する新鮮な感覚が生まれてまいります。

その例が、このワインの試飲会でありまして、アルコールを口に含んで、その後には必ず水をとって舌を元の状態に戻すわけでありまして。ところが、水を使わないで、例えばペットボトルというようなスポーツドリンクを使いますと、その中には必ず糖質がかなりの量が入っております。従ってこういう糖質がベースになっておりますので、その後甘い物が入ってまいりまして、あまり甘いという風には感じないわけですね。そのためにどんどん食べることができます。そういう食べ方の典型的な人がこの人でありまして、食べ物一杯あります。ここに水がありますが、食べ物はどんどん食べられていきますが、全く水は飲まれておりません。ということはこの人の舌は常に甘味とか色んな味で満たされておりますので、慣れてしまつてどんどん食べる形を取るわけでありまして。

例えばスポーツなんか、皆んなで外へ行った時に、やはり水が必要になってまいります。これは中島公園ですが、中島公園の中で水を飲めるかどうかを見ますと、これは噴水です、案内板を見ましても、トイレやなんかは記載がありますが、水飲み場の記載はありません。

ところが替わりに置いてあるのはこういうドリンク類ですね。最もペットボトル症候群に対しては悪い訳であります。じゃ綺麗な水は大丈夫かというところ必ずしもそうではありません。

これはお腹の中のX線写真です。レントゲンの場合は空気のあるところが黒く出てまいります。ここは大腸の中の空気です、ここにあるのは背骨です。骨は白く出てまいります。おかしなところに白いものが見えます。ここにあるのは本来肝臓です。肝臓の中に白いものがあるわけですね。それをエコーで見ると、やはりエコーでも強い反射が見られます。肝臓の中に白く抜けた部分が出てまいります。この患者さんを手術します。正常の肝臓はこういう色をしておりますが、これは光の反射です。真っ白になっているのがわかります。ここが病巣であります。顕微鏡で覗きますと垣根を作つた水が沢山入つた袋を作つております。ここの中に入っているのがエキノコックスであります。

エキノコックスには終末宿主と中間宿主と両方あります。中間宿主というのは人間も中間宿主ですが、終末宿主というのは一番有名なのがキタキツネであります。これがエキノコックスの成長の段階ですが、最後に卵が一杯出て参ります。これがボンと取れますと、もの凄い数の卵が一辺に出て参ります。このスライドはよく見えないと思いますが、このところにネズミがおります。ヤチネズミですね。これが原因になるものです。ヤチネズミは木を食い荒らして、地下をずっとトンネルを掘つて走つていますのでなかなか捕まりません。その天敵として一番いいのがキタキツネです。これは今、捕まえようとしているところですが、これが捕まえたところでは、ドブネズミもおりますが、これは問題ありません。北海道には7種類のネズミがおりますが、ヤチネズミとそれからミカドネズミというのが、両方エゾがつきますが、エゾヤチネズミとエゾミカドネズミがエキノコックスの中間宿主になります。冬になりますと当然キツネは餌をとれません。雪の上を歩きますので、こういう高いところに、便やなんかが付くわけですね。こういったところに春になって素手で入りますと、こういう便の中の卵を手付けてしまう形になります。雪の上などに弱つたヤチネズミがヒョコヒョコ出て参りますと、これはもう格好の餌になりますが、これはもうエキノコックスに犯

されて死にかかっているエゾヤチネズミであります。でも、このスライドのような可愛いキタキツネを抹殺するということはとてもできません。何とかして、こういうものも残しながらエキノコックスをなくしたい、そういうことが私どもの願いでもあります。

お話は変わりますが、これは胃がんであります。胃がんは年々減って参りましたが、山形だけは他の都会に比べまして何時も多いんですね。この理由は多分こういうことだろうと思います。これはマウスの実験であります。塩水をずっと飲ませます。そして発がん物質をやります。これは塩水を飲ませて、同時に発がん物質を飲ませます。これは塩水を飲ませて、発がん物質をやって、そのまま発がん物質だけを続けます。これは発がん物質だけです。これが発がん物質で、こちらがもっと量の多い発がん物質をやります。この1、2、3、4、5、6という数字をよく覚えてください。ここのところでは塩水と発がん物質を同時にやっています。こちらは発がん物質だけです。そうしますとここのところを見てください。アデノカルチノーマと書いてありますが、これが癌であります。2番が発がん物質と塩水を一緒に取らせたマウスですが、そうしますと80%に癌が出てまいります。ところが、発がん物質だけをやっても25%で、それからもっと多くの発がん物質ではむしろ減ってるくらいの数なんですね。こういうことから考えますと、塩水というのが非常に悪さをしているということがわかります。それで、何故山形の方で胃がんの発生が高かったかということ、やはり漬け物が大きな原因だろうということが推測される訳であります。

そうしましたら、今度中国からの留学生がこういうことをいうんですね。中国では実は食道がんも凄く多いんだというわけです。で、実際にWHOの報告をみましても中国ではもの凄く食道がんが多いんです。その理由は何故か？これを一緒に考えてみましょう。中国はこのように砂漠が多い。水がもの凄く大切なんですね。当然、野菜類を保存するためにも岩塩を使います。しかもそれを水で薄めて、綺麗に洗って食べるよりは、む

しろ岩塩と一緒に食べる。この女の子が一生懸命ヤギの番をしておりますけれども、ここの牧草地といいましても殆ど草というものが見られないくらいのところでありまして。

もう一つ変わったことがあります。大腸がんというのがあります。大腸がんを中国人でアメリカ移民を対象にして調べてみますと、アメリカへ行きまして飽和脂肪を沢山摂ってくるに従って大腸がんの発がんは多くなりますし、アメリカの在住年数が長くなるとやはりがんが多くなって参ります。ところがもう一つ観点を調べてみますと、もう少し面白いことがわかります。

これは座業、いわゆる事務労働者と肉体労働をしている人を比較しますと、事務をやっている人に圧倒的に大腸がんが、男性でも女性でも多いんですね。これはなぜかといえますと、大腸がんの起こり方をみてみます。これは大腸ファイバーで見たポリープなんですけれども、ここの部分が正常なところなんです。この白いのは光の反射でここのところにもうポリープができかかっている。時が経ちますと更に大きくなって、もうポリープとはつきり分かります。この青いのはポリープを目立たせるように色素を散布しております。更に大きくなると表面が凸凹になって参ります。終に、出血しまして、もうがんになっているわけですね。

この原因になっておりますのが胆汁酸です。胆汁酸が出てくるのは、胆汁の中に入っておりますので、脂肪分を食べれば胆汁が多くなりますから当然こういうことが起こりやすくなります。しかもその時に便秘をしますと余計にその時間が長くなってまいります。で、水を飲みますと便秘が完全に抑えられて参ります。便通が非常によくなるわけですね。そうしますと最終的にはこのスライドのように美味しい水を良く飲んで、元気に活動できるということが最終的な目的になる訳であります。

私の今のお話したいことはこれだけなんですけれども、美味しい水をどうやったら、皆さんで楽しむことができるか、是非皆さん方でお考え頂ければと思います。ご静聴ありがとうございました。  
**佐藤ガバナー** ありがとうございます。水と癌



ということで基調講演を頂きました。

続きまして劉 向東さんに工業水と工業廃棄物、家庭ゴミ、天津でどうやって処理しているかに移らせて頂きます。劉さんお願いします。



## 事例報告

**劉 向東さん** 早速本題に入りたいと思います。中国と言えはまず人口が多いわけですね。13億人の人口を抱えています。それから各先進国から投資をされていて世界工場とも言われます。つまり膨大な人口を抱えながら膨大な工業を持っています。そういう国で膨大なゴミに対してどういう風に対応しているか？それについてこの機会を頂いて、私から少し紹介をさせて頂きたいと思います。

まず、衛星の写真を見てみたいと思います。これは中国の写真ですが、中国自体は先ほど井上先生が言っておられたように、砂漠が多くて緑がとても少ない国なのです。中国で言えば白い国と言われておりますが、人類にとって住みやすいところがそんなに多くありません。これは、夜になって灯りがついた写真ですがこの光っているところが中国の人口が多い地域です。このサツブジティ或いはチベットの海拔4,000m以上のところは殆ど人が住んでおりません。大部分がこの狭いところに住んでおります。こういう狭いところに13億人もの人が住んでおりますので、環境というものをどの国よりも真剣に考えなければならないと私は思います。中国は広過ぎてゴミや環境の問題について、全体でとらえて説明することができませんので、一つの例を上げて中国の問題点をみてみたいと思います。

天津の話に入りますが、天津は北京にとっても近く、120kmほど離れていて、高速道路を使えば1時間の距離です。中国で4番目の都市です。これは天津市の概要ですが、面積は約1.2km、人口は1,000万人くらいです。中心市街区に住んでいる人は420万人くらいいます。また、中国の四つの直轄市の一つです。四つの直轄市とは上海、北京、天津、重慶です。

天津市は歴史も長く、運河の開通により唐の時代から既に形成されています。1404年頃でもう城が建てられていたところです。今は中国では上海に次いで二番目の通商都市で貿易の盛んなところ。天津のメインの産業としては自動車、日本のトヨタも進出しています。後は電子製品、例えば携帯電話で言えば中国の60%くらいは天津でつくられています。後は紡績や化学工業が色々あります。もう一つの特徴なんです、日本の企業が集まる場所です。トヨタを始めとして、大体日本から数百の会社が進出しています。殆ど日本のものが全部あります。今は日本人小学校も設置されています。こういう都市ですが、まず天津市の写真を用意しましたので、皆さんに見て頂きたいと思います。天津市の行政区は13市区と5郊外県になっています。ここで天津市街区の様子を見てみたいと思います。ここ数年変化が凄く激しくて、私は日本へ来て6年になりますが、最近のことがもう分からないくらい随分変化しております。このような都市でゴミというのものを、どうい風に処理しているかについて、まずご紹介させて頂きたいと思います。これは日本と少し違うのですが、中国の都市の生活ゴミ処理システムの概略図です。マンションに住んでいる人々は、ゴミは毎朝、自分の棟の前に置いたら、衛生管理者という人がいて、上から下まで集めて一つのゴミ小屋に入れます。こういう人の給料は入居者から徴収したり、後はビルの持ち主から徴収されております。ゴミ小屋からは、政府の機構になりますが、運搬されて生活ゴミ収集センターに送られます。この一部分を民間のリサイクル業者が収集してそれを売り利益を上げているという例もあります。ゴミ収集センターに集められたゴミは埋め



立て場や焼却工場に送られて処理しております。当然その一部が生産原料としてリサイクルされております。日本だったら大部分が焼却処理されますが、中国では80%位が埋め立てられております。ゴミ埋め立て場が天津市には七ヶ所あります。天津市の生活ゴミ発生量ですけれども、一日5500トン発生しております。そういう膨大なゴミを七ヶ所のところに埋め立てていますが、焼却装置が一ヶ所あります。焼却装置の処理能力ですが、毎日1200トンですので残りは殆どが埋め立て場に運ばれています。

もう一つ注意して頂きたいのですが、こういうゴミ処理の工場とか場所は、殆ど1996年から2000年の初めにかけて出来たものです。つまり最近始まったばかりなのです。それでは1996年以前は天津のゴミはどう処理していたかといいますと、全部棄てられており、その場所は221ヶ所にも及んでおりましたが、2003年6月までによりやく閉鎖されたということです。つまり環境とかゴミ処理は最近政府が本腰を入れて始まったばかりということなのです。

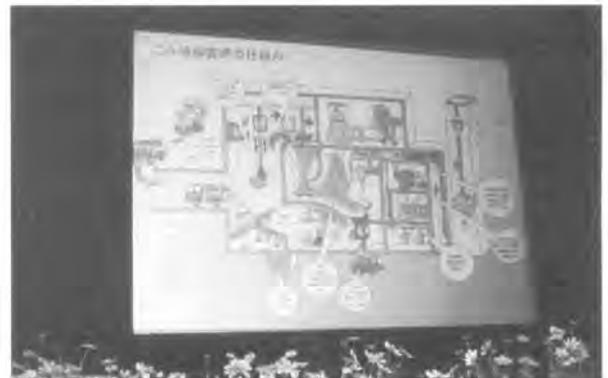
これはハルビンで撮った写真ですが、ハルビンではゴミが分類されております。ただ、分類の仕方が日本とはちがいますが、1. 有毒物質 2. リサイクル不可避 3. リサイクル可能となっております。これはハルビンでゴミを運搬するトラック、これはゴミ運搬用のリフトです。そしてこれは先ほど言いましたが民間ベースの、ゴミを収集してあとで売って利益を得る業者なのですが、こういう車を押し太鼓をたたきながら街を歩いて収集します。これはゴミの埋め立て場ですが、ゴミと土のサンドイッチの層をつくります。下に排

水管があります。雨が降って下に浸透していくと、ゴミの中にどんな有害物質が入っているかわからないので、排水管がないと地下水が汚れて、以前大問題になりました。

最近のゴミ処理場は全部排水管が設置されて、雨が浸透して汚れた雨水をまた収集して、特別な処理行ってから排水するようになっています。

これは天津市のゴミ埋め立て場の写真です。とても広く格好なゴミを処理できる場所です。土とゴミを複層にして土を入れてから、上に草を植え公園等にします。

天津市のゴミ焼却施設のシステムですが、車で運搬してきて焼却炉で燃やします。燃やした熱力は発電機を運転させています。燃やした残りの灰は先ほどの埋め立て場へ運ばれます。それとこの煙突なんです、特別な装置があつて綺麗なガスが排出されています。天津市のゴミ処理システムは札幌市のゴミ処理と比べて何処が違うかといいますと、これは札幌市のゴミ処理の流れですが、真ん中のところ、破碎工場、埋め立て場、リサイクル工場、焼却炉とかありますけれども、中国の方はこの部分が少し遅れています。つまり大型ゴミを破碎する工場とか、選別するリサイクルプラザとか、資源回収センターとか、こういうものがまだ不足しています。



最後にまとめてみますと、天津市では最近になってよりやく合理的、現代的なゴミ処理方法と処理装置ができたばかりであり、ゴミ処理にはまだ不完全なところが多いと考えております。

一つ目は焼却処理の割合が低い、二つ目はゴミ収集・処理の分類分別が徹底していない、三つ目はリサイクルは民間に頼って効率的な専用装置な



どは不完全である等々の問題です。

そういうことから、まだ日本のような先進国のゴミ処理の経験や技術支援、或いは成功した例、失敗した例などのアドバイスが色々必要になると思っております。

次に、中国の工業廃棄物はどう処理しているかと言いますと、最近では固体工業廃棄物を利用して建築材とか或いは道路用の素材に使われておりますが、以前はゴミ同様至る所に棄てられており、何十年も積み上げてきた廃棄物の山が時に公害を発生させるケースもありました。最近政府は本腰を入れて、色々金をかけて、それらの除去に乗り出しています。

次に汚水処理についてですけれども、汚水処理は天津市では1980年代から重視されてきました。全国で初めての汚水処理工場が天津市にあります。1984年からもう本格的に稼働を始めました。今はもう処理規模も拡大されております。それと同じ位の規模の工場が2002年頃から始業しました。これから2008年までに、まだ5ヶ所の汚水処理工場が計画されております。先進国と比べて天津市の汚水処理は遅れているとは言えないと私は思います。以上が天津市の環境問題に対する現状であります。天津市も中国の各都市と同じように、今は全世界の投資を受けております。

世界の国は投資をすると同時に中国の都市の環境についても注意、アドバイス或いは技術支援を積極的にしていかなければならない責任もあると思っております。以上で終わります。ありがとうございました。

**佐藤ガバナー 劉** 向東さん本当にありがとうございました。中国の現状、ゴミの処理、或いは汚水の処理、大体系状がわかったかなと思っております。

次にネパールのチンタ・マニ・ゴータムさんの方から、ネパールの環境問題、その背景及び保全ということで15分間講演をして頂きたいと思っております。

**チンタ・マニ・ゴータムさん** 私はネパールから

来たチンタ・マニ・ゴータムです。現在北海道大学に留学しています。私の専門はネパールの地理学と環境問題です。今日はネパールのカトマンズ盆地における環境問題について話をします。

ネパールは中国とインドの間に位置します。ネパールの首都はカトマンズです。ネパールを知らない人でもネパールにある二つ有名なところがありますが、これは大体知っていると思います。それはエベレストとお釈迦様が生まれたところのルンビニです。これからネパールを紹介したいと思います。

面積は大体15万km<sup>2</sup>、首都はカトマンズ、人口は2300万人、気候は熱帯から山岳まで。標高は海拔62mから8848mまで、それから政治組織は多党民主主義立憲君主制です。宗教が一番多いヒンズー教が81%、仏教11%、イスラム教4%などであり、公用語はネパール語と英語です。通過はネパールルピーで1ルピーは1.7円です。

これからネパールの地理状況について紹介します。高い順番にまずヒマラヤ地帯は高度3500m以上の地域で総面積の20%を占めますが、人は住んでいません。年間平均気温は5℃です。次に2500m～3500mの山地が総面積の17%を占め、人口は約8%、平均気温は15℃です。次の丘陵地帯、大体700m～2500mのところですが、面積は38%、ここに人が一番多く住んでおり44%を占めています。

カトマンズもこの地区にあります。平均気温は22℃です。次いで300m～700mのところをシワリクと呼んでいますが、面積は12%、人口は10%、平均気温は25℃です。また、高度300m以下をタライといっていますが、面積は13%で





すが人口は38%を占め、平均気温は32℃と高いです。

次にカトマンズ盆地の大気汚染について話をします。盆地全体の面積は351km<sup>2</sup>、人口は150万人、カトマンズは最も大きい街で標高は1300m、面積は51km<sup>2</sup>、人口は100万人です。主な産業は観光、手工芸と衣料品生産です。

次にカトマンズ盆地の位置について話します。四方が2000mより高い山の間にあります。カトマンズ市はネパールの一番大きな街です。また、カトマンズ盆地の中にはパタン、バクタプルという二つの大きな街があります。大気の測定はネパール政府がタメル、プタリサダク、トリブバン大学、パタン病院、バクタプルの5地点で行っています。この図はカトマンズ盆地の主要都市の各地区における空気中の微粒子（PM10）の量を示しています。これは2002年10月から2003年9月までのデータから作った図です。PM10というのは空気中の汚染物質の量を示す指標です。PM10の値が0-60の間は良好、60-120の間は普通、120-350の間は不健康、350-420の間はかなり不健康ということになります。トリブバン大学があるキリデブウルは普通です。

他の街の中心部では大気がかなり汚れて不健康です。7月から9月の間は全部のところでも普通です。それはネパールでは6月からモンスーンが始まります。モンスーンで沢山の雨が降るので7月から9月の間は普通です。このスライドはカトマンズの道路沿いの埃のサンプルに含まれた強磁性小球及び鉱物の微粒子電子顕微鏡写真です。こういった小さな粒子は車から出る排気ガスとともに出て、こういうものには重金属も含まれていることが既に発表されています。大きさが10ミクロンより小さくなると健康に非常に悪いようです。

このスライドでは大気汚染の原因について話をします。1. 自動車の排気ガス 2. レンガ工場・砕石工場の粉塵 3. 家庭のゴミと薪から出る煙 4. 工場から出る煙 5. 整備されていない道路等です。そこで私見を述べますと6. 工場から排出される煙を規制し、正常な運転と点検が不可欠である。7. 人々が大気汚染やゴミ問題を

意識して、そのような生活習慣を変化させることが重要である。1. ディーゼル車や古い車を規制し、電気自動車の使用を促進する。2. レンガ工場を閉鎖し、盆地の外へ移転する。3. 盆地内の道路状況を改善するといったことが必要と思います。状況を改善するには次のことを考えたり改善することが大事だと思います。4. 政府の産業政策。5. 経営者による経営方針。6. 産業・交通機関の経営者。7. コスト。この他に劣悪な経済状況にネパールはありますから、先進諸国からの援助も是非必要だと思います。日本政府の援助はこれまでに主に道路建設や学校教育に使われてきました。

今年1年間に10億円の援助がされました。カトマンズのような街では問題は沢山ありますが、ネパールでは見所は沢山あります。そして人々の心は温かいです。ですから、どうぞネパールへ一度来てみて下さい。面白いことが沢山あると思います。以上です。

**佐藤ガバナー** チンタ・マニ・ゴータムさん本当にありがとうございました。工場の排煙凄かったですね。彼はネパール政府の国費でここへ勉強にきておりますから、卒業して是非ですね、このカトマンズへ帰って、公害の問題に取り組んで頂きたいと思います。

それでは最後にタイのジラサック・ギムファンさんに養殖漁業産地における環境問題についてお願いしたいと思います。

**ジラサック・ギムファンさん** ジラサックと申します。タイから参りました。今回のお話は田畑での養殖漁業産地における環境問題と社会問題について紹介致します。

まず、タイ王国は何処にあるかと言いますと、東南アジアにあります。日本から飛行機で約6時間かかります。首都は皆様ご存じの通りバンコックで、先週APECの会議が行われたところです。

タイの輸出は昔から農産物を主としていましたが、現在はパソコンとか車とかの工業産物や冷凍えび等をメインとしています。冷凍えびは最近日

本から結構注文とかありまして。今回のお話はえびの話で、タイと言うところは有名なトムヤンクンという激辛スープはやっぱりえびを使っているんですね。東南アジア地域で、タイは漁獲生産で重要な役割を担っており、年率でも増加しております。しかし、無分別で不適切な海洋漁業のやり方は、漁業資源の枯渇と生産量の減少を引き起こしています。現在海洋漁業の漁獲量の40%は稚魚で占められていると推定されています。

えびの養殖は、漁獲量の生産性を向上させており、タイ経済にとって必要不可欠であります。タイで最初のえび養殖は偶然の出来事でした。マングローブを伐採して作った水田にえびの子供が入ってきて、そこでえびが成長したところから、水田がえびの養殖に利用出来ることが分かりました。1980年代から1990年にかけて膨大なえび



の養殖池が現れました。化学薬品を投与して、狭い池で大量のえびを養殖するため、2～3年でマングローブを始めとする植物が死滅する。周辺の水田や畑にも塩水が浸透するため塩害がおよぶ、水が栄養素を失うために養殖池は移転し、後には広大な枯れた土地と池が放置されるという事態になりました。えびの高値の影響で、えびの養殖場の淡水域への拡大がなされましたが、環境の点で問題となり、1998年以降えびの淡水域での養殖は禁止されています。白えびの養殖は通常より高濃度の塩水を必要とするため、海洋環境に与える影響が懸念されました。

2001年になって、内陸部でのブラックタイガーえびの養殖解禁が提案されましたが、塩害による土壌・水質汚染に反対する稲作農民や研究者・市民組織などの批判によって、政府は科学技術環

境省の環境保全委員会による調査結果待ちの状態になりました。

ここで田畑でのえび養殖事業産地における問題を話します。環境問題の場合は塩害による土壌・水質汚染排水の管理不良と土地利用者の管理問題があります。その後環境汚染に対する社会問題が発生します。塩害による土壌・水質汚染が原因で、えび養殖業者と稲作地帯の人達との口論・暴力問題へと発展し社会問題となりました。農村の人々の生活や人間関係が悪化しました。そういうことで、えび産業は必要と思っておりますが、管理の問題とか人の協力の問題があります。排水管理を厳重に義務づけければ問題ないという業者・政治家の声も多かったのですが、「海水を運んで行く内陸部でのえびの養殖には賛成できない」という反対意見もマスコミに大きく取り上げられ、環境保全委員会は2001年10月9日に内陸部でのえび養殖を引き続き禁止することを決定しました。

まとめとして、えび産業はタイにとって主要貿易品ですが、大量のえびの養殖場の淡水域への拡大が問題となっていることから、内陸水田地帯におけるえび養殖再開許可には次の条件が必要になると思います。1. 塩害による土壌と水質汚染問題の解決が先に必要。2. 社会・農村の皆さんの協力が必要。3. 厳しい管理システムが必要。4. 政府の規制が必要。5. 代替漁業が必要と思います。以上で発表を終わります。

**佐藤ガバナー** ジラサックさんありがとうございます。私の方からいちいちコメントするのは差し控えますけれども、このご三人の方は、それぞれの政府から奨学金を貰って、今北海道大学で勉強しております。素晴らしい国の代表として日本に来ておりますので、皆さんもう一度温かい拍手で終わらせて頂きたいと思います。(拍手)ありがとうございます。

これから晚餐会に入りますので、時間が余りありませんが、会場設営をこのままにして座って頂いて、これからチャック伊藤さんのご紹介をさせていただきます。

チャックさんはオレゴン州厚生局、連邦政府局

に33年間勤めまして、2003年6月1日に退職をされました。ロータリー歴は、1987年6月1日にセーラム・キャピタル・サンライズロータリークラブに人会され、1997年～98年クラブ会長等々を歴任され、現在はサザンリジオンのアシスタントガバナーとして活躍されている訳でございます。それじゃチャックさんよろしくお願ひ致します。

## 第5100地区青少年交換日本担当報告

チャック・伊藤さん 皆さんこんにちは。今紹介のありました第5100地区青少年交換日本担当委員長、また、アシスタントガバナーの伊藤でございます。どうぞよろしくお願ひします。実は私、昨日家内と来日致しまして、まだ少し時間差というか、アメリカの時間のような頭の機能でございますけれども、もう諸先輩方にはあと15分でございますので、どうぞ頑張って、私も一生懸命話をさせて頂きます。本当に今回はこのように素晴らしい地区大会に参加させて頂き、また、私のような若輩がこのような場所でお話をするということに、少し恐縮をしておりますが、実は今回第5100地区ガバナーのエロン・B・クーバー、それと青少年交換委員長ジェフ・ヤネルからのメッセージを持ってきましたので、それを読ませて頂きたいと思ひます。また、翻訳に関しましては、この来日する飛行機の中で、妻が目をこすりながら機中でやってくれましたので、その翻訳を朗読させて頂きたいと思ひます。



最初は第5100地区のガバナー、エロン・B・クーバーからのメッセージでございます。最初は英語で申し上げます。

(英文省略)

親愛なる佐藤ガバナー、オレゴン州及び南西ワシントン州からなる国際ロータリー第5100地区より北海道第2510地区の皆様にご挨拶をさせて頂きます。両地区の関係は長年理解し合い、より良いものに築き上げるために努力して参りました。これからもより一層密接な関係に築き上げたいと希望します。



今回当地区交換委員会の日本担当委員長伊藤克己にこのメッセージを委託し、第2510地区のロータリアン及び市民の皆様とのより深い両地区の絆を作っていくことを強く希望します。聞きますれば過去10数年に亘り、地区との交換事業が遂行され、多くの若者を地区から受けまた派遣致しました。今後とも青少年交換事業が発展することを切に希望致します。伊藤克己が、最近私のアシスタントガバナーの一人として奉仕することに同意し、青少年交換の任務とともに非常に頑張っております。彼のような、また、佐藤ガバナーのような方々を通して、両地区のより密接な関係を作り上げていくものと確信致します。

最後に青少年交換委員長の野澤幸平氏及び交換委員会の皆様に心からのメッセージを送ります。当地区においても我々の将来のロータリー企画の中で、青少年交換が非常に重要な役割を果たし、将来の世界平和と相互理解に寄与することを確信致します。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ロータリーの精神とともに 2003-2004年度第5100地区ガバナー エロン・B・クーパー  
ということでございます。(拍手)

では次に青少年交換委員長のジェフ・ヤネルからメッセージを託されてきましたので、これも同じように紹介させていただきます。

(英文省略)

親愛なる野澤委員長殿、オレゴン第5100地区青少年交換委員会の伊藤克己を貴地区大会に参加させて頂き、また、お話する機会を与えられたことを感謝します。

彼は貴地区の皆様と、ロータリー交換事業の素晴らしさを皆様と率直に話す機会を非常に楽しみにしています。当地区は第2510地区との伝統のある素晴らしい青少年交換プログラムを継続していくことを希望しております。当地区の交換計画は計画内容をより良くご理解頂くために、参加クラブ用の2003~2004年度のマニュアルをお渡ししますので、ご参照頂ければ幸いです。当地区のプログラムは完全ではありません。よって、より良いアドバイスを、また、改善策をご指摘頂

ければ非常に嬉しく思います。

最後にあたり、今年度で開催される大阪でのロータリー国際大会と青少年交換委員会会議で、当地区の伊藤克己を代表で、皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。

ロータリーの精神とともに第5100地区青少年交換委員長 ジェフ・ヤネル  
ということでございます。(拍手)

第5100地区の青少年交換、私も実は36年前に若い身を貨物船の中に立たせまして、アメリカに留学を希望し、オレゴン州セーラム市にあるミシシッピーの西側で一番古いウィリアム・クラークというところでございますけど、1969年に卒業して、そのあとオレゴン州の厚生地区の方で今まで奉仕させて頂きました。今年6月で退職し、またロータリーとして奉仕もさせて頂いております。青少年交換につきましては、私は日本担当の委員長として1995年から8年間携わっております。また、この次にアシスタントガバナーという任務も任命されまして、青少年交換同様、素直に一生懸命やっていきたいと思っております。

第5100地区青少年交換委員会の構想をチョットご説明させて頂きますけれども、発足は1975年ですから大体28年間青少年交換を継続しております。今私が、話しましたように地区委員は8年、その中でアウトバーンポーター、これは派遣学生担当委員長を過去4年間携わり、今年の7月でそれを完了させて頂きました。2003-2004年度の交換派遣学生の内容は次の通りでございます。アウトバーンでは47名、インバーンでは51名、23カ国の世界の国々と交換をしております。その内容を見ますと、南アメリカが16名、メキシコ、グアテマラ、アルゼンチン、エクアドル、チリ、ペルー、ブラジル、それからヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、南アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ドイツ、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、それからアジアの方は14名、日本5名、台湾3名、フィリピン3名、タイ2名、インド1名、こういった状態でございます。

委員会の構成におきましては18名で構成しております。国の担当委員長、長期が13名、短期が1名、それからその他の委員長としましてアウトバードコーディネーター、インバードコーディネーターがございます。その他に会計係、財政係、それからレイクサイト、学校関係、それから交通運搬係、特に東オレゴンと西オレゴンは8時間位、車でかかりますので、なかなか運搬の方も大変でございます。特別なイベントコーディネーターもおります。

諮問委員会の中にはガバナーとガバナー・エレクトは完全に入っております、特にガバナー・エレクトは指名された当時から、その交換委員会の行事を全部、交換委員会と一緒に出席して、勉強するという仕組みになっております。

特徴としましては、委員長は交換委員会の総まとめの役と言うことで、その他に必要な経費、財政、経営権、また、独立の旅行、この最終の決定権も委員長がもっております。それからアウトバード、インバードのイベント及びオリエンテーションへの出席、欠席の決定権、これは最終的に委員長がもっております。ただ、特徴としましては、担当委員、例えば私の場合は日本ですが、アウトバード、インバードの学生のそういったイベントとかあらゆることにかままして、最終的な決定権は国の担当委員長が持っているということでございます。海外青少年パートとの交渉及び交通、例えば書類交換等も国の担当委員長が役割として、責任を持ってやっている次第でございます。担当学生の指導育成、これはアウトバード、インバード、リバウンド、そういうものを含めまして担当委員の役割が非常に重視されている訳でございます。

特にまた必要なことは、地区の青少年交換委員会の非常に重要な役割としまして、担当クラブの指導、訓練及び問題解決というようなものは非常に重要視されている訳でございます。ということは、この青少年交換委員会は当地区の場合には71クラブございまして、大体毎年40～45クラブがこの青少年交換に参加している訳でございませぬ。ですから財政的にも地区の方からは青少年交

換に対しましては一銭も出ていません。ということは青少年交換が全部独自で、例えば現在14万5千ドルという基準がございますけれども、その中味としましてはインバードの指名料、これは790ドル、アウトバードの選択した場合の指名料1290ドル、その他に保険235ドル、こういうものを数字で書きますと、大体14万5千ドルというような数字が出てくる訳でございます。

当地区の71クラブで4200名ロータリアンがいますけれども、各ロータリアンは1ドルずつ奨学金として青少年交換の方に貢献している状態でございます。特に長期と短期と役割としましては、オリエンテーション、インバードの場合には長澤里美さん、これは長澤昇司さんのお嬢様でございませぬけれども、私のホームグラウンドのセーラム・キャピタル・サンライズでチーフでおります。インバードは8月15日～17日までオリエンテーションがあり、その後ホストクラブカウンセラーとのオリエンテーションがございまして、そのあとホストペアレンツのオリエンテーションがございませぬ。その他に第二のオリエンテーションと致しまして、といいますのは一番最初に外国の学生が来られた時に、英語の実力がやはり他の国に比べますと、例えばヨーロッパの学生はもう5カ国語も6カ国語も殆ど話しますので、英語に対してのそう言った違和感はないのですが、特に日本人の学生さんの場合には、英語の実力化ということが、やはり4ヶ月、5ヶ月経ちませぬとなかなかうまくならないのが実情でありますので、そのために第二回の中央オレゴン旅行というものを9月19日から21日までやりました。オプションとしまして、11月6日～10日まで、これはディズニランドでまたこういう計画を持っております。その他にインバードのイベントと致しまして12月6日～7日までクリスマスパーティ、そのあと2004年1月10日から、うちの地区の各クラブからの派遣学生の募集及び選考をしております。今の予定から言いますと、今回も大体48名から50名の学生が当地区から指名されるのではないかと思いますけれども、そのアウトバードの学生が大体1月10日、これはカントリーフェ



アと言いまして、あらゆる23カ国から来ているインバードの学生、また、そう言った外国へ行ったリバウンドの学生、全部集めまして、皆さん長期、短期一緒に、父兄も含めまして、そう言った国のおもむき、内容、長所短所、そう言ったものを全部見て貰いまして、あくまでも学生の利益のために、学生の興味を持って、学生が目的感を持つように、オリエンテーションをしている現状でございます。

また、特に南アメリカの場合は、例えばブラジルだとか、それからニュージーランド、オーストラリア、南アメリカ、こういうところはやはり入国の学校の関係上、インバードで来られますのは大体1月になりますので、こういう学生のために、今8名予定しておりますけれども、来年1月24日～25日、またオリエンテーションがございます。その時も8月と同じ様に、第一日目はオリエンテーション、二日目がホスト・ペアレントのオリエンテーション、それからクラブ・カウンセラーのオリエンテーションということがございます。

また、来年の2月5日～8日まで、これは東オレゴン・ディスカバリー旅行ということがございますけれども、これはインバードの学生とアウトバードの学生をより良く意見を交わさせ、その国に対する常識というよりか内容をしっかりと把握させて、特に学生のために、学生があくまでも国の希望国を決め、交換委員会はそれに従って出来るように持っていくという仕方しております。これは非常に、そのために学生はその国に行きたい場合、どうして行きたいのか、目的はどのようなのか、ただ行けと言う訳ではなくて、自分が行ったらどのような貢献ができるのか、また、特に日本の場合には、私は非常に厳しい選択をしております。ですから、日本に来られた、例えば第5100地区のアウトバードの学生さんには、日本に行って経験をして、アメリカへ帰って、その後の学校の状態、それから卒業、それから将来のことなども、私が全部チェックをしまして、目的感を持って指導していつているような関係でございます。

ただ、この壇上で、一応私今回、短期で少し第5100地区との問題感もありまして、ホストクラブの上磯ロータリークラブの方にはご迷惑をかけたのではないかと思います、非常に5100地区の責任者として申し訳なく思い、こういった経験をよく反省をし、これからもより良い短期、また、長期の交換留学を続けたいと、かように思っております。

先ほども述べましたが、特にアウトバードのオリエンテーションとしまして、今現在各クラブで候補者を募集し、また、選択をしておりますけれども、これが終わった時点におきまして、候補者のオリエンテーション、これは2004年1月10日～11日まで行う予定です。また、他に短期もオリエンテーションをしております。

特徴としましては、特に地区委員会とクラブの運営が独立化しているということでございます。実際の運営はクラブが実行し、候補者選択、受入学生引き受け、交換事業日、希望受入学生選択等を地区の指導のもとにやっているというのが現状でございます。

地区委員会としましては、これは一応アドバイス、運営費調達、インバードのクラブ振り分け、アウトバード、インバードのオリエンテーション及び地区行事等を国々との関係を強化させるような状態でやっている訳でございます。

まだ、一応お話ししたいことはあるんですけども、多分15分の持ち時間が無くなったと思いますので、この辺で終わらせて頂きたいと思っておりますけれども、最後に当たりまして、皆様、第2510地区のロータリアンの方々、この青少年交換は非常に素晴らしい事業でございます。お金もそんなに掛かることはないと思います。特にうちの地区の場合は大体1人当たり3000ドルから3500ドル、インバード、アウトバードを入れましてそれ位の予算でやっている状態です。

やっぱり相互理解また国際協力、それから親善大使、こういった素晴らしい若者達の新世代におかれまして、青少年交換を愛し、また情熱を持って、より良い第2510地区との関係と、また深い絆を作っていきたいと非常に希望しております。

簡単でありますが私のご挨拶にさせていただきます。今回は本当にありがとうございました。

**佐藤ガバナー** チャックさん本当にありがとうございました。これをおもちまして記念フォーラムは終わらせて頂く訳でありますけれども、本当に12時から6時半まで長時間に亘ってご協力頂きましてありがとうございました。本当にこれからゆっくりお酒を飲んで頂いて、リラックスをされて、明日の大会に臨んで頂きたい、そういう風に思っております。

これをおもちまして記念フォーラムを終わらせて頂きます。ご協力本当にありがとうございました。

**木村地区代表幹事** 以上をおもちまして地区大会第一日目のプログラムを全て終了させて頂きました。本当にありがとうございました。それではガバナー、点鐘をお願いします。(点鐘)(拍手)  
ここで諸事お知らせする前に、一言私からお知らせ申し上げます。地区大会の信任状がまだ出ていないクラブがございます。5クラブございますけれども、もしお忘れになったクラブがございましたら、入口の受付のところに信任状をご提出頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

それでは諸事お知らせをSAAの酒井 宏の方から申し上げます。

**酒井SAA** 諸事お知らせを千歳ロータリークラブ酒井から申し上げます。ご案内でございますが、18時30分より千歳全日空ホテルにおいてRI会長代理川尻様ご夫妻の歓迎晩餐会を開催致します。会場につきましては、この会場1階を出まして、北側へ100mほど行きますとございますので、どうぞ足下にお気を付けてお集まり頂きたいと思っております。

それと勝手ではございますが、今日お渡し申し上げましたネームプレートにつきましては、明日も使わせて頂きます。晩餐会では当然お付け頂いて、お無くしにならないようご協力のほどお願い致します。

蛇足でございますが、この会場変則になってございまして、3階にも出入口がございますが、全日空ホテルへ行きますのは1階へ下りて頂いて、北側に向かう方がよろしゅうございますので、どうぞ皆様お気を付けて、お誘い合わせの上お越し頂くようお願い致します。大変ありがとうございました。失礼致します。





## R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

### ガバナー挨拶



#### ガバナー

#### 佐藤 秀雄

皆さんお晩でございます。11時から始まりました会長・幹事会、それから13時からの本会議も終了しました。実に6時間30分という長丁場でございます。60代、70代になりますと大分堪えるわけでございまして、これに耐えてお付き合いをいただきました。本当に心から感謝を申し上げる次第でございます。

本日はR I 会長代理の川尻様ご夫妻をお招きしており、かつ地区内外からのご来賓も多数いらっしゃっております。本当にありがとうございます。このひと時をゆっくりとロータリーのこと、あるいは地区大会のこと、あるいは本日行われた記念フォーラムのことなど、いろいろなことをお話していただきたいと思っております。

残念なことに、記念フォーラムでは、せっかくタイ、中国、ネパールの学生さん達が来ていらっしゃるのですが、会場からご意見を求めたかったのですが、少し会長・幹事会が遅れたために、時間が非常に切迫いたしまして、十分なことはできませ

んでしたが、この飲むほうはですね、十分に準備をしてあるようでございますので、お酒の好きな方、久保田もでございますから、今日は存分に飲んでいただきたいと思っております。

簡単でございますけれどもご挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございます。

## RI 会長代理挨拶



### RI 会長代理

#### 川尻政輝

皆さんこんばんは。ご紹介をいただきました、第2750地区の東京世田谷ロータリークラブの川尻政輝と申します。

生まれは、東京ではありません。私は北海道と対照的な鹿児島で高等学校を卒業して大学を東京にしたら仲々田舎に帰れない問題があって、東京で居座ってしまいました。いわゆる出稼ぎ人種です。

先程の市長さんの話にありますように、皆さん方の第2510地区は、非常に日本において歴史のある地区でございます。私は家内とRI会長代理として指名された時に、その役は重すぎるということでお断りしたわけですが、今、日本のロータリーがどういう状態にあるかを、北海道のロータリアンに話してほしいということで、強く要請されましたので、その責任は果たせられないかもしれませんが、私が日頃からこの地区で敬愛しております先輩方が多くいらっしゃるし、そして私の友人も多くおりますので、この方たちに会うことを楽しみにRI会長代理をお引き受けしてまいりました。精一杯頑張っていきますので、皆さんのご支援をお願いいたします。

この地区で、このように皆さんとお会いできる、これは、私の人生の宝として、また皆さんと日本のロータリーの発展に微力ながらも努めていきたいと新しく決意をしているところでございます。こういう名誉ある地区のRI会長代理のうえに、本日は佐藤ガバナーを中心として皆さんに、このような歓迎晩餐会を開催していただきまして、私と家内は大変光栄に思っております。心から感謝申し上げます。

ロータリーは、新しい出会いが大事だと言われております。私も皆さんとこの第2510地区の地区大会での出会いと、また新しい友達との出会い、そして友情を深めながら、ロータリーのすばらしい理念と、100年経たんとしているこの我々のロータリーの世界的な実績を、若い人たちに語り継いでいきたいと考えております。どうかこの機会に新しい出会いと皆さんのロータリーに対する一層の深い理解をお願い申し上げます。私のお礼の挨拶にさせていただきたいと思っております。本日はありがとうございました。

## ご来賓祝辞



千歳市長

山口 幸太郎

皆様お晩でございます。ご紹介いただきました地元市長の山口でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。今日、明日の2日間に亘りまして、国際ロータリー第2510地区の地区大会が、このように盛大に開催されたことをまずお祝い申し上げたいと思います。また、この大会に1,800人もの会員の方々が一同に会された大きな大会と伺っておりまして、このような大きな大会を千歳で開催していただきましたことを、地元の市長として大変うれしき限りであります。心から御礼を申し上げるとともに感謝を申し上げたいと思います。

私は、只今市長という立場でこの場に立っておりますが、私自身も市長に就任いたします直前まで19年間に亘ってロータリーにお世話になりました。そういう意味からいたしますと、今回の大会は本当に私自身も感慨ひとしおのものもありますし、今回初めて私どもの千歳のクラブから佐藤秀雄ガバナーが誕生し、また地区大会も初めて開催され、大変うれしく思っているところでございます。どうぞこの大会が2日間に亘りまして終始ご盛会でありますように、心からお祈りを申し上げます。

言うまでもなく、皆様方におかれましては、各地でロータリークラブを通じて地域の発展のためにご尽力をいただいているところでありますが、特に国際的な組織でもありますことから、国際的な事業もやっておられ、大変敬意を表しているところでございます。身近な話でありますけれども地元の方々からお聞きいたしておりますが、今回、第2510地区の事業としてスリランカに中古自転車を贈るという事業を手懸けられたというふうに聞いております。72クラブの方々の総意で1,000台の自転車を集められたと聞いておりまして、10月8日にその第一陣として180台の自転車と32台のオルガンが贈られたというふうに承知をいたしております。大変国際的な貢献をされておりますことに本当に敬意を表しているところでございます。どうぞこれからもそれぞれの地域におきまして、ロータリアンの精神に基づいて、活発な活動を続けられまして地域発展のためにご尽力をいただきますよう、心からお願いを申し上げます。

本大会が盛會に終わりますことを、また最後になりまして恐縮でございますが、今夕べ、川尻R1会長代理をお迎えしての歓迎の晩餐会であります。大変和やかに交流の輪が広がりますよう、心からお祝いを申し上げるところでございます。

合わせまして、短時間ではありますが、この機会にどうぞ千歳市をご見聞、ご散策をいただければ大変光栄でございます。一言申し上げてご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。



## 元R I 理事挨拶



元R I 理事  
伊藤 義 郎

今日ここで第2510地区の地区大会が始まりまして、ガバナーにとっては最大の行事が始まったところではありますが、R I 会長代理として川尻政輝パスト・ガバナーが奥様ともどもにご出席しておられますが、今夕のこの歓迎晩餐会に私も参加することができました。また、山口市長さんも只今ご挨拶がございましたようにご列席いただきましたので、この川尻会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会も相当盛り上がったというふうに感じております。

R I 会長代理という大役でございますが、ただいまご挨拶ございましたが、第2510地区我が地区のロータリーの輪を一層広げようというような話がございました。せっかくの歓迎晩餐会ですので、ひとつ和やかにロータリーの親睦を合わせて明日はいよいよ本番と思っておりますが、第2510地区今年度の地区大会が成功で執行いたしますように皆様方のこの大会にかけられた情熱が発揮されると思っております。第2510地区の皆さんとともに意義ある地区大会でありますように祈念いたします。

最後に川尻R I 会長代理ご夫妻には心から御礼申し上げます、歓迎のご挨拶といたします。どうもありがとうございました。

## 乾 杯



パスト・ガバナー  
大橋 康 次

只今ご紹介いただきました札幌東ロータリークラブ所属の大橋でございます。本日の予定では乾杯の音頭は元R I 理事の札幌南ロータリークラブの竹山さんがされるはずだったのですが、福島のほうにR I 会長代理として行くので、急遽私に乾杯の音頭をやれということになりました。年だけはとっておりまして、喋ることをできるだけ控えておりますが、今日はやむなく出たわけでございます。

川尻さんは鹿児島出身ということで西郷隆盛の敬天愛人集がございまして、実は私の実家に敬天愛人の額がございまして、中学、高校、大学に通っている間によく見ておりまして、頭から離れなかったことがございました。今日は朝から一日いっぱいということで、少し疲れたような気がしますが、振り返って見ますと、1,800人もの会員が集い大盛会のうちに開会できたことは、地区としてガバナーはじめ皆様方のご努力に感謝を申し上げますとともに、お祝い申し上げる次第です。

川尻先生をお迎えしてこの歓迎晩餐会を始めるにあたり、乾杯をいたしたいと存じますのでご唱和をお願いいたします。

## RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 アトラクション



### The North Quartet

(ザ・ノース・クアルテット)

クラリネット四重奏の調べ

〜〜 出 演 者 〜

Artists

渡部大三郎

(札幌クラリネット奏者、北海道教育大学及び大谷短期大学講師)

富岡 雅美

(元札幌ヴァイオリン奏者、北海道教育大学講師)

ヒュー・ラクリン

(元米国シラキユース響及び札幌首席ヴィオラ奏者)

土田 英順

(元日本フィルハーモニー及び札幌首席チェロ奏者)



〜〜 プログラム 〜

Program

クルーセル：クラリネット四重奏曲

B.H.Crusell: Quartet for Clarinet and Strings in E-flat major  
Op.2-1

レハール：メリーウィドー・ワルツ

F.Lehar: Marry widow waltz

ガーシュイン：サマータイム

G.Gershwin: Summertime

## 閉会の言葉



大会実行委員長  
浅利 作 造

皆様、あっという間の2時間でございました。名残惜しいような気もいたします。

本当に手と手つないで気持ちをつないでの時間でございます。明日もございますので、今日のいろいろな会合の余力を残して、また明日お出ましを願いたいと存じます。

この2日間が大変有意義でそして楽しい1日、2日であることを祈念いたしまして閉会の言葉といたします。本当にありがとうございました。





# 大会第2日目

## 本会議（2日目）

### 開会の言葉



大会実行委員長

浅利 作 造

皆様おはようございます。

何かとお忙しいところ沢山のロータリアンの皆様のご出席を頂き大変ありがとうございます。

本日はRI会長代理でございます川尻正輝様ご夫妻をはじめパストガバナーの皆さん、そしてまたご来賓として千歳市長でございます山口幸太郎様はじめ皆様方のご臨席をいただき大変ありがとうございます。

また、8グループ、12グループでは台風または地震で何かと差障りがあるところ、ご出席をいただきありがたく感謝申し上げる次第です。

本日は実りある会合でありますことを心より祈念をいたしまして楽しい一日を過ごしたいと思えます。宜しくお願い致します。本日はありがとうございます。



今こそ地球のために



## 歓迎の言葉



千歳ロータリークラブ会長  
(ホストクラブ)  
佐々木 昭

皆さんおはようございます。

10月も半ばを過ぎて遠く樽前・恵庭の頂に白いものが見えるこの季節に北海道の玄関千歳空港、神秘的湖支笏湖を擁するこの千歳によろこお越し下さいました。

本日の会場となりますこの千歳市民文化センター並びに千歳全日空ホテルが建つこの一帯を以前から私達は「希望が丘」と呼んでいました。

まさに国際ロータリー第2510地区、2003-2004年度地区大会にふさわしいこの希望が丘で地元千歳市長山口幸太郎様ならびにR1会長代理川尻正輝様をはじめとする第2510地区ロータリアン1836名の皆様を歓迎できる光栄にホストクラブを代表いたしましてひと言ご挨拶申し上げます。

私どものクラブは創立35周年にして初めて佐藤秀雄ガバナーを輩出するという事になった訳でございますが、本日の地区大会にあたり浅利作造実行委員長、佐々木金治郎幹事さらには第7グループとりわけ千歳セントラルロータリークラブの大野 馮会長さんをはじめとする会員皆さんの

お力添えにより文字どおり二人三脚でローカルの良さを充分発揮させていただき、やっこの日を迎えることができました。

しかしながら、この千歳では如何ともし難い駐車場・懇親会場等々大変ご不便をお掛けしておりますけれども、ロータリーの友情に免じてご理解ご寛容を賜りたく存じる次第であります。

私達はR1会長ジョナサンB. マジニアベさんのいう「手を貸そう」のテーマのとおり、本日の大会がローカル都市千歳でも十分できるのだという地区大会にいたしたいとの願いで取り組んでまいりました。

一昨日のゴルフ大会、昨日の会長・幹事会そして本日の第2日目の本会議と進んでまいりましたが、これが千歳方式となるものに繋がるとしたら何にも優る収穫と考えているところであります。

経済事情が非常に混沌として国政選挙も近づいているこのような時期に皆様方の今後益々のご隆盛とご健勝をご祈念申し上げ、簡単措辞でありますけれどもご挨拶とさせていただきます。本日のご出席誠にありがとうございます。

## 歓迎の言葉



千歳セントラルロータリークラブ会長  
(ホストクラブ)

大 野 馮

国際ロータリー第2510地区地区大会が千歳市で開催されるにあたり、RI会長代理川尻政輝様ご夫妻をはじめとする、地区内外より多数のロータリアンとその家族の方々の参加をいただきありがとうございます。千歳ロータリークラブと我が千歳セントラルロータリークラブとが、国際ロータリーのテーマでもあります『手を貸そう』のもと、まさに一致団結し開催できますことを心よりお礼申し上げ、一言歓迎の挨拶を申し上げます。

私共のクラブは、千歳ロータリークラブを親クラブとして、創立以来13年目を迎えます。千歳市内の2つのクラブは共に手を取り合いながら地域のために発展、活躍してまいりました。昨今のロータリーを取り巻く環境の厳しさを受け、会員減少気味ではありますが、2つのクラブの会員一人一人が誠心誠意、準備を進めて参りました。何かと不行き届きの点がありました節は、何卒ご理

解とご寛容を賜りますようお願い申し上げます。

本日の大会がご参加された皆様のご協力のもと、実り多き大会となりますよう心より願ひまして、又、皆様のご健勝を祈念いたしまして歓迎の言葉とさせていただきます。

## ガバナー挨拶並びにR I 会長代理ご夫妻とご来賓の紹介



ガバナー  
佐藤 秀雄

皆さんおはようございます。ようこそ千歳においで下さいました。

本日はR I 会長代理川尻正輝ご夫妻をお迎え致しまして、この千歳で開催できることは私の至上の喜びであります。

並びに地区内外のロータリアン、そして地元市長をお迎え致しましてこの大会が盛大に開催されますことは大変嬉しい限りであります。

本日の大会は非常に日程がびっしり入っておりますので、時間的な制約の中で開催いたすことにしておりますので、なるべく挨拶も簡単にということでございまして、私の挨拶の時間もこれ位でありますからお許しいただきたいと思っております。

さっそくご来賓のご紹介を申し上げたいと思っております。

- ・第2750地区パスト・ガバナー、R I 会長代理川尻正輝様並びに令夫人綾子様
- ・千歳市長 山口幸太郎様
- ・地区外ロータリアン
- 第2500地区ガバナー 豊島弘通様、令夫人美智子様
- 第2620地区ガバナー 佐藤進様の令夫人菊香

様並びに令息滋様

第2500地区パスト・ガバナー 道下俊一様  
遠くオレゴン州第5100地区アシスタント・ガバナー伊藤克己様、令夫人泰子様

・地区内ロータリアン

第2510地区大橋康次パスト・ガバナー

富原 薫パスト・ガバナー

石垣博美パスト・ガバナー

伊藤長英パスト・ガバナー

令夫人祐紀子様

森本正夫パスト・ガバナー

遠藤正之パスト・ガバナー

令夫人友美恵様

岩城秀晴パスト・ガバナー

令夫人節子様

小林 博直前ガバナー

遠藤秀雄ガバナー・エレクト

令夫人征子様

家内の佐藤宏子でございます。

これをおもちましてご紹介を終わらせていただきます。

## ご来賓祝辞



北海道知事

高橋 はるみ

国際ロータリー第2510地区大会が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

皆様が日頃から、様々な奉仕活動を展開され、地域社会の発展と福祉の向上に努められていることに対し、心より敬意を表します。

皆様が取り組んでおられる奉仕活動は、地域の「人づくり」、「地域づくり」にたいへん大きな意義があるものと思っております。

希望に満ちた「新生北海道」を築いていくため、これからも行政のよきパートナーとして、皆様にはより一層のご尽力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりますが、国際ロータリー第2510地区の今後ますますのご発展と、関係者の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

北海道  
試される大地

## ご来賓祝辞



千歳市長

山口 幸太郎

本日ここに第2510地区の地区大会がこのように盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

本大会全道から1800名に及ぶ会員の方々のご参加を得、なおかつ地区外からも遠路わざわざガバナーご夫妻はじめ多くの方々にご参列いただき花を添えていただいておりますことに地元市長としてもこんなに嬉しいことはなく心から御礼申し上げますとともに、9万市民を代表しましてご歓迎申し上げたいと思います。

また、皆様にはそれぞれの地域におきましてロータリアンとして自らの職業活動を基本としながらも地域に根ざした社会奉仕活動を本当に積極的に取り組んでおられまして、地域の発展のため地域の人づくりのためにご尽力をいただいておりますことに心からの敬意を表したいと思います。

また、このロータリーは国際的な組織でありま

して国際貢献事業も盛んに取り組んでおられ本年度におかれては第2510地区の事業としてスリランカに中古自転車を送る事業を手がけられましてすでに第一陣が発売されたと同っており大変ご同慶のいたりでありますし、まさしくRI会長でありますジョナサン氏が提唱いたします「手を貸そう」というその主旨にそった活動と認識を致しておるところでございます。

本大会は千歳から初めてガバナーとして誕生いたしました佐藤ガバナーの基に千歳ロータリークラブと千歳セントラルの共同によりましてご準備されこのように盛会でありますし、また、昨日からすでに会がはじまっております会長・幹事会、さらには記念フォーラムもご熱心な参加の元に盛会に開催されたとうかがっております。

私も昨晚、川尻RI会長代理ご夫妻を迎えての夕食会にお招きをいただき一緒にさせていただきましたが、終始和やかな中にも会員の皆様の本当に情熱溢れるそのエネルギーに触れることができ共感をさせていただいたところでございます。

本会議の後、日高さんによりまして記念講演も用意されていると同っております。また、この記念講演を市民にも公開して頂けるということでありまして大変喜んでいる次第でございます。

この地区大会を契機といたしまして更に一層各地のロータリー活動の輪が広がりますよう心から念じて止みません。

この機会にどうぞ千歳市の街をご散策いただいで御見聞を広げて頂ければ幸いです。

今後の皆様方のご健勝とご発展を心からお祈りしてご歓迎の言葉といたします。

## RI 会長代理挨拶



RI 会長代理

### 川尻政輝

本年度の第2510地区の地区大会が1836人の多数のロータリアンが出席されて、昨日と本日盛大に開催されますことを心からお祝いを申し上げます。

私と私の家内はこの伝統のある皆様方の地区大会にジョナサンB.マジアベRI会長の代理として参加させて頂きましたことを大変に光栄に思っております。

この地区は日本においても指折りの歴史のあるクラブを要している地区で、日本のリーダーとなるべき地区であります。私が日頃敬愛しております先輩方、パスト・ガバナーの方々、それから私の友人が居られるこの地区に会長代理として拝命をいただきましてから皆さんとお会いできるのを楽しみにして参りました。

この機会を与えていただきましたRI会長と佐藤ガバナーに心から感謝を申し上げます。

私の挨拶もなるべく短めにして、「これからのロータリー」について、この時間と最後の所感のところで皆様方と一緒に考えていきたいと思っています。

今、皆さん方ご承知のようにロータリーは色々な問題に直面しております。我々の先輩方が約100年の発展を続けてまいりましたけれども今、我々が次世代にロータリーを受け継いでいかなければならないこの時期に21世紀あと100年このロータリーが発展を続けられるのだろうかという考えに注目をして頂きたいと思っています。

このままの状態でロータリーがあと100年続くだろうか。皆さんとできれば小さいグループになってこの問題をとことんまで議論をしてみたいと思っておるところですが、それについては時間の制約がございますので私が問題を提起して、そして皆さん方が各クラブに帰って十分に時間をかけて議論をして結論を出して、そして建設的な意見を日本から外国に発して頂きたい。ややもすると日本のロータリーは外国一辺倒で運営されてきたという傾向もございます。21世紀、次の100年のロータリーはやはり日本から日本らしいロータリーを発信して行かなければならない役割を我々に課せられていると私は確信しております。

今ロータリーが21世紀もすばらしく発展を続



けるには、4つの問題を、各クラブ、地区で取り組まなければなりません。

- ①ロータリアン及びロータリークラブはこれからどのようなものでなければならないか。
- ②ロータリークラブが対外的に地域社会のニーズに引き続いて応えて行くためには、どうしていかなければならないか。
- ③現在でも新しいロータリークラブは拡大されておりますが、既存のクラブの会員は著しく減少をしています。これはどうすれば解決できるのか。そして、新しいクラブを拡大することによって何とか今まで会員減少を防止してきましたが、しかし5、6年前からクラブを拡大しても既存のクラブの会員が減少しているため、トータルとしては世界的に会員が一年に1%減少しているといわれています。私はよく笑い話にこれは21世紀、次の100年で会員が0となる数字になる、これでいいのかという問題です。
- ④ロータリーは、今や若者に魅力を失いつつある。これを早急に取り組んで克服しなければ、次の100年ロータリーの発展は期待できない。この4つの問題について私は佐藤ガバナーにせっかく貴重な時間をこの地区大会で与えていただきましたので、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。時間がございませんので第一番のこれからのロータリアンとロータリークラブはどうあらなければならないかという第一の問題について問題点を指摘しておきます。

これは皆さんおそらく100年を経過するについ

て今までと同じでいいんだという考えの人はいらっしやらないでしょう。私はどちらかに結論を出すわけではございませんので、皆さんがクラブで、あるいは地区で結論を出していただきたい。今までのロータリーでいいと考えた場合に100年続けるためには、どうすれば良いか。

まず、一つはロータリーというものに時空を越えて、時と場所を越えた不変の理念があるのか。あるとすればそれは何なのかということです。どんな時代がきても、どんな場所においてもロータリーの本質的な理念というもので、それは変わらないものである。それは何かということです。私は時空を越えて変わってはならないものはあると思います。結論だけ申しますと先輩方から教わったロータリーで変わってはならないものは「奉仕と親睦」だと思っています。ロータリーが、これを変えるとロータリーでなくなるわけです。しかし親睦も奉仕もその手段については時と場所によって変わっていかねばなりません。また歴史によっても変わっていかねばならない宿命はもっています。この問題を理念そのものと手段とを混同していらっしやる方が多いのです。これを今後は識別していかなければならないと思っております。ロータリーは歴史と文化の発達で進化する宿命を持っているのです。

昨日の会長・幹事会においても「奉仕と親睦」がバランスよく発展することにロータリーのすばらしい発展があることについて、皆さん方に考えていただきたいとお願いいたしました。ここでもお願い申し上げます。

今や奉仕のウェイトが大き過ぎて親睦が置き去りになっている傾向が世界的にはある。それを引き戻そうという考え方が日本には潜在しております。この日本の考え方は私は正しいと思っておりますが、しかし皆さん方が各クラブで検討して頂きたいと思っています。そのあとの問題については最後の所感で少し時間をいただき、また皆さんと一緒に考えて行きたいと思っております。

## 物故会員の追悼



下歳RC (第7グループ)  
**岡本 義晴**  
2002年9月2日ご逝去・享年 58歳



苫小牧北RC (第12グループ)  
**池田 作哉**  
2002年12月9日ご逝去・享年 83歳



室蘭東RC (第9グループ)  
**菅原 俊行**  
2002年9月30日ご逝去・享年 69歳



札幌西RC (第4グループ)  
**山本 智雲**  
2003年1月4日ご逝去・享年 80歳



倶知安RC (第6グループ)  
**松本 守**  
2002年11月3日ご逝去・享年 78歳



札幌西北RC (第4グループ)  
**池内 泰文**  
2003年1月8日ご逝去・享年 60歳



森RC (第10グループ)  
**倉地 孝男**  
2002年11月9日ご逝去・享年 73歳



当別RC (第3グループ)  
**松田 浩一**  
2003年1月18日ご逝去・享年 62歳



留萌RC (第1グループ)  
**富山 惟夫**  
2002年11月15日ご逝去・享年 78歳



室蘭RC (第9グループ)  
**富田 嘉市**  
2003年1月30日ご逝去・享年 86歳



室蘭RC (第9グループ)  
**寺尾 幸正**  
2002年11月21日ご逝去・享年 73歳



札幌西北RC (第4グループ)  
**佐々木 昭一**  
2003年2月10日ご逝去・享年 60歳



札幌東RC (第5グループ)  
**黒田 泰**  
2002年12月7日ご逝去・享年 90歳



室蘭RC (第9グループ)  
**上田 智夫**  
2003年2月17日ご逝去・享年 76歳



札幌東RC (第5グループ)  
**山口 進**  
2003年3月27日ご逝去・享年 70歳



苫小牧RC (第12グループ)  
**永井 高明**  
2003年6月30日ご逝去・享年 70歳



札幌西RC (第4グループ)  
**森田 春穂**  
2003年5月8日ご逝去・享年 73歳



洞爺湖RC (第9グループ)  
**若狭 幸蔵**  
2003年7月19日ご逝去・享年 86歳



札幌東RC (第5グループ)  
**佐藤 鐵磨**  
2003年6月10日ご逝去・享年 60歳





参加しなければならないのか。これは皆さん方のクラブでも今であれば参加してみようというクラブもあったかもしれません。しかし2年数ヶ月前は、どうも日本においては不徹底であったために日本では三つのクラブだけが挑戦しました。

- ②今、2年数ヶ月をこの三つのクラブは試験的なプログラムでクラブ運営してまいりました。特に日本において三つのクラブの結果がどういふようになったかという中間報告を皆さんにしていきたい。
- ③この新モデルのプログラムが、今度3年過ぎたらどうなるかという問題を考えなければならないだろう。
- ④このプログラムに付随してアメリカでサイバークラブというのが認められております。これをeクラブというんですが、サイバークラブがどういふ状態になっているかという。この四つの点について時間があれば触れたいと思いますが、万一触れられない場合は、12月以降のロータリーの友に詳しく書く予定になっていますので、それを参考にしていきたいと思います。

皆さん方もご承知かもしれませんが、日本の3地区の3クラブが承認されて2年数ヶ月たちました。一つは、足利東ロータリークラブ（栃木県第2550地区）、それから埼玉の春日部ロータリークラブ（第2770地区）。それから第2750地区の東京高輪ロータリークラブ、この三つが承認されて2年数ヶ月経過しました。まず基本的になぜこの三つのクラブがこの試験的プログラムに挑戦したかという問題について、足利東ロータリークラブと春日部ロータリークラブは、もう創立40年過ぎているクラブ、この二つのロータリークラブが、このプログラムに挑戦した理由は8つに集約されている。これを読み上げるだけでも時間がないので省略いたします。

東京高輪ロータリークラブは、10年未満のクラブでございます。10年未満のクラブがなぜ挑戦したかといいますと、私がガバナーを務めた2000～2001年の前年度にこのクラブは、11名

に会員が激減しました。クラブを解散すべきか、あるいは近隣のクラブに吸収してもらうか、いろいろ悩まれたわけでございます。私は思い切ってクラブの存立をかける問題であれば、このプログラムに挑戦してみようということで挑戦してもらいました。10年未満のクラブがクラブの存立をかけて挑戦したもので、2年数ヶ月で一番結果がでているのは東京高輪ロータリークラブであろうかと思えます。この点についてはまた後ほど報告いたします。

この試験プログラムに参加した三つのロータリークラブは、2年数ヶ月でどんな変革がなされたかという第二の問題で、一番目の改革された点は会員の増強と退会防止が成功しているということです。これは結果がそうになっているというだけで皆さんが参考になるかどうかは各クラブで検討していただきたい。それはどういふことかという、会員の増強といいますと足利東ロータリークラブは、2年数ヶ月で21名の会員増強に成功している。それから東京高輪ロータリークラブは23名、春日部ロータリークラブは6名の会員増強に成功している。三つのクラブが結果として会員増強と退会防止に成功しているのですが、その理由は後ほど説明したいと思えます。

二番目の改革された点は、会員の経済的負担を思い切って軽減することに成功したことです。例えば東京高輪ロータリークラブは高輪プリンスホテルで例会を開催しているために、非常に例会費がかかります。したがって、ここで負担を軽くすることは思い切って入会金を全部廃止して、年会費を半額に減額する、その代わり経費がかからないように試験的な期間だけでも例会を2週間に一回開催してみようと、そして例会を開かなくても会員同士のコミュニケーションをとり、例会日以外に奉仕活動を3ヶ月に10時間以上の奉仕活動に参加しなければならないとする。これはおそらく皆さん方のクラブで、出席は100%年間しているけれども奉仕活動については3時間以下という会員がいらっしゃるのではないのでしょうか、どちらが良いでしょうか。ロータリーは出席と奉仕のバランスが必要です。例会を2週間に1回開催し



でも3ヶ月に10時間以上の奉仕活動に会員が参加しなければならないという。そしてホームクラブに80%以上出席しなければならない、これは2週間に1回ですから、できれば100%ホームクラブに出席してほしいんですけども、そこまでするとやはり無理があるのでメーキャップを20%は認めていこうということで、こういう思い切った改革をやって、2年数ヶ月を過ごした結果、例会を2週間に1回開催すればクラブの運営費が安くなった。その分だけ入会金はゼロに、それから年会費を安くすることによって、余剰の経済的な資金をロータリー財団とか奉仕活動へ回せる結果になっております。これは3年間の結果として改革された一つの点になるだろうと思っております。そういう関係で会員の経済的負担を軽くすることは今大事なことであります。

それから三番目に改革された点は、奉仕活動にクラブの全員が参加するようになったことです。それはもっともです。例会は2週間に1回開催するが、3ヶ月に10時間以上の奉仕活動に参加しなければならないということ、すなわちクラブの地域社会の奉仕活動に参加するか、あるいは何らかの奉仕活動に参加しなければならない。クラブの奉仕活動に多くの会員が参加するようになってきた。ですから出席の100%よりも奉仕活動に対する全員参加ということが、この特徴となってきた。これは皆さん方のクラブにおいてもひと工夫すればできることだろうと思っております。

それから四番目に改革された点は、これは一番難しい問題で日本で反対が多かった点でした。例会の開催頻度を改めたことである。東京高輪ロータリークラブでは2週間に1回の例会を開催するように改めましたが、足利東ロータリークラブは40数年経ったクラブですから例会は従来どおり毎週開催しますが、会員の出席率を50%以上で良いというように下げたんです。なぜ下げたかという、このクラブは、若い現役の会員がホームクラブに2週間に1回または、メーキャップを含めて2週間に1回出席すると50%クリアできるように改めて対応したのです。そうしますと、東京高輪ロータリークラブとどこが違うんだという

と、例会を2週間に1回開催するか、例会は毎週開催しているが、50%出席率に下げると2週間に1回出席すれば良い、だから若い会員には出席しやすくなったんです。しかしクラブの経済的負担は例会を開きますから負担はあまり軽くないことで、ここがジレンマに陥っている。したがって足利東ロータリークラブは入会金を廃止するところまでは徹底できなくて、半額に入会金を減額するというところでこのプロジェクトに挑戦しているわけです。しかし、3年目はもう一回定款と細則を変更して挑戦することがとられるかもしれません。

それから春日部ロータリークラブは若干中途半端な挑戦であります。月に例会を3回開くことで月末の例会を廃止しました。そうすると春日部市は、中小企業の経営者が非常に多いために月末の週はどうしても忙しいので例会の欠席者が多いのです。ホームクラブに対しても欠席者が多いが、メーキャップも中々難しいのが日本の今の経済状態です。月末の例会を廃止し、しかも月に3回の例会を開催するというので、どう結果がでたかと言いますと、これも入会金を廃止することによってもクラブ運営はできるというところに落ち着いたために、2年目から入会金を廃止するように細則を改正しました。若干出席率を60%に維持しているから中途半端かなとは思いますが、ただ日本の三つのクラブでいろいろの選択肢がなされたということについては、非常に参考になっているわけでございます。

それから、五番目に改革された点は、例会時間を延期したということです。東京高輪ロータリークラブは夜の例会で7時からの開催にして、約2時間の例会です。それは2週間に一回ですから、一時間で会長の報告、幹事の報告、委員会の報告、食事して終わりという物足りないので、2時間の例会にしました。2時間に延長してその中でゲストの人、あるいはメーキャップの人に全員3分間のスピーチ、自分の職業を含めた自己紹介をしてもらうことにしております。これはクラブ例会を有意義に運営しようという考えで行っております。足利東ロータリークラブは、月末の例会を夜

間例会にして、これは家族同伴を原則とする。あるいは時に市長さん呼んで、行政が今、何をロータリークラブに求めているのか、ロータリークラブが今地域社会に何が奉仕できるのかというニーズを毎月その月末の夜間例会で知ろうと考えて開催しております。またボランティア団体の代表者を夜間例会に出席してもらって、ロータリークラブが、今後ボランティア団体などどのように手を結んでいくことができるか、ということのニーズを探ったり、時に、いろいろ地域社会の業界の代表者、経済界の若手経営者を夜間例会にお呼びしている。このようにして十分コミュニケーションをとっております。それが足利東ロータリークラブで従来の例会をやりながらも、例会の運営の内容を変革して成功した点だろうと思っております。

それから六番目の改革された点は、どうも出席も大事だけでも、奉仕活動に3ヶ月に10時間以上の奉仕活動に参加するとなれば、近隣クラブとの共同プロジェクトか、または共同会議と取り組んでいかなければならない。それでクラブを超えた若い人の友情の広がりができてきているわけで、今若い会員を皆さん方のクラブの中だけに閉じ込めるとい時代ではなくなっております。クラブの中で例えば卓話の情報、この人の卓話は、第2510地区の全員にできたら聞いてもらいたいというような卓話の情報はやはり公開すべきではないか、私はガバナー補佐にお願いして将来の卓話のスケジュールを全クラブの会長から出してもらって、それを会長・幹事会でその情報を交換することによって、各クラブの会員に卓話の情報を公開することを徹底してもらっています。皆さん方の地区でも二度と聞けないような人の卓話があるクラブに、そのクラブだけで卓話を独占することは非常にもったいない感じがあって、第2510地区の中で全てそういう人たちにもチャンスを与えるということも必要ではないか、それによって若い人達がクラブを超えて非常に友達になって、あなたはそのクラブに入会したか。私はこのクラブに入会したとお互いに頑張ろうということで、クラブを超えた友情で退会防止に成功していること

もあります。この点は若い会員に対する改革の点であろうと思っております。

時間になりましたので、一つだけ皆さん方に考えていただきたいのは、先程申し上げましたように、この新モデルの試験的プログラムは今後どうなるかといいますと、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、RIの理事会において、2003年5月に2004年の規定審議会に2007年までこのプログラムの実施を延期するという立法案を提出するという決議がなされております。この地区の規定審議会代表のpast・ガバナーの方は、十分にご検討を願いたいと思っております。それと同時に私がRIに希望しているのは、あと3年延期するときには日本において、3クラブか5クラブ3年の限度で、試験的プログラムに参加するクラブを認めてほしい。そうすると日本が5クラブか若しくは8クラブの試験的プログラムでデータができれば、日本の本来の新しいモデルクラブのデータが揃うのではないかと考えております。どうかそのように延期していただきたいと思っております。ところでございます。まだまだ皆さん方に報告すべき問題はございますが、少しでも皆さんの参考にしていただければ幸いですと思っております。

## 国際ロータリー現況報告

### I 会員増強・クラブ拡大(2002年6月30日現在)

下段のカッコ内は2003年6月30日現在のもの  
「ロータリーの友」9月号46頁

・会員	1,243,431名 (1,227,545名) - 15,886名
・ロータリークラブ	31,256クラブ (31,561クラブ) + 305クラブ
・地区	530地区 (529地区) - 1地区
・国数	165国 (166国)
・地理的地域	40地域 (ゾーン)
・女性会員	129,000名 (女性クラブ会長2,000名)



- ・ インターアクトクラブ  
199,939名 (8,693クラブ111国)  
(9,164クラブ) +471クラブ
- ・ ローターアクトクラブ  
169,671名 (7,377クラブ154国)  
(7,552クラブ) +175クラブ
- ・ ローター青少年交換 7,000名

## II ローター財団

- ・ 2002-03年度予算 1億2,150万ドル
- ・ 2002-03年度寄付 8,140万ドル
- 年次プログラム基金への寄付 6,750万ドル
- 恒久基金への寄付 870万ドル
- ポリオ・プラス基金への寄付 500万ドル
- 一時的使途指定金 20万ドル
- ポール・ハリス・フェロー 807,915名
- ロータリー財団ベネファクター 57,608名

## III 2002-03年度ロータリー財団目標と優先事項

- ・ 約束を守ろう、ポリオをなくそう。  
ポリオ撲滅は、世界中の子供たちへの贈り物である。
- ・ ジョナサンB. マジリアベRI会長を支援するため「手を貸そう」。  
ロータリー財団のプログラムは、貧困、飢餓、識字率向上のために、日々取り組んでいる。
- ・ ロータリアンに、ロータリー財団についてもっと知ってもらいましょう。
- ・ 子供たちに援助の手を広げるよう、ロータリアンに奨励しましょう。
- ・ 財団学友をもっと効果的に活用しましょう。
- ・ 毎年、すべてのロータリアンが、  
年次寄付は私たちの生命線である。  
2005年までに毎年一人当たり米貨100ドルを達成することである。  
ロータリー財団への支援は、皆さんが「手を貸す」ことであります。

## IV 管理・運営

ジョナサンB. マジリアベRI会長、グレン・エステス会長エレクトのほかに17名の理

事の合計19名で理事会を構成している。

日本から菅生浩三氏（大阪北RC）と田中作次氏（八潮RC）の2名が理事に就任されております。理事エレクトに南園義一氏（防府RC）が指名されております。ロータリー財団の管理委員には、日本から玉村文夫氏（東京RC）が就任されておられます。

## V 国際大会

2004年5月23日～26日まで、関西で本年度の国際大会が開催されます。R1では国際大会に開催国である日本のロータリアンの多数の出席を期待しています。皆さんも是非ご参加をお願いいたします。

## VI ポリオ撲滅募金キャンペーン

2002年1月に国際ロータリー本部で、WHO、UNICEF、CDC、世界銀行、国際ロータリーが集まって未だに発生しているポリオを2005年までにゼロにするには、どうしたらいいかを検討した結果、2005年までポリオをゼロにするために資金が4億ドル不足している。4億ドルのうち、その5分の1の8,000万ドルをロータリーが資金調達することになった。それで2002年7月から国際ロータリーは、8,000万ドルの募金キャンペーンをスタートさせた。日本の場合は3年間で8,000万ドルのうち、その20%の1,600万ドルを集めることを目標にして国際ロータリーに協力することにした。そのため皆さんのクラブでロータリアン一人当たり3年間で18,000円（6,000円×3年）を目標に「ポリオをなくそう」という約束を守るためにご理解とご支援をお願いしているのです。

## 地区現況報告



ガバナー

佐藤 秀雄

只今はRI会長代理、川尻正輝様の方から素晴らしい試験的プログラムの発表がございました。もっと詳しいことはですね、ゾーン研究会の後に発行されます「ロータリーの友」に掲載される予定でございますから、そちらの方を読んでいただきたいと思ひます。

私の方からは地区の現況報告を簡単にさせていただきますが、皆さん方のお手元の大会プログラム24ページをご覧くださいと、ここに大まかな現況を書いてございますので、これを読んで頂くとお解りいただけますので、ひとつだけ、私の方からご報告をさせていただきますと思ひます。

地区チーム研修セミナーあるいは、会長エレクト研修セミナー等々におきまして、中古自転車をスリランカに送ろうということで皆さんにお願いを致しました。各12グループの皆さんそれぞれのクラブが、一生懸命中古自転車を収集していただきまして、約1,000台近くが集まりました。私ども港湾職員から聞いておりましたのは、40フィートのコンテナに約800台入りますよ、というこのようなお話でありましたが、実際に積んでみますと220台しか入らないということが判りまし

た。実に4分の1であります。

そんなことがございまして、10月10日に第一陣、静内クラブから送られた木製のオルガン32台と自転車180台を送りました。船賃が約40万円かかるものですから、私の年度の予算が100万円ちょっとでございまして、あと一回ですね贈りますと私の年度の予算が尽きるということがございまして、600台位が残ることとなりますが、これは当クラブ会員の倉庫に保管してございまして問題はないと思ひますが、次年度遠藤エレクトの年度に残りの中古自転車をスリランカ、タイ、フィリピンに行くかは分りませんが検討をさせて頂いております。そんなことでありますから船賃はうちの方で持つよというクラブ、あるいは外国のクラブがありましたら地区の方へ是非申し出をいただきまして、72クラブから提供して頂きました中古自転車を私の方から寄贈いたしますので、申し出を頂きたいと思ひます。もし申し出が無き場合には次年度の予算で継続してやっていただく。このようなことでございまして何卒宜しくお願いしたいと思ひます。

それからもうひとつ、誤解があつては困ります

のは、あるメンバーから、実は予算の請求をWCSに特定のクラブを名前上げて請求をした訳でありますけれども、地区全体でやっている事業ではないのか、各クラブから上がってくるのはおかしいのではないのかというご要請もありましたけれども、これは皆さん72クラブの事業でございますからそのような観点から私はこの仕事をしておりますので、誤解のないようにお願いをしたいと思います。

以上簡単でございますが地区の現況報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## 地区現況報告

当地区は下記の事業を行っていることを報告致します。

クラブ総数	72クラブ
期首会員総数	3,304名
青少年交換留学生	受入 11名 派遣 13名
国際親善奨学生	受入 1名 派遣 11名
米山記念奨学生	継続 4名 新規 16名 計20名
研究グループ交換	4名
派遣先	第3830地区 (フィリピン)
財団年次寄付目標額	25万ドル
ポール・ハリス・フェロー	3,543名 (累計)
ベネファクター	163名 (累計)

## 国際奉仕活動について

今年度当地区は全クラブに「中古自転車をスリランカに贈ろう」と呼びかけ約1,000台(全グループ提供)、木製オルガン32台、ピアノ100個及び笛100個(第8グループ提供)の内、木製オルガン全部と自転車約180台を2003年10月10日の船便で発送した。残りは11月に発送予定である。函館北RCはジョムジャカルタ市の公立小学校に図書支援の事業を行った。札幌東RCはミャンマーの障害者施設に障害者用車椅子を寄贈した。





## 表彰

### ロータリー財団表彰（2002-2003年度）

#### ・財団一人あたり寄付優秀クラブ

- 第1位 深川RC
- 第2位 札幌北RC
- 第3位 長沼RC

#### ・財団寄付優秀クラブ

- 第1位 札幌東RC
- 第2位 札幌北RC
- 第3位 深川RC

#### ・メジャー・ドナー表彰

- 菅原 剛太郎（滝川RC）
- 伊藤 義郎（札幌RC）
- 小林 博（札幌北RC）
- 鍋谷 操子（函館東RC）

### （財）ロータリー米山記念奨学会表彰

（2002-2003年度）

#### ・達成クラブ表彰

- 札幌南RC（2千万円達成）
- 美唄RC（1千万円達成）
- 小樽南RC（1千万円達成）
- 苫小牧RC（1千万円達成）

### 会員増強優秀賞（2002-2003年度）

- ・第1位 長万部RC 109%
- ・第2位 札幌清田RC 108%
- ・第3位 札幌大通公園RC 106%

### ガバナー特別表彰

#### クラブ表彰

##### 札幌あけぼのRC：

救命救助に対する講話と応急処置訓練の実施に対して。

##### 札幌モーニングRC：

バイオブロック植樹（カミネッコン植樹）運動に対して。

##### 札幌清田RC：

バリ島北部の村へ電動式給水ポンプ設置、ポンプ小屋の建設に対して。

##### 札幌大通公園RC：

ポリオ・プラス街頭募金活動に対して。

##### 函館RC：

函館RC杯ラグビー大会の主催に対して。

##### 札幌北RC：

第3220地区スリランカへ善意ある医療ベッド支援に対して。

##### 札幌RC：

第3220地区スリランカへ善意ある医療ベッド支援に対して。

##### 札幌南RC：

第3220地区スリランカへ善意ある医療ベッド支援に対して。

##### 室蘭RC：

第3220地区スリランカへ善意ある医療ベッド支援に対して。

### 個人表彰

#### 浦河RC・大山勝美会員：

社会奉仕の人間尊重に関する一環として自らの建設資金を投じ、青少年健全育成の願いを込めた「啓蒙看板塔」の制作と積極的な新会員獲得によるクラブ会員数回復（退会者同数の入会者獲得）の貢献に対して。

#### 倶知安町・玉置照心 殿：

当地区世界社会奉仕委員会（WCS）に対する寄付に対して。



## 直前ガバナーへ記念品贈呈

ガバナー

佐藤 秀雄

中味は3分の1に少なくなりましたが、心を込めて感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

直前ガバナー

小林 博

今日は、一言はないという司会の方のお話だったんですが、急なことでございますが、皆様に只々ありがとうございましたと申し上げたい気持ちで一杯でございます。

今年の佐藤ガバナーの、この地区大会の進め方を見ておきますと、さすが佐藤ガバナーだなと…もう私は昨年緊張でおどおどしてましたが、非常に余裕を持って、人を随分笑わせてですね、これも全部最初から仕組まれた演出だな、さすがだなあと感服しておりました。おまけに頂きまして(笑い) 皆さんありがとうございました。





## 表彰者名簿 (敬称略)

### ロータリー財団関係

#### 〈マルチプル・ポール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
深川	伊藤 崇 (5)	札幌西北	三上 直彦 (2)
	村中 俊二		森本 正夫 (5)
	佐々木 実 (2)		八木 忠雄
	吉本 勲 (3)	札幌手稲	松崎 幹
羽幌	茶谷 恵一	札幌東	荒岡幹史郎 (3)
	櫛引 克弘		坂東 宗一 (2)
	榊原 照夫		大 公一郎 (3)
留萌	森本 一		星野 恭亮 (2)
赤平	藤永 貞治		菊地 章
	渡部 芳己		南原 康二
砂川	北谷 好文		名塩良一郎 (4)
滝川	神部 洋史 (3)		奥貫 一之 (5)
	菅原剛太郎 (大口寄付者)		鈴木 俊幸
	坪谷 六郎		田尾 重良 (2)
岩見沢	浅野 剛		山光 進 (2)
	橋本 新治	札幌幌南	遠藤 正之 (4)
	小林 弘明 (2)		土橋 信男
	三嶋 顕		森 正志
	山本 公彦		砺波 寿
岩見沢東	坂田 知樹	札幌南	福山恵太郎 (3)
栗沢	本田 正一 (2)		今井 國雄
札幌	伊藤 義郎 (大口寄付者)		佐藤 伸
	伊藤寿美子 (6)		島津 宏興
	櫻井 政経	小樽南	福島 正紘
札幌北	小林 博 (大口寄付者)		石上 源應
	長太 義雄		斎田 義孝
	城木 浩一 (2)	千歳	福田 武男
	竹原 巖		佐藤 秀雄
札幌モーニング	井野 智 (2)	恵庭	大川 健一
	篠原 達雄 (2)		山田 邦昭 (2)
札幌西	高下 泰三 (2)	長沼	古川 大之

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
静内	長浜 和也	函館東	鍋谷 操子 (大口寄付者)
	武岡 大佑		横岡 孝一
	山田 一孝		吉川 達也
函館	藤井 方雄	函館北	小笠原 孝 (7)
	加藤健太郎	苫小牧	近藤 重明 (2)
	小林 敏夫	苫小牧東	川村 義昭
	國立 金助 (2)	苫小牧北	伊藤 長英 (7)
函館東	小安土達郎 (2)		伊藤 竹雄 (2)
	小泉護太郎 (3)		紺野 誠一 (3)
	森元 浩		

#### 〈ポール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
深川	舟谷 絹子	栗沢	河合 明
	松本 純枝		宮森 裕
	成田 昭彦		高野 正光
	高橋 慶一	栗山	北川 清則
	棚橋 直登	札幌北	樋口 正明
	寺岡 義人		片岡 是充
	安田 憲也		杉下 清次
赤平	早坂 文雄	札幌西	大越 克巳
	宇戸 啓隆	札幌東	朝倉 正人
砂川	大山 知行		高橋 徹
	竹田 俊一	札幌幌南	高島 敏子
滝川	河内 栄子	札幌南	トーキル・クリステンセン
	川原 弘嗣		杉浦 則男
美唄	二川 秀樹		和田 丈夫
	北野 保孝	新札幌	石田 茂夫
	萩野 秀明		近藤 敦
岩見沢東	細谷 義弘		梅田 鉄夫
	渡辺 劭	岩内	大橋 由政
栗沢	稲童丸 貢	小樽	泉 侑
	金山 英昭		丹呉 幹彦
	川幡 直		谷内 馨一



クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
小樽南	新井隆次郎	静内	小野寺道春	札幌南	トーキル・クリステンセン	静内	高橋正亘
	加藤正幸	伊達	新井田孝	岩内	鳴海馨誠	伊達	山崎満晴
	岡島章	室蘭東	飯淵義久	小樽南	見延庄三郎	室蘭	田頭博昭 (2)
	高橋政美		川角晃		佐川秀逸	室蘭東	前田康博
	坪井純司		芝垣美男		竹田栄治		鈴木久雄
	上野正之		若松竹治		鳥井健次	登別	遠藤秀雄
	山吹啓之	洞爺湖	川南明則		辻健	函館	小林明
千歳	浅沼廣幸		三浦昭三		米山八郎	函館東	福嶋貢 (2)
	藤崎正敏	函館亀田	沖田豊	千歳	福田武男 (2)		池垣清信 (6)
	藤本敏廣	森	黒坂清一	恵庭	三上春吉	苫小牧	今野陽三 (2)
由仁	庄司弘		宮川昭一	えりも	山科幸一	苫小牧東	児玉和雄
三石	小島安彦	函館五稜郭	柏木秀之	静内	嶋崎映	苫小牧北	伊藤長英 (4)
静内	福嶋尚人	函館東	門脇雅夫				
	市毛満	函館北	北村祐治				
	石垣勝英	苫小牧	阿部喜朗				

〈ベネファクター〉

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
滝川	坪谷六郎	札幌手稲	石田誠 (2)
札幌北	小林博		

米山記念奨学会関係

〈米山功労者〉

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
深川	安田憲也	札幌西北	大野義雄
赤平	藤田安男		谷口二郎 (6)
砂川	北谷好文	札幌東	星野恭亮
滝川	神部洋史 (2)		菊地章
	向井辰巳		南原康二 (2)
江別	西村孚		白石正勝 (5)
岩見沢	早川卓伸	札幌真駒内	金坂和正
札幌北	小林博 (2)		中山裕視
札幌西	太田耕平 (2)		森谷明弘
	高下泰三	札幌南	畑中俊介
札幌西北	三上直彦 (2)		小林昌志

〈米山功労クラブ〉

クラブ名	回数	クラブ名	回数
深川RC	10回目	札幌南RC	27回目
留萌RC	9回目	札幌真駒内RC	17回目
赤平RC	2回目	小樽南RC	6回目
美唄RC	7回目	千歳セントラルRC	2回目
岩見沢RC	21回目	静内RC	6回目
札幌北RC	19回目	室蘭RC	4回目
札幌モーニングRC	10回目	室蘭東RC	3回目
札幌西RC	19回目	函館五稜郭RC	7回目
札幌西北RC	10回目	函館東RC	18回目
札幌手稲RC	19回目	苫小牧北RC	10回目
札幌東RC	26回目		

〈米山功労法人〉

クラブ名	法人名
札幌真駒内	NPO法人 北海道アフリカ協会

# 永年100%出席会員

## 45年

クラブ名	氏名
札幌	勝木 郁郎

## 40年

クラブ名	氏名
岩内	勝戸 昭二

	紀 八郎
小樽	角江 哲雄

## 35年

クラブ名	氏名
江別西	土谷 茂樹

岩見沢	西川 昇
-----	------

札幌西	伏木 忠了
-----	-------

小樽	宮本 成雄
----	-------

千歳	浅利 作造
----	-------

函館北	森 秀樹
-----	------

## 30年

クラブ名	氏名
留萌	深瀬 晏男

芦別	廣嶋 武
----	------

	川島 昭二
--	-------

	末永 信一
--	-------

美唄	後藤 三雄
----	-------

栗山	小林米三郎
----	-------

	松下 留雄
--	-------

札幌手稲	岩瀬 一郎
------	-------

札幌東	大橋 康次
-----	-------

	田中 公
--	------

クラブ名	氏名
千歳	加藤 武仁

伊達	山崎 満晴
----	-------

函館亀田	帰山 一弥
------	-------

	坪山 元彦
--	-------

苫小牧北	伊藤 竹雄
------	-------

クラブ名	氏名
深川	杉村 修

芦別	神野 一民
----	-------

	田中 正之
--	-------

滝川	鈴木 忠男
----	-------

	武田 邦彦
--	-------

岩見沢	長谷川 暢一
-----	--------

	武蔵 信一
--	-------

札幌	松村 亮一
----	-------

	山中 善夫
--	-------

札幌西	大金 武夫
-----	-------

	大和 良二
--	-------

札幌手稲	針谷 龍宜
------	-------

	久末 満三
--	-------

札幌東	塚原 房樹
-----	-------

札幌幌南	黒濟 雄孝
------	-------

	深田 博司
--	-------

	関 正明
--	------

クラブ名	氏名
静内	平野井 繁

室蘭東	石田 実
-----	------

洞爺湖	三浦 昭三
-----	-------

函館北	中川 洲平
-----	-------

クラブ名	氏名
留萌	齋藤 清蔵

	澤田 茂
--	------

	関野 政人
--	-------

赤平	田中 良一
----	-------

砂川	武田 昭二
----	-------

滝川	林 博幸
----	------

	佐藤 圭二
--	-------

美唄	宝崎 錠二
----	-------

江別	正木 勝夫
----	-------

岩見沢	森居 清
-----	------

	大屋 均
--	------

	佐藤 紀征
--	-------

岩見沢東	渡辺 勝治
------	-------

	山口 宏道
--	-------

栗沢	佐野 邦夫
----	-------

栗山	磯見 豪希
----	-------

札幌	中田 揮雄
----	-------

	佐々木正丞
--	-------

クラブ名	氏名
札幌南	須田 義雄

小樽	岩永 政晃
----	-------

小樽南	米山 八郎
-----	-------

余市	林 正秀
----	------

千歳	佐々木金治郎
----	--------

	長澤 邦雄
--	-------

	中村 堅次
--	-------

恵庭	大川 健一
----	-------

伊達	加藤 嗣郎
----	-------

室蘭北	及川 力
-----	------

登別	宮武 忠史
----	-------

函館五稜郭	貞森 晃
-------	------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------

	酒井 正人
--	-------



## 10年

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
札幌モーニング	佐藤 亮蔵	深 川	成田 雅敏	札幌北	竹原 巖	由 仁	河端 利男
札幌西	川田 弘	留 萌	原田 功	札幌モーニング	篠原 達雄	室 蘭 北	村井 玄乙
札幌西北	三上 直彦		河部 勲	札幌西	高下 泰三	函 館	太宰 昌文
札幌手稲	福尾俊太郎		森 俊二		田山 耕平		若山 直
札幌東	小田切房之		中出 敏彦	札幌西北	小川 真治	函館五稜郭	川上 誠
	佐々木 稔	赤 平	石野 茂		桶谷 治		光錢 裕二
	白石 正勝	芦 別	坪坂 周二	札幌手稲	山田 克巳		田嶋 英人
	志々見陽一	砂 川	山田 信一	札幌東	堀田 昌資	函 館 東	福嶋 貞
札幌幌南	針谷 毅	滝 川	神部 絢子		池田 光司		小安土達郎
	森 正志		鈴木 英光		西村 恒夫		鍋谷 操子
	奥村 建夫	美 唄	北野 保孝		平 公夫	苫 小 牧	村上 満男
札幌南	金井 英明		西田 照雄	札幌東	高橋 五平		西川 辰美
	川井 一男	江 別 西	白旗 隆夫	札幌幌南	中村 栄進	苫小牧東	蝦名 久志
	工藤 武久		上田 芳明		莊司 藤雄		児玉 和雄
	山口 潔	岩 見 沢	早川 卓伸		高橋 一雄		
小 樽	菊地 稔		北市 宗三	札幌南	小林 昌志		
小樽南	廣瀬 保男		嵯峨 義輝		太田 眞琴		
	小林 英夫	岩見沢東	坂田 知樹		吉田 壽昭		
	成瀬 桜男		竹村 正義	倶 知 安	旭 克久		
蘭 越	金子 一憲	栗 沢	本田 義晏		名畑 秀樹		
千 歳	藤谷 信弘	当 別	前田 啓詞	小 樽	笠間 茂		
	藤崎 正敏		小山田雄一		丹呉 幹彦		
	福田 武男	札幌	廣田 凱則		谷内 馨一		
	日向 祥一		陣上 雅人	小樽南	新井隆次郎		
	梶原 勝		北畠 顕		竹田 栄治		
恵 庭	清水 明		澤 泰宏	蘭 越	本間 義明		
静 内	藤本 誠男		武田 圭策		熊谷 和幸		
室 蘭 東	芝垣 美男		山崎 駿		白石 勇		
登 別	高橋 恒夫	札幌あけぼの	買手 哲美	千 歳	古谷 眞一		
函館五稜郭	上出 眞也		西山 秀夫		中山 和朗		
函 館 北	北村 祐治		高坂 輝雄		丹波 正宏		
	薮下 義晴	札幌はまはす	中山 正美	北 広 島	斎藤 洌		
苫小牧北	田中 稔		野村 勝隆	由 仁	後藤 篤人		
			高井 悌吉		市川由紀男		

## ガバナー・エレクト挨拶

ガバナー・エレクト  
遠藤 秀雄

只今ご紹介を頂きました遠藤でございます。

今日は時間があまりございませんので、くどくどと申し上げることは何もございません。

おそらく来年一年、いやでも皆さん方、この顔を見なければならぬということになっておりますので、よろしく願いを致します。

ロータリーは、私はやはり一言で言えばヒューマニズムであるという風に考えております。

自分の仕事を愛し、そして人を愛し、そして世界の平和を愛するこの心があれば、先ほど川尻RI会長代理のお話では、100年後は危ないぞというお話がございましたけれども、ロータリーの心を一人一人が嘯みしめていくなれば、100年後も安泰であろうと言う、私は非常に楽観論者でございます。

来年一年よろしく願いを致します。

## ■経歴

生年月日 1933(昭和8)年7月24日生  
 所属クラブ 登別ロータリークラブ  
 勤務先・役職 医療法人友愛会恵愛病院・理事長  
 学歴・その他  
 1961年 3月 北海道大学医学部医学科卒業  
 1962年 3月 北海道大学附属病院にてインターン終了  
 1962年 4月 北海道大学医学部精神医学教室に入局  
 1975年12月 学位取得

## ■職歴

1968年 3月 恵愛病院院長に就任  
 1976年12月 医療法人友愛会理事長に就任  
 北海道精神医療審査会会長  
 日本精神科病院協会代議員及び  
 北海道支部常任理事  
 北海道精神病院協会副会長  
 北海道精神保健協会副会長  
 室蘭地区精神保健協会会長

## ■ロータリー歴

1969年 登別ロータリークラブ入会  
 (チャーターメンバー)  
 1972年～73年 同クラブ幹事  
 1980年～81年 同クラブ会長  
 1993年～94年 第9分区分区代理  
 ポール・ハリス・フェロー、米山功労者



## 次期地区大会開催地ホストクラブ会長挨拶



### 登別ロータリークラブ会長 寺島 紀子夫

次年度のPRをさせて頂く前に、第7グループ、そして千歳ロータリークラブ、千歳セントラルロータリークラブの皆さん、心温まる素晴らしい大会をご設営頂いたということでお礼を申し上げたいと思います。

さて、親愛なるロータリー諸兄に謹んでお願い申し上げます。

先ほど紹介頂きました、遠藤秀雄ガバナー・エレクトが所属致します、登別ロータリークラブ会長の寺島紀子夫でございます。

本年度、佐藤ガバナーの千歳ロータリークラブの、初めての地区大会という風に伺いましたけれども、登別におきましても、勿論初めての経験でございます。

本大会のようにパワー溢れる素晴らしい大会にすることができるかどうか、はなはだ自信のないところでございますけれども、幸いなことに、我々第9グループの5クラブ、室蘭、室蘭東、室蘭北、伊達、そして洞爺湖クラブには、物心ともにご協力頂くことをご確約頂いております。

潮香溢れる太平洋、緑の草原、そして世界の名

湯登別温泉、40人に満たない小さなクラブではございますけれども、熱き心意気で、心を込めて、皆様のご参加をご歓迎致します。

来たる2004年10月16日～17日、登別ロータリークラブ一同お待ち申し上げております。どうもありがとうございました。

## 記念講演

### ブッシュ政権の新しい世界戦略と アメリカ経済の見通し

米・ハドソン研究所  
首席研究員

日 高 義 樹 氏



ホワイトハウスの事情に最も明るい在米の国際外交評論家。報道特別TV番組「日高義樹のワシントン・レポート」は大好評。

#### 【プロフィール】

1935年 愛知県名古屋市生まれ。  
1959年 東京大学英文科卒業後、NHK入局。  
外信部、ニューヨーク支局長、ワシントン支局長、NHKエンタープライズ・アメリカ代表、理事待遇アメリカ総局長を歴任。NHK審議委員を最後に1992年定年退職後、ハーバード大学客員教授としてケネディ・スクールで教え、現在は同大学・タウプマン・センター諮問委員。  
ワシントンのハドソン研究所・首席研究員としてホワイトハウス及びアメリカ海軍のためのアジア・西太平洋における日米関係の将来性に関する調査・研究の責任者。又、全米商工会議所の会長首席顧問を務めている。

#### 著 書：

- 「アメリカの世界戦略を知らない日本人」 (PHP研究所)
- 「世界大変動が始まった」 (徳間書店)
- 「不況ではない、衰退だ！どうする、日本」 (PHP研究所)
- 「覚悟はよいか日本」 (PHP研究所)
- 「キッシンジャー博士 日本の21世紀を予言する」 (集英社)
- 「アメリカの怖さを知らない日本人」 (PHP研究所)
- 「中国に振り回されるアメリカ」 (PHP研究所)
- 「日本国に大統領が誕生する日」 (集英社)
- 「白人の狂気と日本」 (光文社)
- 「日本いまだ独立せず」 (集英社)
- 「日米政治破壊」 (集英社)
- 他多数。



## 講師紹介

ガバナー

佐藤 秀雄

それでは、日高先生のご紹介をいたします。もう日高先生は皆さん方もテレビでご承知のようによく存じている方だと思います。日高先生は、米ハドソン研究所首席研究員でいらっしゃいます。1935年に名古屋に生まれまして、59年に東京大学を卒業されNHKに入局、その後現在の米ハドソン研究所首席研究員としてご活躍されているわけでありまして。皆さんのお手元の大会プログラム20ページに詳しく記載されておりますので、約1時間に亘ってブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し、これは表と裏のいろいろな観点からお話をして下さると思います。乞うご期待です。それでは日高先生をご紹介します。日高先生お願いします。

## 講演

日高 義樹 氏

佐藤ガバナーから丁寧なるご紹介をいただきました日高でございます。今日は、北海道に久しぶりに来たんですが、空気が爽やかで、アメリカですと普通なんですが、東京へ来て、20日位なんですすがすっかり忘れたような、ほんとうに清しい朝でした。皆さん方の環境を大事にする運動やあるいは考え方が実っているんだと、しみじみ感じた次第でございます。

本日は皆さん方の大会にお呼びいただきまして、大変名誉なことだと思って馳せ参じてまいりました。実は、私は先週はドイツにおりまして、シュミット前首相にインタビューいたしまして、明日はアメリカに帰りまして、ゴアさんと会うことにしております。まあこれも全部テレビの番組なんですすが、実は私はNHKの民営化に失敗をいたしまして嶋会長が亡くなった後、実はアメリカに亡命中でございます。まあ亡命した先、丁度友人がハドソン研究所の所長になり、ハーバード大学の学長になり、全米商工会議所の会頭になったという運がいいこともありまして、そのままNHKにおりました時よりはホワイトハウスに近

い状態が続いております。しかしながら、日本の政治を見ておると、やはり古い政治家が、そしておそろしい政治家がだんだんいなくなっていくようでありますので、そろそろ日本へ戻ってこようかなと思っている次第でございます。

今日は「ブッシュ政権の世界戦略とそしてアメリカ経済の現状と見通しについて」話をしろという事務局のお話でございます。その話をしたいと思ってまいりました。アメリカの景気は日本の新聞があるいは、ヨーロッパの人が考えておりますよりも、力強くそして幅広く長期的な繁栄を私は始めたと思っております。その最大の原因はというと、イラクの戦争にブッシュ大統領が勝ちまして、その結果、世界の人々がドルを信用するようになりました。去年の今頃は、ドルが崩壊するのではないか、あるいはまた、85年のプラダ協定の時のようにドル紙切れ説というものもございました。しかしながら、ブッシュ政権の戦争、世界中から非難され、特に日本の朝日新聞なんかから言いますと、テロの親玉とまで非難をされております。このブッシュ政権の戦争によってドルの信頼が増し、その結果アメリカが金利を下げ、そして国債を沢山印刷するようになり、しかも、銀行に対する貸し出しを緩めた結果、アメリカはデフレの危機を脱しました。まあこういうふうに言いますと、あまりにもブッシュ政権びいきというふうに聞こえるかもしれませんが、アメリカの景気は、私は、いわばデフレの懸念というトンネルを抜け出しまして、これから来年再来年にかけては、景気は上昇拡大を続けると思っております。今日はその理由をいくつか申し上げますと同時に、その景気の背景にありますブッシュ政権の世界戦略がどうなのか、この問題についてもお話させていただこうと思っております。

ブッシュ政権が今抱えております難しい問題は、この経済のほかにイラクをどう片付けるのか、そして北朝鮮問題をどう処理するか、そしてさらには、中国という未知の大きな経済圏をどう処理したらいいか、そして、その後は、21世紀に向かって新しい世界をどうつくったらいいいかということになってまいります。ブッシュ政権の政策、

ものの考え方というのはこれまでのアメリカの政権とは基本的に違っております。三つぐらい大きな違いがあります。

一つは、これまでのアメリカの政権、1945年太平洋戦争に勝って以来のアメリカの政権は、リベラリズム、自由主義であり、インターナショナルリズム国際主義でありました。その中心になってまいったのが、ハーバード大学であり、そしてウォール街であり、もう一つはニューヨークタイムズでありました。今度のブッシュ政権の背景にありますのは、私がおりますハドソン研究所、そして全米商工会議所、もう一つはテキサスの石油業者と土地持ちであります。この新しいブッシュ政権の信用しておりますものは、石油であり土地の値段でありそして金であります。これまでのアメリカの政府が信用してきたものは、やはり三つございます。アメリカのドル、そしてウォール街の株、アメリカの連邦債、国債であります。そして今のブッシュ政権というのは、比喩はあまり適切ではないかと思えますけれども、日本の歴史でいうと幕府の時代が終わって、明治維新を行った政府が新しい世界に戦争をしかけながら、アメリカの価値観を確立しようとしている状況であります。このために、世界中の人は、あるいはアメリカのマスコミは、そして日本のマスコミも全く新しいものを目にしたために、批判が強くなりそしてこれまでの平和主義というものと比べると、あまりにもその荒々しさに批判が強くなっております。

もう一つの問題は、これまでの国連主義であり、環境保全政策であります。環境保全政策で言いますと、地球をきれいにしなければならない、地球にやさしくなければならない、これは基本精神として全く同じであります。このことは、1970年ベトナム戦争が起き、そして、米ソの対立から核戦争が起きるのではないかと、さらにはまた、近代技術の発展に伴う水や空気あるいは土壌の汚染というものが問題になった、その時の対応策、考えとこれは同じであります。しかしながら、違っている部分は何だというと、70年代、80年代、90年代の世界の論状というのは、先進国に厳しく、後進国、中国にはやさしいという政策であり



ます。しかも、その政策の基本の部分、新しい技術によって世界を全て変えようということではなくて、これまでの地球を汚くした、あるいは空気を汚した、こういった政策を変えようという動きであります。そのために京都会議では、中国を対象の外にいたしますとともに、国連が中心となってアフリカや後進国の地球を汚す問題については、ほとんど目をつぶってきたわけであります。しかしながら、ブッシュ政権、ハドソン研究所、そして全米商工会議所の考えております環境保全というのは、技術の力によって世界をきれいにしようという、全くこれまでのアメリカの政府とは違った考え方があります。象徴的に申し上げますと、21世紀は核融合の時代になるという考え方があります。しかも、世界を考えていくうえで中国だけを特殊な扱いはできない、しかも、中国の経済が大きくなるとともに、中国が環境汚染の元凶であるという考え方でもあります。

それともう一つ大事なことがございます。つまり、世界の人口が増え続けている結果、この人口が増えることによって、世界のテロリストの活動あるいは利権の活動が激しくなってくるという懸念、つまり今の21世紀の新しい状況は、60億という世界の人々が土地を争ってテロを起こし、そして混乱を起こすことによって地球の環境が悪くなるというはっきりした考え方があります。これは、ドイツのシュミット前首相が、全く考え方を同じにしております。つまり今世紀に入って世界の人口は30億から60億に増えました。しかも、その結果、世界の人々が一人当たり自由に使える土地というものが、今世紀の初頭と比べますと、一人当たりわずか40%に減ったといえます。さ

らに、この状況が続きますと今世紀の末には100億に近くなるわけでありまして、人間一人一人使える土地の量は、現在の25%に減ると予想されております。こういったことは、東京に住んでおり東京の下町に住んでいると、毎日感じることでありますが、この広大な北海道に住んでいらっしゃる皆さん方はあまり痛烈に考えていらっしゃるのではないかと思うんです。ついこの間、私は北海道へやっ来てまいりまして、アメリカのマスコミの連中と釧路へ行っ来てまいりました。その時にJRの友達に進められて札幌から汽車でまいりましたけれども、あの釧路へ行く汽車の通る風景というのはまさにアメリカの風景であり、アメリカよりもきれいに整備された自然でありました。これは、皆様方がこのロータリーあるいは他の組織の方々も力を入れている自然緑化とか、あるいは環境保全というのが実を結んでいる結果であろうと感じた次第ですけども、しかしながら、世界全体で見てまいりますとそうはいかないわけでありまして、つまり一世紀の間に人口が倍になり、さらに今後の一世紀の間に倍近くになってまいります。一人一人の土地の所有量はそれに比例して急速に減るわけでございます。今中東でテロ事件が、あるいは世界のテロ事件が起きている最大の原因は、一人一人の土地の持分が減ってくることから起きているというのがブッシュ政権の考え方であり、ドイツのシュミット前首相の考え方でもあります。この考え方にリベラルの人々、左よりの人々は必ずしも同意をしております。それは世界は地球のものだという、世界は世界の人々のものだ、皆のものだ、皆仲良くいっしょに使えばいいんじゃないかという建前を振り回しているからであります。しかしながら現実には土地は人々の資産であり個人の持ち物であります。その利益の衝突が集約的にはあのPLOとそしてイスラエルの戦争になって中東で毎日続いているわけです。そういった闘争を世界に繰り広げる、その危険を避けるために何をしなければならぬかというのが新しいブッシュ政権の考え方があります。

これに対してヨーロッパの人々は何を考えているかという、ヨーロッパの人は、今ヨーロッパ

のことだけしか考えておりません。ヨーロッパでは、人口が減りつつあります。増えているのは移民だけであります。今度私はシュミット前首相と話をするためにヨーロッパに行つてまいりましたけど、ヨーロッパ、ドイツの人々は今や冷戦が終わって、まさに日本の1945年太平洋戦争が終わった時と同じように平和を謳歌しております。私がシュミット前首相にインタビューした時にシュローダー、日本ではシュレーダーと言っているようですが、本人は私の名前はシュローダーと言っておりました。シュローダー首相がやってまいりまして、朝の10時頃から秋のお祭りということで酒を飲むことになったんですが、1リッターの大きいジョッキで一杯二杯と飲んでいくうちに酔っ払うわけです。私もちょっと皮肉が言いたくなりまして、ドイツの首相はいいですねと、アメリカの大統領は核爆弾のフットボールを持っているので、いつでも今でも核爆弾のボタンを手にかけているので、酒に酔っ払うなどということは絶対にできないんでしょうねと、こういう話をしましたら、シュローダー首相は「うんそうなんだよ。我々も1980年代まではお酒を飲んでも安心して飲めなかった」、「麦畑の向こうからあのロシアのタンクが攻めこんできたり、あつと気がつくどロシアからミサイルが飛んできて空襲警報が鳴り響いて気がついたときには、瓦礫の山の中に入っているのではないかと思うと酒を飲めなかった」、しかし、「今やロシアは壊滅し、そして世界は平和になったんだから我々はこうやって秋のお祭りを楽しむことができる」と、こう言っておりました。まさにこれが今のヨーロッパの人々の考え方でありませぬ。

この考え方に基づいてヨーロッパの人々は、ブッシュ政権を批判し、そしてブッシュ政権の戦争政策に反対をしています。このことは日本の政治家にも日本のマスコミにも朝日新聞にも強い影響を与えておりまして、ブッシュ大統領はバカだというような話さえできてまいります。日本のマスコミも極めて単純でありまして、私の友人で多くの出版社を持っているのが私のところにやってまいりまして「日高さん本を書いてくれ」、「何ていう

本だ」と言ったら、「ブッシュは本当はバカでないという本を書いてくれ」、とこういうふうに言ったんですが、お前のほうがバカじゃないかと言って書くのをやめましたけども、このブッシュ大統領の評価というのは、今申し上げましたように、環境保全にしてもあるいは平和にしても日本では21世紀は平和の時代と言いましたけども、これは日本国内だけのことでありまして、世界は人間



が増えすぎ、そして新しい技術によって公害の危険が山積している。これに対してブッシュ政権が戦う姿勢を示したことを批判しているわけでありませぬ。その批判の主体はヨーロッパでございます。ヨーロッパはまさにロシアのタンクが攻めてこなくなった。ロシアのロケットが攻めてこなくなったということで、平和主義に徹しているわけですが、そのやり方というのはまさにユーロの現状であります。ユーロというのは、ヨーロッパのほかにことは考えないという思想に基づいてつくられました。ヨーロッパの人たちだけが信用する通貨をつくらうとヨーロッパだけを守る軍隊をつくらう、ヨーロッパにだけ通用する経済の仕組みをつくらう、それはアメリカをも入れないんだと。ただ日本は物づくりの国であり、そして日本の優秀なものは役に立つから日本とは仲良くしようと、このヨーロッパの考え方は日本とは合うわけでありませぬ。

日本は1945年8月15日以降戦争をやめました。そして日本のことだけを考えてまいりました。それからほぼ半世紀、ヨーロッパの人々はソビエトの脅威にさらされてヨーロッパのことだけ考えるわけにはいかなかった。ところが今やソビエトは崩壊してヨーロッパの人々はソビエトから攻め



られるおそれはなくなったので、ヨーロッパのことだけ考えるようになったわけでありませう。それが秋のお祭りといい、首相が朝の10時から酒を飲んでいても国は安全だという状況であります。日本でもこの間、週刊誌を読んでもしたら小泉政権の某閣僚は朝から酒を飲んでいることを書いてありましたけども、ドイツでは首相も飲んでいるんですからこれは責められるべきものかどうかと、つまり日本は安全ですから大臣が酒飲んでた方がもっと安全なのではないかとドイツの首相はこう言ってるんです。

しかしながら一旦ヨーロッパの外へ出ると全く安全ではない。アフリカも中東もロシアも中国もどうなるか分からないわけでございます。これをブッシュ政権は心配をし、そして今までのクリントン政権とは違って軍事力によって安全を凶ろうと、しかも9、11以降アメリカはテロリストと戦争しているんだという基本的な考え方を持っております。で、その結果、私は日本での物の考え方とアメリカでの物の考え方が全く違ってきていると思っております。その違ってきている象徴はブッシュ大統領が再選されるかどうかという問題です。日本に帰ってまいりますと、総理大臣以下必ず私に聞きますのはブッシュ大統領は再選されるかどうかという話です。これは私だけに聞くのではなく、新聞記者にもいろんな人にも聞いている話であります。多くの方はブッシュ大統領は当選しないだろうと、危ないだろうと、人気も下がってきているし、これから一年の間にはえらいことになるのではないかという返事を期待しているようであります。しかも小泉首相をはじめ日本の閣僚は皆そういった答えを期待をして質問をしているようであります。ブッシュ大統領、ブッシュ政権は戦争政権であり、世界に害悪をならわしているという評価でなんです。

しかしながら全く違っているのは、今アメリカは9、11以降戦争をしております。アメリカの歴史は僅か2百数十年でありますけども、そして大統領選挙はこれまで56回行われただけであります。日本と比べるとまさに江戸時代につくられた新しい国家であります。しかしながら、はつき

りしていることが一つあります。それは戦争をしている時に大統領を替えたことはかつて一回もなかったということです。つまり日本でも言いますが中流で馬を乗り換えるということはないということです。今、戦争をしているアメリカはブッシュ大統領を替える気持ちは、私はないと思います。それではなぜ今のブッシュ大統領の父上であるブッシュシニアは落選したのか。これは彼が湾岸戦争を簡単にやめてしまっただけで、次の1982年の大統領選挙の際は戦争を終えていたからであります。つまり戦争を終えてしまったために御用済みになって彼は落選したわけでありませう。当時、ブッシュシニア大統領は経済問題に関心がないとよく言われましたけども、1992年にはすでにアメリカ経済は回復を始めておりました。クリントン大統領が、アメリカ経済を回復したのは自分たちが80年代の大景気をつくったと言われております。これも間違っておりますけども、最も多くの方が間違っている問題は、前のブッシュ大統領は戦争を簡単にやめてしまったために落選をしたわけでありませう。今度のブッシュ大統領は来年の11月までに戦争をやめることは不可能であります。戦争の真っ最中に選挙を迎えることとなります。この戦争に当たってアメリカの国民が期待していることは、これはたった一つであります。戦争に勝つこと、あるいは指導者の意志であります。アメリカの人々が大事にしておりますのは指導者の意志なんです。会社の社長の意志なんです。知事の意志であり大統領の意志なんです。ブッシュ大統領が戦うという意志を捨てない限り、ブッシュ大統領は当選するでありませう。ただ、その選挙はあの2000年の選挙と同じようになると





思います。日本と同じように世の中の意見が安定してまいりました日本でも自民党支持の人あるいは無党派の人民民主党支持の人選挙の前から決まっています選挙が行われて終わってもあまり変わらないと言われますが、アメリカでも同じであります。アメリカの場合はもっともっとその数がはつきりしております、ついこの間のフロリダの選挙と全く同じようなことが今度の選挙でも起きてくると思います。つまりブッシュ大統領の支持率は50.00001%くらい、これに対する民主党の候補は多分バーモントという東北部の小さな州、州の住民集めても100万人にも満たない、まあ北海道が500~600万人くらいだと思うんですが、その20%にも満たない州のハワード・ディーン議員が多分民主党の候補になると思います。しかし、この人は49.99992%くらいで落選するというのが私どもの読みであります。つまりその差は0.00001くらいですから文句のつけようによってはいかにも文句をつけられる、しかもニューヨークタイムズなどの大新聞は全て民主党の味方あります。そしてテレビのネットワークはウォール街の親戚だということもできます、早い話がNBCという大きなネットワークはGEの子会社であります。

こういったアメリカの現状を見てまいりますと、私はアメリカ国民は、ブッシュ大統領が戦争を続けるという意志を強固に持つ限り再選をしようと思っております。再選をしたブッシュ政権は今の政策を続けていこうと思うんです。閣僚は少しは変わるはずであります。まず第一にブッシュ大統領と仲の悪いパウエル国務長官は多分クビになるだろうと思います。ライス大統領補佐官が後任でしょう。ラムズフェルド国防長官は残るかどうかがギリギリのところだと思います。アンドリュー・カード主席補佐官、彼も多分残るであろうと思っております。国務長官はだれになるのか、あるいは今国務省の最もタカ派でありますジョン・ボルトン国務次官がなる可能性も強いと思います。ところがこういった人は全部ハドソン研究所の研究者でありまして物の考え方がこれまでの政権と比べると、全く右よりアメリカ中心

主義であります。又、科学主義であります。科学が全てを決めるという考え方の人々です。科学が中心ということは環境保全でいくと、例えばエネルギーは高いものについても核融合にしようとしています。風力にしても太陽熱などは、世界のエネルギーの中核にはなり得ないと思います。又、国に対する特殊な扱いをやめようという人々あるいはヨーロッパはもう小さくなる国であるからヨーロッパは仲間にしなさい、国連はアフリカによって占領されたと思っています。アフリカはいつたはどうする、もちろん京都會議ではアフリカという地域は環境保全の努力の対象にはなっておりません。先進国が守らなければならない地域になっております。これが京都會議の基本でございました。クリントン政権は基本的には賛成いたしましたけれどもアメリカの議会は賛成をしなかった。アメリカの議会は当時から中国を対象にするべきであり、アフリカの国々も将来に向けて努力をすべきであると考えました。新しい環境保全に必要なのは全く新しい技術の開発である。そのためにお金を使わなければならない。お金を使うのは企業である。税金ではなくて企業である。という考え、その企業がお金を出すそのためには減税に力をいれなければならないという考えです。ここはこれまでのクリントン政権あるいは日本政府、国連と全く考え方が違うんです。まあ結果は先のことですから当然のことながら分かりません。どちらがいいのかはそれは100年たった後しか分からない話だろうと思うんです。国連が中心になり中国だとかアフリカは除外して先進国の努力をすべきだという考え方、そしてその努力は国が背負うべきもので税金を沢山とって税金によって環境を保全すべきだという考え方、これが今までの考え方です。しかしながら皆様方がやってらっしゃること、ロータリークラブあるいはライオンズクラブがやっていることは、これはまさにアメリカの考え方、自分たちのお金で世界を良くしよう、世界を安全にしようという考え方です。この組織が活躍するためには税金を減らさなければならない。政府がやるよりも民間が自分で判断してやることの方が世界にとってはいい、経済にとっても



いいという考え方。これが今のブッシュ政権の考え方であります。このブッシュ政権の考え方によってアメリカは私はデフレの危機を乗り越えて新しい経済拡大の時代に入ったんだろうと見ております。また最初にこのアメリカの経済の話を引き続いてさせていただこうと思います

これまでアメリカ政府が最も心配していましたのはドルの問題であります。ドルの信用を高めるためにはインフレを起こしてはならない。つまりアメリカの連邦債を刷り過ぎてはならない。そしてアメリカ政府としては金利を下げてはならない。金利を下げれば世界の人々がドルをあるいはアメリカの債券を買ってくれない。これがクリントン政権の考え方です。しかしながらクリントン政権の考え方は全く違っています。アメリカがお札を刷りまくる、そして金利を下げ市中銀行に対するアメリカの中央銀行の貸付けを緩やかにすれば経済が大きくなって世界が良くなる。しかしながらアメリカは、民主党クリントン政権は新しい政策を見つけることができなかつたわけです。それは政府の背後にあるのがこれまでと同じニューヨークタイムズであり、ハーバード大学であり、そしてウォール街であったからであります。この情勢を一変させたのは先程いいましたように石油業者であり、土地持ちであり、金本位制論者を背景にするブッシュ政権なんです。今の日本政府の経済活性化のやり方というのはお札を刷らない金利を下げる。そして貸し渋りをする。これはデフレ政策であるのは間違いがないところではあります。アメリカ政府もドルを守るために一種のデフレ政策をとったわけであります。日本も結局、日本の経済をつぶさないために世界の人々の信用を守るために得るためにデフレ政策をとったんです。世界は日本経済がデフレになりアメリカ経済がデフレということで21世紀はデフレの時代になるのではないかと心配をされました。経済を主体に物を考え、経済を主軸にして今の状況を立て直すとなるとデフレになる以外にないわけです。不良債権の処理あるいはつぶれそうな会社の処理、あるいは人々の通貨に対する信頼、日本政府に対する信頼を高めようとする。これは引き締めしか

ないんです。昔から個人や企業がつぶれそうになると支出を減らして健全財政にして人々の信用を得てそしてそれから拡大しようとする。そのために経済活動全般が減ってくるのは当然であります。ところがブッシュ政権は全く違ったやり方をいたしました。



5月13日にブッシュ大統領が全米商工会議所に朝7時30分にやってまいりました。ホワイトハウスから道を隔てて歩いてやってまいりました。これは全米商工会議所のトムドナヒーがブッシュ大統領と友達であり、選挙の総責任者であったということも非常に多くの関係を持っておりますけれども、ブッシュ大統領はもともとは自分が中小企業ですから、中小企業が国の中心であるという考え方を持っております。全米商工会議所というのは日本と違って沢山あるわけではなくて、一つしか商工会議所がないんです。しかもその主力になっておりますのは健全な300万の中企業であります。ここへブッシュ大統領は時々来るんですが、5月13日にやってまいりまして即席の演説をいたしました。その演説の内容は一般には明らかになっておりませんが彼はこう言いました。アメリカの信用を高めるためにやらなければならない経済的な問題というのは、これは経済を緊縮して企業やあるいは銀行がつぶれないようにすることではない。しかしながらアメリカ人はまず第一に働くことがそんなに好きでない、貯金が大嫌いだ、作ったより沢山物を使う。いくら大統領が命令しても頼んでもそんな性格は変わりようがないこと。従って自分はそういうことを国民に頼むのはやめたんだと。その代わりに考えてみるにアメリカ人が最も得意とすることは戦争であると。



ここで自分はこれから戦争をやって戦争に勝って世界の人の信用を増してアメリカ経済を世界の人に受け入れてもらう。こんなことマスコミ相手に言ったら大騒ぎになるんです。中小企業の社長さん相手ですから大喝采を浴びました。ともかくアメリカ経済に勝ってその結果、世界の人は世界の金持ちはやっぱりドルしか信用ならないという結論になってドルを買い始めたわけでありまして。イラクの戦争に勝って、その結果ドルに対する信用が高まった。従ってブッシュ政権は国債をどんどん刷り始めたんです。そして金利をどんどん下げ始めたんです。そして貸し渋りをやめたんです。とたんにアメリカの景気が良くなったんです。確かに6月以降はアメリカの景気はよくなりました。株も上がりました。で、このことはまさにアメリカがイラクの戦争に勝ったと世界の金持ちが評価した結果です。そして7月15日、アメリカの日銀総裁にあたるグリーンズパン連銀議長がこう言いました。これまでの金融政策はもうやめた。インフレは心配しない。どんどんお札を刷っても世界中の人がお金を買ってくれる。ドルを買ってくれる。世界の金持ちは日本だけでないんです。ヒマラヤの奥地にいたりシベリアの奥地にいます。そういう金持ちは日本人のように物作って金を貯めるのではなくて麻薬を売ったり、女の人を売ったりする非常に悪い人たちでありますがお金はお金なんです。アメリカはインフレを恐れなくなりました。つまりお札刷ってもそれを世界の人を買ってくれるわけですから。土地の値段が上がっても世界中の人がアメリカにやってくるから土地の値段が上がればいい。石油の値段が上がればこれは経済が大きくなる。アメリカのデフレが終わったんです。アメリカのデフレが終わって世界の国々はアメリカに輸出をできるようになる。そしてアメリカのドルを使ってさらに投資できるようになったわけです。日本経済もその結果動きだしたんです。これはまだ初めの段階なんです。日本の新聞もアメリカは失業率が依然として高い、仕事がない。これは本当の回答ではないと言っておりますが当たり前なんですね。景気が良くなって設備投資が増えてその結果仕事が増える

んです。仕事が増えれば消費が増え、さらに経済を拡大するんです。要するにアメリカはイラクの戦争に勝ったことによりドルの信用を増し、これからインフレ政策によって設備投資が増え消費がさらに増えてくる。大きな一つの循環が始まったわけです。

それともう一つは来年11月の大統領選挙です。ブッシュ大統領は歴史始まって以来の公共投資をしております。戦争です。そしてもう一つ。日本ではあまり注意されてませんが、彼はほぼ日本円にして50兆円の道路建設予算を計上してるんです。日本には道路を作る奴は悪い奴だといひながらアメリカの道路のこれから20%は毎年新しい道路をつくるんです。公共投資によってアメリカ経済はこれから大きくなります。大きくなるとまた仕事が増えて消費が増えてそしてドルの信用が増える。私は選挙が終わっても景気は拡大していくと思うんです。あまり時間がなくなってきましたが、この新しい経済のサイクルに対して問題が起きてくるのは大統領選挙と戦争であります。大統領選挙は多くの人が考えているようなものではなくてアメリカは戦争をしています。アメリカの人は兵隊が死ぬということをあまり心配していないんですね。これは太平洋戦争もそうなんです。日本は国が貧しいために損害がでていることを、死者がでていることを指導者は大変怖がるんです。そのためにパールハーバー攻めて行ってすぐに逃げて帰ってきちゃったんですね。アメリカは自分の所の被害がでても敵をやっつけたいという考えですから、兵隊が死ぬということを日本ほど心配してないんです。日本の新聞報道ほど心配してないんです。しかも、イラクの戦争が始まって以来、今までに戦死した人は大体300人を超えました。これは大変なことなんです。毎日一人二人死んでますから。しかしながら、中東で最も大きなテロというのは、レーガン時代1983年10月15日ベイルートで2台のトラックにダイナマイト500トン積んで、テロがアメリカ海兵隊の基地に突入したんです。この時1日でアメリカ海兵隊員が280人死んだんです。280人。したがって一日で280人殺害するテロを相手に、

6ヶ月の戦争で300人死んでもアメリカの国民はもっと戦争をやれと大統領を替えないと言うわけです。大統領を替えないと、この大統領は日本では戦争、戦争大統領と言われてますけども、私はルーズベルト大統領以来、公共投資大統領です。しかもルーズベルトと違っているところは、金持ちの減税をする大統領であります。レーガン大統領もそうなんですが、共和党の大統領は金持ちに減税すれば今のお金を使う。貧乏人に減税すると貯金するだけで役に立たない。役人にお金をやると減らしてしまう。こういう考えの人です。私はこれからアメリカ経済は良くなる。選挙で公共投資が増えるときさらに仕事が増える。普通は大統領選挙が終わると経済がまずくなるんですけども、私はそんなことはないと思います。

あと残りは戦争なんですね。イラクの戦争後、朝鮮です。朝鮮戦争は、私は今のところは戦争は爆撃があるかもしれませんが、戦争はないと思います。ないと思うのは、アメリカ政府と中国の政府が話をした時に、アメリカが中国を非難したんです。北朝鮮が核兵器を作ったのは君らの責任だと、君らがちゃんとしないから金正日が核兵器を作ったんだと、我々はちゃんと仕事をして日本に核兵器を作らせなかった、君らは何をやっているんだと、こう言ったら中国の外相だかNo.2がそんなこと言うなら一週間時間を下さいと。金正日を殺しますと言ったんですな。一週間です。もうお気づきの方もいると思いますが、その後アメリカ政府はのんびりしちゃいました。中国が殺してくれると思うから。中国のほうはそうは言ってもそう簡単に殺してしまえば、アメリカに嫌がらせをする手段がなくなりますから、やっぱり先延ばしにしているんです。私は2006年くらいに金正日を殺すんじゃないかと思っております。2004年のアメリカ大統領選挙です。2005年になって新しい政権ができて動き出すのが2006年ですから、金正日を殺せば北朝鮮国内がもめます。あるいは小競り合いが起きる。それに対応するのが2006年です。中国からいうと2008年オリンピックですから、2006年くらいに殺しておかないとオリンピックができないという困った問題が

起きるわけです。したがって私は朝鮮の問題は今考えられていることにならないのではないかと思います。イラクはやはり20年くらいかかりますね。アメリカ軍はイラクに駐留すると思うんです。いまだにアメリカ軍は日本に駐留しているんですから、50年経っても。イラクに20年、30年というのはこれは当たり前だと思うんです。その結果アメリカは他では戦争できませんよ。イラクに兵隊をいっぱい置いておくわけですから。イラクに兵隊を置いておけばイランと戦争することも必要ない。シリアと戦争することも必要ないんです。したがってイラクの戦争というのも朝日新聞が心配しているようなことにはならんだろうと思うんです。

最後どうするかということ中国の話なんです、中国の今の胡錦濤政権というのはあれは経済内閣ですね。ハーバードのビジネススクールが大変ほめておりますけども彼らがたった一つできないことは戦争なんです。したがって台湾海峡で戦争するなどということは多分できない。一説によるとアメリカと話がついているということもあるんですね。ということは100年くらいたったら香港形式で台湾と併合すると、それまでは戦争しない。これは噂ですけども少なくともそういう話ができてきている。台湾海峡では当分戦争がないということです。このことは小泉さんにとってもいいことでありますし、日本の財界にとってもいいことであります。韓国にとってもあるいは中国にとってもいいことなんですね。ただ問題なのは金正日が俺だけ殺されるんじゃないやだからといって何をやるかわからない。中国もまだ軍人がいるわけですから、アメリカの言うことばかり聞いていたら、ということが起きる可能性があるんです。日本はどうなるか予測が不可能です。日本場合はやはり円高が強すぎるということがいろいろと問題が出てくると思うんです。この円高を処理する強力な政治力、軍事力を含めて日本では悪いことばかりだと思うんです。円高になればやはり石油が安くなりますし食料も安くなります。北海道は食料が安くなると困る。ただ基本的には通貨が強くなるというのは資産が上がるという。資産が大き

なる。しかも生活水準も上がることなんです。これを貿易を含めて経済的にうまくやっていけるかどうかは政治力なんです。ソニーの社長、トヨタの社長もできない。総理大臣、大蔵大臣しかできないんです。日本で今構造改革だとか言ってますけども、もっと大事なのはやはり通貨をどうするか。この問題を解決すればアメリカの経済が大きくなると私申し上げましたけどもそれに並行して日本の経済は必ず来年以降良くなると思うんです。長い間御静聴ありがとうございました。

## 謝 辞

ガバナー

佐藤 秀雄

日高先生本当に大変おもしろいお話ありがとうございました。アメリカ経済は底堅いと金正日は2005年まで生かしておけということでございまして本当にありがとうございました。





## RI 会長代理所感



RI 会長代理

川尻 政輝

今年度の第2510地区の地区大会が多くの皆さんの工夫と努力で、素晴らしい結果を上げられましたことを心からお祝い申し上げます。

皆さん方には、この地区大会で、また新たな出会いが出来たことと思いますし、そして奉仕することがいかにロータリアンにとって意義があることかということ、学んで頂いたと思います。

ロータリーは新しい出会いと奉仕する機会に挑戦することがある限り、21世紀の我々のロータリーは発展をすると、私は確信をしております。

どうか皆さん方は、各クラブにおいても、地区においても、ロータリーのこの素晴らしい理念と、そして我々の先輩が100年築いてこられた、世界的なこのロータリーの実績を高く評価して、若い世代へ言い伝えて頂きたいと思っております。

この新しい、素晴らしい出会いを地区大会に、私に与えて頂きましたRI 会長と佐藤ガバナーと、本日出席の皆さん方に、心から感謝を申し上げます。

皆さん方のこの地区大会は、私は先ほどのガバナー補佐のそれぞれの報告をお伺いした限り、お

そらく今後あまり心配する問題はないのではないかと思っただけであります。

益々皆さん方のこの地区と、それから各クラブとそしてロータリアンの一人々のご発展をお祈りしまして、時間が足りなくなりましたけれども、お祝いを申し上げます。

そして、先ほども説明で残しましたのを、もう一度皆さん方が各クラブに帰り、皆さん方のそれぞれのクラブが独立性と自主性を持って、運営されるに当たって考えて貰いたいことを箇条的に申し上げてお願いをしておきます。1番目は職業分類を基本とする。一業種一会員の原則は、今後我々のロータリーの中でどういう風に発展し、どういう風になって行くかと言うことをもう一度検討して頂きたいと思っております。2番目は昨日、今日と二日間に亘るこの地区大会で、色々な問題が提起されましたが、例会に出席の今日的な意義をもう一度再検討して頂きたい。それから、私が今、取り組んでおります3番目の問題になりますが、例会開催の頻度はどうしたらいいんだろうか、例会をロータリークラブは一週間に一回開くという

ことが、我々ロータリークラブの基本的に変えてはならない原則なのか、そうじゃなくて親睦と奉仕をより効果的に進めるための手段に過ぎないのか、と言うことも併せて検討して頂きたいと思っております。

それから昨今の、日本の経済状態において、やはりクラブを運営していく、地区を運営して発展させるには、会員の経済的な負担をどうすれば軽減でき、素晴らしいロータリー運営ができるかということも併せて検討をして頂きたいと思っております。

その他、若干IT社会の発展に伴って、色々な問題がロータリーの中にも山積してきますので、これらも含めて皆さん方が、来年のまた地区大会で発展的な問題提起をされれば、皆さん方のこの第2510地区の発展は素晴らしく、日本のリーダーたる地区として、私は歴史を築いて行けるだろうと思っております。

私はやはりRI会長代理として指名をされました時に、昨日も申し上げましたけれども、その責任の重大さに押しつぶれられそうな気持ちになって、一度はご辞退をしたわけですが、皆さんとこうしてお会いしてみて、ああ、やはり会長代理を引き受けて、この佐藤ガバナーとお会い出来たことが、私のロータリーライフにおいても、非常に貴重な宝となりましたことにお礼を申し上げまして所感に代えさせて頂きたいと思っております。

本当に皆さんありがとうございました。

## お礼の言葉



ガバナー

佐藤 秀雄

RI会長代理川尻ご夫妻には本当に、23日から千歳に入って頂きまして、色々なご指導を頂きました。

皆さんのプログラムにありますように、2004年度から、RI研修リーダーでもございます。

私どもがアナハイムに行った時に、徹底的にしごかれるのが、ここにおられる先生でございまして、この先生もまた、我々が行く10日前に徹底的にしごかれて来る訳でございまして、皆さんも川尻RI会長代理のお話を良く聞かれたと思いますが、非常に心温まる言葉で解説をして頂いて、ロータリーとは何か？を、この二日間徹底的にご指導を受けました。

こんなことを皆さんのクラブへ帰って、色々反芻しながら、今年度の会の運営に役立てて頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。



## 閉会の言葉



大会運営副委員長

村上正治

これをもちまして本年度の地区大会の全てを終了致します。

皆様方には、昨日の会長・幹事会に始まり、そして本日の大会と、非常に長時間に亘りまして、しかも熱心に、この会の進行にご協力頂きましたことに、厚くお礼申し上げます。

それでは来年まで皆様ご健康で、そして来年の年次大会にお会い出来ますことをご期待しながら、閉会の言葉に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。



# 記念懇親会

## 開会の言葉



### 大会実行委員長

#### 浅利 作 造

皆様、先ほどの大会に引き続きまして、この会場溢れんばかりの大勢の皆様にお集まりいただきましてありがとうございます。

どうかこれからは時間の許す限りごゆっくりとご歓談、お召し上がりいただければ幸いです。

また、この会場には先ほどご講演いただきました日高先生もお見えになっておりますので、ぜひ交流していただきますようよろしくお願いいたします。

## ガバナー挨拶



### ガバナー

#### 佐藤 秀 雄

皆さん、ガバナーの佐藤でございます。昨日の会長・幹事会から先ほどまで本当に長時間に亘りお疲れさまでした。ようやく緊張がほぐれまして、今ビールを一杯飲んだところであります。今大会は、RI会長代理の川尻様ご夫妻の多大なるご支援をいただき成功裡に終わることができました。

おそらく本日の表彰につきましては、諮問委員会でお叱りを受けるかも知れませんが、簡略化しすぎるのではないかというご意見もあると思います。しかし、どうしてもこのような形で行わなければ消化できなかったということもご理解いただき、ロータリーの友情に免じてお許しをいただきたいと思っております。私もガバナーは初めてでございますが、川尻様ご夫妻のご指導によって、本当に印象に残る大会でありました。生涯忘れることのできない大会であったと心に決めております。そして多くの皆様方が本大会にご参加をいただきました。心からお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

## 乾 杯



### バスト・ガバナー 富原 薫

札幌ロータリークラブの富原でございます。こうやってここに立って今思いますことは、最近の年寄りを大事にしないという、小泉さんが中曽根さん、宮沢さんの首を切るというように、老兵は去れというようなことを問題にしておりますが、それはそれで経緯については申し上げませんが、ロータリーというのは大変いいところだなということを、昨日、今日の2日間で作づくと感じさせていただきました。

ロータリーというのはいいところだな、いい会だなと思いつつこの2日間を非常に楽しませていただきました。そして大会は大変親しく、やさしく、そしてみんなの心に触れた本当に実りある大会になったのではないかと、しみじみと感じさせていただきました。このように、1,000人以上の大勢の仲間が一同に会して友達になる、そして今、佐藤ガバナーをはじめ関係者の皆さんは、おそらくほっとした気持ちで今日のお酒は最近にない一番うまい酒になるのではないかと思います。心からご苦労さんでしたということに関係者の皆様に申し上げます。

そして先程の会でもありましたが、こうして中小都市で開く大会がこのように成功裡に終了できたことで、典型的な見本を見せていただいたような気がいたします。そして講評あるいは現況報告やご指導など、RI会長代理ご夫妻にご登場いただいて、このように立派なロータリーの原点に触れたお話をされておられました。これらにつきましては、大変勉強になったとともに、これからロータリーの原点について、皆一緒になって考えなければならぬと、しみじみと考えさせられました。これからもロータリーはますます原点を忘れないで、いいロータリーが100年も200年も永遠に続くことを心から祈念いたします。

## 閉会の言葉



千歳セントラルロータリークラブ会長  
大野 馮

大変和やかなうちに終わりを迎えようとしております。

大勢の皆さん方のご支援の中でこの地区大会も何とか無事に終了させていただくことができました。まことにありがとうございました。

来年は登別の地でまた皆さん元気で再会することを祈念いたしましてこの会をお開きといたします。ありがとうございました。



# 記念ゴルフ大会

10月23日（木）に千歳セントラルロータリークラブのホスト（実行委員長：大屋建一氏）のもとで、シャムロックゴルフクラブに於いて、記念ゴルフ大会が開催されました。早朝の激しい雨に、開催が懸念されましたが、午前中にはすっかり晴れ渡った空のもと、楽しく競技が行われました。

## 成績発表

順位	氏名	クラブ名	スコア				
			OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優勝	渡辺寿一	芦別	41	38	79	10.8	68.2
準優勝	見田義之	札幌	38	36	74	4.8	69.2
3位	勝井裕幸	岩見沢	37	36	73	3.6	69.4
4位	五十嵐桂一	千歳	37	37	74	3.6	70.4
5位	木村照男	千歳	46	40	86	15.6	70.4
6位	後平幸太郎	函館五稜郭	37	36	73	2.4	70.6
7位	熊本努	札幌南	42	41	83	12.0	71.0
8位	梶谷梅宏	苫小牧	36	40	76	4.8	71.2
9位	松下留雄	栗山	41	41	82	10.8	71.2
10位	大谷恵一	北広島	42	40	82	10.8	71.2
当日賞	宗方裕之	芦別	41	39	80	7.2	72.8
ガバナー賞	下村雅朝	美唄	44	47	91	15.6	75.4
ベストグロス賞	笹木学	伊達	36	36	72	—	—



# 記念囲碁大会

10月5日（日）に苫小牧北ロータリークラブのホスト（実行委員長：藤田信一氏）のもとで、地区囲碁大会が日本棋院北海道支部で開催されました。地区内15クラブの精鋭40名の参加で熱戦が繰り広げられると共に親睦と交流の輪が広がり、次期の再会（次期ホスト：登別RC）を楽しみに散会しました。



## 成績発表

### Aクラス

- 優勝 村上 淳 会員（恵庭RC）
- 準優勝 高島 英寿 会員（札幌幌南RC）
- 1位 戸井 敏夫 会員（札幌幌南RC）
- 2位 前田 恒雄 会員（札幌幌南RC）
- 3位 杉村 修 会員（深川RC）

### Bクラス

- 優勝 内田 豊 会員（札幌幌南RC）
- 準優勝 伊藤 進 会員（恵庭RC）
- 1位 藤井 章司 会員（札幌北RC）
- 2位 戸部 謙一 会員（札幌西RC）
- 3位 森川文太郎 会員（札幌北RC）





## ご来賓ご招待者ご芳名 (敬称略)

### 〈ご来賓〉

千歳市長

山口 幸太郎

### 〈ロータリーご来賓〉

RI会長代理

川尻 政輝

RI会長代理令夫人

川尻 綾子

### 〈ご招待者 (地区外)〉

第2500地区ガバナー

豊島 弘通 (旭川)

第2500地区  
ガバナー令夫人

豊島 美智子 (旭川)

第2620地区  
ガバナー令夫人

佐藤 菊香 (甲府西)

第2620地区  
ガバナー令息

佐藤 滋 (甲府西)

第2500地区  
バスター・ガバナー

道下 俊一 (浜中)

第5100地区  
アシスタント・ガバナー

伊藤 克己 (オレゴン州)

第5100地区  
アシスタント・ガバナー令夫人

伊藤 泰子 (オレゴン州)



## 参加クラブ紹介

### —第1グループ—

#### 深川RC

明朗、活発、和気あいあい、仲良しこよし、素直で市民に好かれ、負けず嫌いな平和に寄与する我等が深川クラブです。

#### 羽幌RC

当羽幌クラブは日本海オロロンラインの中間点。当地区最北端に位置し、会員47名のクラブです。昭和54年5月の創立で来年25周年を迎えます。地域に密着した奉仕活動を展開しています。

#### 妹背牛RC

昭和42年1月、深川クラブをスポンサーに誕生。現在継続する事に専念。町内人口4千余で、会員10名。目標は会員の和と組織の継続。経済の復興が待ち遠しい。

#### 小平RC

創立1949年で会員数最大25名、最小5名。現在16名、内在籍5年以上4名。12名が5年未満で出席率が悪く課題である。活動は会員親睦を重点とし、地域に密着した活動を基本としている。

#### 留萌RC

荒れ狂う波しぶき、黄金岬の落日遠くに頂く暑寒別岳。川上会長をトップに65名の会員。親しむロータリー、親しまれるロータリー。社会に世界に手を貸そうを合言葉に頑張っています。

### —第2グループ—

#### 赤平RC

スポンサークラブが岩見沢クラブで創立43周年になります。空知の真中に位置し、現在会員数36名、内女性1名、チャーターメンバー1名がおり、平均年齢59歳で活動しております。

#### 芦別RC

森と川、そして星空の美しい芦別。かつて石炭産業で繁栄したまちもいまや過疎化に悩む地域社会に対応する57名の会員はロータリーの示す目標に向かって奉仕活動に努めております。

#### 砂川RC

砂川クラブは現在55名で、昔の1学級。大型バス1台に乗り切れる程度の会員数のため、それぞれ2つ以上の委員会に所属し和気藹々かつ精力的に奉仕活動を行っております。

#### 滝川RC

緑に溢れライダーが飛ぶ中空知の交通の要衝、滝川市。健康都市・文化都市を目指す滝川クラブ。林会長はじめ40名のメンバーです。

### —第3グループ—

#### 美唄RC

美唄クラブは今年5月10日に30周年を迎え初心を忘れず、更なる40年を目指して進みます。7月3日に天皇皇后陛下北海道行幸啓、美唄市御奉迎により、明るく良い年にと信じています。

#### 江別RC

水と緑と焼き物の街にある江別クラブは、吉田会長方針「奉仕の心を企業に地域に育てよう」をテーマに明るく、楽しく、活気のあるクラブ活動を目指し実践しています。

#### 江別西RC

経費節減して、親睦を深め奉仕の精神で手を貸そう！を合言葉に、経費を節減し、近い所から相互扶助。そしてやれば出来る事を確認し、楽しみながら友情を深めています。



### 岩見沢RC

あやめとバラの咲き香る岩見沢の地に誕生して50年の岩見沢クラブです。伝統を重んじつつも新しい息吹を忘れずにと心掛けています。6月5日の式典には是非、お待ちしております。

### 岩見沢東RC

私達のクラブは小粒ですが非常にまとまりのあるクラブです。又、遊びにかけては天下一品、つわものぞろいです。そのせいか行動に移るのがものすごく早く実行力のあるクラブです。

### 栗沢RC

昭和39年創立で今年40周年の小さな町の大きなクラブです。40年地域に奉仕の理想のロータリー精神で「手を貸してきました」40年の伝統を誇りに栗沢クラブは発展しています。

### 栗山RC

国蝶オオムラサキの北限の地、自然豊かな福祉の町「栗山町」にロータリーの火を灯して34年。奉仕と友情と世界平和の理念のもとに地域の発展と自然との共生を目指し歩んでいます。

### 当別RC

1976年札幌北クラブをスポンサーに22名で創立し、昨年は道民の森での屋外IMを開催。姉妹クラブには宮城県岩出山RCがあり、友情と親睦をモットーとする温かいクラブです。

## —第4グループ—

### 札幌RC

昨年70周年を閲し、120余名の会員がロータリアンとしての繋がり（連帯）と連なり（伝統）を再確認しました。今後もロータリー活動の第一線に立ち得るよう努力を誓うものです。

### 札幌あけぼのRC

平成3年手稲山の麓で産声を上げた私共クラブも

最盛期の3分の1に人数を減らしながらも「楽しい例会。楽しく奉仕」の合言葉でこの1年間全員100%出席で頑張っています。今が一番。

### 札幌はまなすRC

創立12年目。30人中、女性5人の安定したクラブ。特に本年度は女性ガバナー補佐を送り出している。全員が石狩市のボランティア連協に登録、活動しているのも大きな特徴です。

### 札幌北RC

札幌駅前西隣りのセンチュリーロイヤル20階が例会会場。駅北口はIT関連企業が札幌バレーを形成し、地域には北大、教育大等大学が多く、若者が多いのが特徴。今後の発展乞うご期待。

### 札幌モーニングRC

札幌市内で、唯一朝に例会を行って創立15周年を迎えました。ラジオ体操から始まり、独自のクラブソングを3曲持ち、「カミネッコン植樹」等の奉仕活動を行っております。

### 札幌西RC

創立以来43年、最盛期140名余の会員数は現在80名。日出づる東には非ずと雖も、日没する西には非ず。常に陽はまた昇るの意気込みで奉仕に邁進している。

### 札幌西北RC

当クラブは1977年の創立。現在最高年齢82歳から最小年齢34歳まで会員数51名を有し、明るく楽しく出席しやすいクラブ作りを目標に友愛と奉仕の念に燃えています。

### 札幌手稲RC

1970年西区・手稲区をテリトリーに市内6番目、地区内43番目に誕生。その後1991年白石ガバナー誕生の時「札幌あけぼのクラブ」のスポンサークラブとなる。



## —第5グループ—

### 札幌東RC

今年度は45周年記念行事を区切りとして予定しております。又、ロータリーの原点に還り、会員相互の親睦と理解がより一層深まる例会、委員会、奉仕活動に力を入れたいと思います。

### 札幌清田RC

クラブ創立6周年を迎えました。29名の会員で一致団結し、奉仕活動に取り組んで参りました。今後も「手を貸そう」の機会を探し、汗を流し、チャレンジして参ります。

### 札幌幌南RC

本年度のクラブの方針は「知り合おう」で、会員同士がお互いによく知り合う事により、クラブの活性化を図るためにインフォーマル・ミーティングを年3、4回行う計画です。

### 札幌真駒内RC

全国のロータリアン有志から寄贈された聖火台のある札幌市南区をエリアに46名全員が創立30周年の記念行事、奉仕活動に一生懸命取り組んでおります。

### 札幌南RC

「ロータリーを楽しもう」をスローガンに、会員相互の理解と協力出来る楽しいロータリーを目指したいとメンバー全員参加の楽しい事業を行う努力をしております。

### 札幌大通公園RC

会費を低額に設定し、夜間例会とする事になって、若い世代の会員が集まっています。常に全員参加型のクラブ奉仕を行い、親睦を深め、ロータリー活動の活性化に努めています。

### 札幌セントラルRC

昨年発足、会員数19名3人の元会長とパスト・ガバナーがいる。会員の知的資産で地域貢献し慈善

に偏重しない事。80歳ロータリー歴30年以上の会員は分担金のみ。例会は火曜日夜6時30分から、札幌プリンスホテル。

### 新札幌RC

社会奉仕として使用済み割り箸回収リサイクル活動に力を入れている少数精鋭のクラブです。平成16年6月19日（土）に創立20周年記念式典をとり行います。

## —第6グループ—

### 岩内RC

対岸に泊原発を望み3号機増設の準備が進む中、日本一栄養に富む海洋深層水、日量3千トンの汲み上げが始まり明るさの見える岩内。梅庭ガバナー補佐を盛り立て頑張っております。

### 倶知安RC

ニセコのパウダースキーとスノーボードは日本一。豪雪の倶知安町第40代鈴木会長の笑顔でテーマ「ロータリーは地域から」若さ溢れる行動力で楽しい女性4名、総数57名。詳細はホームページで。

### 小樽RC

小樽クラブは昭和8年創立で本年70周年を迎えたクラブです。過去、ガバナーを4人輩出し、複数のクラブのスポンサーとなっています。例会は毎週火曜日となっています。

### 小樽南RC

1960年創立、会員数は86名。昨年度からブックスタート運動に取り組む。ロータリーの奉仕と友情の精神の基にロータリークラブは奉仕のクラブであるということを再確認し運営に努めています。

### 小樽銭函RC

小樽では一番札幌に近く、会員22名の家族的雰囲気のかじまりクラブです。例会場から石狩湾



が一望でき、毎例会の食事の献立が変わり、一度訪れると病み付きになります。

### 蘭越RC

会員数15名と少ないクラブです。ほとんどの会員が数回会長を経験しているなど少数精鋭のクラブですが、今年は新会員を2名増やす事に全会員一同頑張っています。

### 余市RC

当クラブは今年で創立43年を迎えました。昨今の逆風下の中で限られた時間と資金を有効に使い、未来を担う青少年の育成プログラムに力を入れて活動を展開しております。

## —第7グループ—

### 千歳RC

千歳クラブは国立公園支笏湖に囲まれた美しい水と緑の街。千歳市民は平均年齢37歳の若い街。新千歳空港を擁する世界に開かれた国際都市づくりに夢を追うクラブです。

### 千歳セントラルRC

米山記念館への奉仕活動はクラブ創立以来の継続事業として全国的にも有名です。会員数31名と少ないクラブですが、若さと行動力そして団結力が我クラブのモットーです。

### 恵庭RC

緑豊かな花と水の街。小・中・高校生を対象に地域に密着して、会員一人一人が自覚をもって、常に活発に事業に対する成果と自負している青少年活動の恵庭クラブです。

### 北広島RC

気候、自然に恵まれた北広島クラブは現在18名の少数精鋭かつ家族旅行を行うなど和気藹々のクラブです。例会は北広島プリンスホテルと絶景、好環境にあり、是非メイクアップにどうぞ。

### 長沼RC

会員一人ひとりが素晴らしい18名の長沼クラブです。地域のニーズを素早くキャッチ、今年もまた奉仕活動に燃えています。6月はどうぞ長沼国際交流フェスティバルへ！

### 由仁RC

今現在クラブとしての問題点は会員の不足等をいかにして増員を計るかを課題としています。

## —第8グループ—

### えりもRC

創立が昭和47年9月8日、認証が昭和47年10月7日です。テリトリーは幌泉郡えりも町。スポンサークラブは様似クラブです。例会日は毎週木曜日12時15分から13時15分です。例会場は日高信金えりも支店です。

### 三石RC

創立は昭和45年。会員数18名。主な活動は①ロータリー文庫の寄贈、②少年スポーツ、文化活動の助成、③各種親睦会に合わせて施設見学と軽スポーツ、④福祉施設の植樹（含む補植）

### 様似RC

今年度より平均年齢55歳と若返ってしまいました。会員数20名と少数ながら、会長を始め元気一杯のクラブです。雨にも地震にも負けず頑張っております。

### 静内RC

小学校で使われなくなった足踏みオルガンが眠っている事を知り、これをスリランカとカンボジアの子ども達に贈るため知恵と汗を出して奉仕活動を実践しています。

### 浦河RC

昭和36年に設立し会員数42名。競走馬と漁業生産が主たる産業。地震多発地帯で有名。例会日は



火曜日。第3週は夜間例会日と定め、会員相互の親睦を深めています。

### —第9グループ—

#### 伊達RC

「北の湘南」伊達とも呼ばれる程、気候風土の良い所。親睦ゴルフ又甲子園野球大会にも数多く出場した野球同好会を通じて、会員相互の融和があるクラブです。

#### 室蘭RC

会長方針は「WE LOVE ROTARIAN. WE LOVE MURORAN」好意と友情を深め、それぞれの職業を通して公平な奉仕の行動者となるよう努力しています。

#### 室蘭東RC

我クラブは幅広い年代でのチームワークの良さが特徴です。特に各種同好会を作り、活発に例会以外でコミュニケーションを計っています。奉仕活動も活発に行っています。

#### 室蘭北RC

昨年度13名の退会者があり、39名で始まった年度ですが、小さくても自らの手で地域に根ざした目に見える奉仕を全員参加で行動するクラブです。

#### 登別RC

皆さん、こんにちは。当クラブは鬼のキャラクターで御承知の登別クラブです。会員数39名の小さなクラブですが、来年度の地区大会は登別で皆様をお待ちしております。

#### 洞爺湖RC

当クラブは今年度創立35周年を迎えます。この間2回の噴火災害を受け、その度毎に会員は激減。クラブの存続に係わる重大問題です。今、会員1人が1名の新人会員獲得に努力中です。

### —第10グループ—

#### 函館RC

函館クラブは環境と新世代問題に早くより取り組み「バードサンクチュアリー事業」、「エゾヒキガエルの保護」。又、昭和39年より始めた「函館クラブ奨学金制度」は38年間で150名の子供に支援しています。

#### 函館亀田RC

当クラブは現在会員48名ですが、まとまりが良く大変仲が良く協力的なクラブです。会員減少の傾向にある昨今、実のある奉仕活動と親睦を深めながら会員増強に努めております。

#### 森RC

秀峰駒ヶ岳。染井吉野の桜咲く公園とクリーンな地熱エネルギーのもりまち。今年度創立40周年を迎えます。

#### 七飯RC

当クラブは大沼国定公園に隣接する場所を例会場とし、夜間例会を行っております。当クラブは年に一度観月合同例会を行い、道南の10クラブを招待し親睦を図っています。

#### 長万部RC

わが町は昭和40年人口15,349人をピークに減少し半数以下。会員も3分の1の14名です。少子高齢化に対応し少年組織への助成と高齢者温泉入浴サービスへの送迎奉仕等を実施。

### —第11グループ—

#### 江差RC

江差クラブは、江差追分流れる街で、本年42年目を迎え、チャーターメンバーを中心に各奉仕活動を積極的に進めております。本年は家族参加の夜間例会を毎月1回実施しております。



### 函館五稜郭RC

第10・11グループでは函館クラブに次ぐ会員数を維持しています。特に1C委員会が活発でホームページも有効に活用されています。合唱団やゴルフ同好会によるチャリティー事業も継続中です。

### 函館東RC

当クラブは1957年創立。後数年で満50歳を迎えようとしており、最盛期には会員数100名を越える発展を遂げましたが、現在会員は62名でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 函館北RC

RIテーマ「手を貸そう」に呼応し、①YES, I DO. WE DO LEND A HAND. ②「あなたと出会えてよかった」「奉仕」と「友情」を大切にします。創立40周年を今年迎えました函館北クラブです。

### 上磯RC

創立7年目の若いクラブ。毎年地域の学生と一緒に薬物乱用防止運動や青少年交換留学事業などに力を入れており、交換留学はこれまで長期3回、短期2回のホストをしました。

### 松前RC

道内唯一の城下町の松前クラブは会員9名の小さなクラブです。結成時の精神を忘れることなく、町にロータリーの火を消さない強い心と奉仕の精神で日々の取り組みをしています。

## —第12グループ—

### 白老RC

創立25周年を迎え、ポロトの大自然に抱かれ地域に根ざした奉仕活動をテーマに会員32名一致協力し活発に活動しております。25周年記念音楽コンサートと記念植樹を行います。

### 苫小牧RC

昭和32年創立。地区大会を2度主管し、2クラブをスポンサーしました。神奈川県相模原クラブと姉妹クラブを45年に締結しました。また高校生に奨学金と植樹は42年以上継続しています。

### 苫小牧東RC

苫小牧少年少女合唱団と共に音楽を通して環境問題の意識の向上を図る取り組みは進行中です。郵便番号053にゼロゴミをかけて街を全国に向け発信しています。12月21日1,500人が集うコンサートでお会いしましょう。

### 苫小牧北RC

創立1970年1月20日、7月1日現在の会員数は50名です。友好クラブは宮城県の石巻クラブ、ニュージーランドのタラデルクラブです。1998年には伊藤長英ガバナーを輩出しました。苫小牧家庭生活カウンセリング協会(RCC)を設立し、支援しております。



## 地区大会特別参加者名簿（敬称略）

### 【ローターアクトクラブ】

#### 札幌北 RAC（札幌北）

小砂 晴資 寺下 香奈  
渡辺真由美 上野 美佳

#### 札幌幌南 RAC（札幌幌南）

蝦名 大典 森本 寿美  
中山 泉 黒坂 幸子

#### 千歳 RAC（千歳）

飯塚 雅樹 板垣 裕志  
入口 拓也 植松 俊博  
河尻 朋子 金住ゆかり  
齋藤 心 佐久間貴子  
椎葉 秀樹 谷口 里美  
千葉 裕文 中澤 啓  
中村 麻美 鍋島 剛  
西村 英晃 藤森 麻美  
三上 優紀 三束 拓  
森澤 文貴 吉田 真先

### 【インターアクトクラブ】

#### 札幌龍谷学園高校 IAC

（札幌モーニング）

新堀 琴美  
岡部 文佳（顧問教師）

#### 札幌山の手高校 IAC（札幌西北）

植田 一得 小田切 慎  
木村 雄介  
遠藤 未央（顧問教師）

### 【交換留学生】

#### 札幌はまなす RAC

シャーニー・モーガン  
（オーストラリア）

#### 札幌北 RAC

ティーガン・レイノルズ  
（オーストラリア）

#### 札幌西 RAC

カリタ・ディビス  
（オーストラリア）

#### 札幌手稲 RAC

ジェシカ・バルドック  
（オーストラリア）  
トーマス・エヴァン  
（アメリカ）

進藤沙也加（オーストラリア）

#### 札幌東 RAC

ミラ・ポンティ  
（オーストラリア）

ケイ・グリーン（アメリカ）

#### 函館東 RAC

スティーヴン・ガートウォルフ  
（アメリカ）

#### 上磯 RAC

ジニー・ゴメス（メキシコ）

### 【ROTEX】

#### 札幌手稲 RAC

高崎 康子（オーストラリア）

#### 札幌幌南 RAC

成田 祐子（台湾）  
大窪 健五（メキシコ）

#### 千歳 RAC

中山 千歳（オーストラリア）

#### 恵庭 RAC

鈴木 愛（オーストラリア）

#### 由仁 RAC

阿部 香織（オーストラリア）

### 【米山奨学生】

#### 札幌 RAC

王 海燕（中国）

#### 札幌あけぼの RAC

陳 貞君（マレーシア）

#### 札幌はまなす RAC

申 雪寒（中国）

#### 札幌北 RAC

李 紅梅（中国）

#### 札幌モーニング RAC

楊 春（中国）

#### 札幌西 RAC

林 永波（中国）

#### 札幌西北 RAC

梁 連文（台湾）

#### 札幌清田 RAC

譚 丹丹（中国）

#### 札幌幌南 RAC

李 英愛（韓国）

#### 札幌真駒内 RAC

邱 麗珍（台湾）

#### 札幌南 RAC

金 良俣（韓国）

#### 新札幌 RAC

張 曉華（中国）

#### 小樽 RAC

崔 春蘭（中国）

### 【米山学友】

#### 江別西 RAC

洪 奈延（韓国）

#### 札幌北 RAC

朱 琦（中国）

### 【R財団奨学生】

#### 岩見沢 RAC

任 明秀（韓国）

#### 札幌はまなす RAC

小野寺典子（ドイツ）  
竹原 佐知（オーストラリア）

#### 札幌西 RAC

本田康二郎（フランス）  
浅野 仁子（イギリス）

#### 札幌大通公園 RAC

ロレーナ・スネア（グアム）

#### 新札幌 RAC

若山 薫里（韓国）

#### 恵庭 RAC

田口 雅子（カナダ）

#### 苫小牧北 RAC

笹村久美子（ロシア）

### 【R財団学友】

#### 札幌幌南 RAC

片岡 徹（イギリス）

### 【G.S.E.】

福地 信昭 佐久間慎二  
小嶋 由美 紺野 拓美

### 【RCS C】

#### 苫小牧北 RAC

佐々木和夫 三島公美子

## 地区大会登録者名簿 (敬称略)

### ●第1グループ

#### 深川RC

荒川 敏	後藤田隆雄	伊藤 崇
北村 幸雄	児島 俊一	葛原 琢磨
松本 純枝	松本 佳巳	森 則博
村中 俊二	永井 久之	中 公一郎
成田 雅敏	大西 道祥	大西 祥太
小野 昭郎	佐々木弘有	杉村 修
高橋 慶一	棚橋 直登	寺岡 義人
渡辺 一義	山田 圭二	吉本 勲
吉澤 義彦		

#### 羽幌RC

茶谷 恵一	出口 治康	福井 俊一
舟橋 隆宏	東出 覚	本間 憲一
堀川理智子	伊原 重孝	實藤 吉信
加藤 隆一	松橋 守	成澤 卓爾
小原 克美	小川原幸紀	大石 洋一
斉藤 彰	斎藤 優	榊原 照夫
佐野 俊一	佐々木 武	忠津 章
田原 昇一	武田 秀夫	山本三次郎
吉田 健司		

#### 妹背牛RC

江幡 進	金山 泰明	真鍋 剛
斎藤 忠	佐藤 義明	渡辺 俊和

#### 小平RC

川森康次郎	森田 修	新名 秀雄
奥泉 吉栄	佐々木光雄	空橋 仁
横浜 磨		

#### 留萌RC

明澤 正樹	天谷 隆博	遠藤 光一
行徳 幸治	平井 誠治	門脇 則充
金岩 昭美	笠原 正昭	河部 勲
川上 明弘	越野 俊興	三國 要
宮川 正己	森 幹雄	森 俊二
中川 勝美	二ノ宮清信	西谷 英樹

大沼 哲郎	大嶋 孝広	齋藤 清蔵
坂井 智	佐藤 寛明	佐藤 潔
澤田 茂	関野 政人	清水 陸
春藤 良雄	鈴木 康伸	高田 潔
武井 哲	田中 公一	田中 玲子
立山 一三	対馬 健一	若林 幹夫
渡部 英次	渡邊 裕久	山本 讓二
矢野 文教	吉田 清治	

### ●第2グループ

#### 赤平RC

赤川 清介	藤永 貞治	藤田 安男
藤原 税	布施 洋一	早坂 弘幸
石野 茂	伊藤 和敏	宮川 徹
村田 武	西沢 良知	岡田 知治
大坂 晃	仙田 哲夫	田中 良一
若林 弘基	渡部 芳己	吉田 茂

#### 芦別RC

荒川 忠義	道島 尚光	古川 敏一
早坂 勝	廣嶋 武	稲津 寿一
神野 一民	北 正信	松井 良吉
森沢 勲	宗方 裕之	根井 弘
野口 英明	沼前 治孝	小畑 陽彦
坂田 憲正	桜井 祝	瀬戸 一郎
多田 康司	高島 英世	竹原 幸盛
田中 一廣	坪坂 周二	土山 久男
渡辺 哲雄	渡辺 寿一	山村 進
米田喜一郎	依本 蕃	

#### 砂川RC

千葉 清	藤田 諄	畠山 豊
堀江 和美	石家 裕二	伊藤 徳博
梶尾 幸克	神田 与吉	木村 正勝
北谷 好文	小林 公民	近藤 俊継
増井 利雄	松原 重俊	水島 孝嗣
永森 弘夫	二橋 邦征	二宮 健志
西川 悦郎	西川 博久	沖田比呂志
大山 知行	榊原二三夫	佐藤正一郎



沢田 広志	沢田 幸三	曾我 悦工	野村 厚子	野村 昌人	野村 昭松
杉本 勉	高橋 秀明	高橋 俊美	佐伯 宮彦	清水 基陽	進藤 忠明
武田 昭二	竹田 俊一	内野 司	高野喜世志	津田 政勝	山崎 一夫
上田 達	瓜 俊雄	山田 賢司	八島 壯之	吉田 欣司	
山田 信一	山下 真史	山崎 義彦			
吉川 富雄	吉野 繁夫				

## 滝川 R C

相田 正弘	深澤 和範	林 博幸
細田 光人	五十嵐達明	石黒 安雅
伊藤 広志	伊藤 和男	泉 敬止
神部 洋史	川口 義弘	今野 正一
松原 章	松橋 和博	道中 和俊
宮崎 英彰	中垣 陽一	中谷 幸司
中田 翼	野田 富夫	岡本 皓
坂本 和繁	坂田 秀昭	笹木 和幸
佐藤 圭二	佐藤 佳朗	篠島 弘
菅原剛太郎	鈴木 英也	高木 敏行
田中 幹雄	上田 英二	宇山 昌宏
和作 康市	鷲尾 昌法	渡邊 恭久
山口 清悦	山本 勝	柳 清二
柳 義文	吉田 正治	

## ●第3グループ

## 美唄 R C

坂東 浩	藤井 明	二川 秀樹
後藤 三雄	東野 碧	宝崎 錠二
鬼原 静一	北野 保孝	円子 保
三浦 武美	毛利 清徳	中込 茂
西田 照雄	荻野 秀明	大竹 繁夫
佐野 勝之	関 宏	下村 雅朝
城野 裕好	高田 義則	高橋 誠
高瀬謙二郎	武市 雄弘	山田 進
米森 正夫	吉村 誠治	

## 江別 R C

藤原 敏雄	郷 和平	原 利之
林 重樹	林 敏昭	久富 文子
星 享克	金田 敏雄	葛西 隆久
加藤 正勝	菊田 政徳	松下 勝芳
松山 敏則	最上 裕之	西 照夫

## 江別西 R C

後藤 一昭	長谷川直紀	服部 涉
石黒 良平	梶野 芳章	増山 柳
松下 文芳	大森 和子	坂本 与市
島崎 修	品川 昌典	白旗 隆夫
添田 則行	高田 寛司	土谷 茂樹
上田 芳明	上光 一博	安田 勝次

## 岩見沢 R C

阿部 修	安藤 富夫	青野 茂俊
荒木 敏博	荒岡 春雄	浅野 剛
千田 一彦	江島 俊昭	藤波 仁史
原 保昌	橋本 新治	早川 卓伸
林 秀徳	五十嵐 閣	石井 和行
鎌田 誠	勝井 裕幸	木元 久嗣
北市 宗三	小林 弘明	小坂 昭男
倉増 秀昭	倉増 昭一	前野 達志
向田 甚市	武蔵 信一	武蔵 輝彦
中塚 力	仲屋 成裕	西村 芳徳
小熊 信一	岡本 等	岡山 一
大西 敏雄	大屋 均	嵯峨 義輝
齊藤 修	佐藤 公信	佐藤 紀征
沢田 慎一	関野 孝志	仙台谷幸一
高山 富雄	竹内 守	玉田 忠
谷 勲	堤 佳彦	山本 辰勇
山根 良隆	山岡 憬	山崎 康行

## 岩見沢東 R C

荒 洋介	藤井 清一	林崎 弘吉
平井 勉	細谷 義弘	稲垣 政敏
石橋 宣利	金田 省三	金子 賢一
勝田 秀樹	松重 彰伸	長田 正文
南原 幹生	西原 宗幸	野村 頼房
小倉 和敏	坂口 堅一	坂田 知樹
関 二三子	田口 剛志	竹村 正義
滝本 妙子	田巻 敏行	津元美智代



上野 弘美	碓井 侑弥	渡辺 博人
渡辺 勝治	渡辺 劭	山田 功

富永 基	遠山 浩	内山 洋一
植田 英隆	上田 誠也	潮田 隆
渡辺 彰彦	柳川 捷夫	吉田 宏

## 栗沢RC

枝広 栄美	林 義明	本田 正一
本田 義晏	本庄 昭良	稲童丸 貢
石川 哲博	伊藤 アキ	岩田 隆
金山 英昭	河森 稔	小山 利雄
工藤 道子	宮森 俊一	中村 一二
吉永 忠邦	吉野 顕隆	

## 札幌あけぼのRC

秋野 公孝	買手 哲美	笠原 嘉郎
小林 和明	久住 博	蓑輪真智子
永田 省三	中野 裕之	西山 秀夫
染谷 重雄	砂原 雅治	鈴木 徹雄
高橋 紀幸	高坂 輝雄	安田 敦司
安澤 正美	油木 茂	

## 栗山RC

廣岡 秀博	石田 利光	梶澤 忠彦
小寺 進	久住 八郎	松原 正和
松下 留雄	中村 淑	太田ヒロ子
佐藤 清夫	篠原 武	塩見 雅英
谷田 涼一	友成 克司	利国奈美子
梅津弥須治		

## 札幌はまなすRC

愛須 一史	菊地 為次	北川 敏夫
小林 栄子	熊谷 福夫	松尾 浩之
光川 眞量	中山 正美	丹羽 肇
野村 勝隆	大石 春雄	坂田 文正
佐藤 一	佐藤 正治	高橋 裕典
高井 悌吉	玉造 啓子	戸部アナマリア
遠島 芳然		

## 当別RC

浅野 政一	千葉 一男	橋本 篁丘
河村 佳男	近藤 勝宏	前田 啓詞
松田 進	見上喜久雄	大畑 博行
小山田雄一	六角 英一	佐藤 順一
泉亭 祐司	島田 裕司	島 義慈
高谷 茂	竹田 和雄	谷本 辰美
辻 伸行	辻野 修	植島 豊司

## 札幌北RC

阿部 弘	藤井 章司	深浦 信吾
福田十太郎	灰野 篁	樋口 正明
池田 輝雄	井上 勝一	伊藤知佳子
鎌田 慎司	片岡 是充	木村 芳江
小林 博	小林 孝夫	小林 俊之
熊谷 満	森川文太郎	長太 義雄
小野 忠	小野 龍臣	大西 勲
大西 忠男	大田すみ子	佐藤 宏
佐藤 公	城木 浩一	菅原 耕治
杉下 清次	高橋 麗秋	竹原 巖
米山 道男		

## ●第4グループ

## 札幌RC

相茶 俊介	古野 重幸	浜本 剛志
平野 雅人	廣田 凱則	市川 唯行
伊藤 義郎	神崎 國勝	小林 将志
小山 司	久保田俊昭	工藤 公健
栗林 昌弘	松田 信行	松本 脩三
見田 義之	水島 顕彦	中村 一樹
中田 隆博	中山 茂	庭山 早苗
小田 和哉	荻谷 忠男	大口 雄一
大島 茂	坂本 眞一	佐々木修陽
指川 司	杉野目 浩	竹内 宏二
田中 良治	鉄井 勝之	富原 薫

## 札幌モーニングRC

赤淵由紀彦	赤倉 昌巳	朝日田雄人
藤森 敏昭	畑 俊一	樋口 俊一
平田 博史	広瀬 進	堀川 孝明
池上 公介	今村 重孝	井野 智
石川 雅啓	亀川 昌一	川村 紀幸
児玉 芳明	近藤 良一	宮澤 功行



中田 繁一	小谷 俊一	小原 敏之	藤本 栄松	福澤 勝守	堀田 昌資
大泉 清	大熊 慧教	太田 勝久	星野 恭亮	伊藤 栄一	伊藤 公一
尾崎 勲	榊山悠紀士	坂本 勝彦	伊藤 俊男	岩崎 修一	鍛冶 努
佐藤 亮蔵	関口 清	篠原 達雄	笠原 昇一	加藤 國彦	川幡 宏一
杉山 茂	鈴木 速男	田上 建夫	川原宏一郎	菊地 章	菊地 弘嗣
高木 勝正	田中 燈一	宇治 正光	木村 隆夫	小林 隆聖	小泉 純仁
梅津 征夫	吉田 義一		米谷 龍三	黒澤 昌彦	松宮 國彦

### 札幌西RC

伏木 忠了	浜松 義弘	東原 秀行	西村 孝治	西村 恒夫	小田切房之
石黒 直文	石丸修太郎	川端 忠範	大橋 康次	太田廉太郎	奥貫 一之
川畑 勝宣	川田 弘	北田 英壹	齋藤 雅之	佐々木 稔	関堂 勝幸
前原 絢子	宮越 陽一	宮崎 善昭	清水 哲	須田 幸男	鈴木 俊幸
村上 登	中村 真規	大金 武夫	平 公夫	高橋 徹	滝川 武彦
大越 克巳	佐藤 裕一	アレキサンダー・シャルフェーフ	土倉 裕之	塚原 房樹	若原 秀明
高下 泰三	田宮 哲夫	田山 耕平	矢橋潤一郎	山中 樹	山谷 隆史
戸部 謙一	対木 正文	上出 利光	山崎 俊彦	安田 經	依田 忠敏
渡辺 寿昭	矢橋 温郎		吉山 八郎		

### 札幌西北RC

秋山 秀雄	穴倉 迪彌	加藤 武久
小林 秀樹	久保 隆	前田 幸宏
馬杉 榮一	三上 直彦	森本 正夫
中嶋 成実	小川 真治	大野 義雄
大島 利一	斉藤 博義	新谷 喜信
多米 豊	谷口 二郎	富岡 公治
戸坂恵美子	渡邊 葉子	八木 忠雄
山本 耕司	山崎 晴嘉	

### 札幌清田RC

阿部 哲夫	江口 洸	遠藤 敏哉
林 光雅	堀 理人	石岡 幹雄
柏倉 慎	小島 健	小仲美智子
真鍋 昌市	三澤 龍子	三戸 和昭
宮村 素子	桃井 康夫	村本 忠
永見 貴昭	長尾 光洋	中島 永昭
中村 隆	西澤 寛俊	西園 英敏
沼舘 栞	作地 弘美	高橋 宏
高橋 宣充	玉井 清	

### 札幌手稲RC

阿部 光行	福尾俊太郎	肘井 博行
久末 満三	石田 誠	瀧沼 良三
松崎 幹	中村 和雄	丹羽 祐而
岡田幸四郎	高橋 敏雄	高崎 英仁
滝本 繁	山地 庸夫	山本 雅章
山谷紀巳夫		

### 札幌幌南RC

土橋 信男	遠藤 正之	遠藤友美恵
深田 博司	羽部 大仁	鎌田 洋
近藤 和雄	近藤 浩	熊谷 泰隆
前田 恒雄	森 正志	村上 恒明
永井卯一郎	中島 勉	佐々木雅之
高島 英寿	田中 賢一	田澤 泰明
戸井 敏夫	砺波 寿	坪池 栄一
土谷 享	角掛 晴雄	内田 豊
海野 英爾	和田 壬三	山際 廣昭
山名 善久	山下 信行	山崎 仁

## ●第5グループ

### 札幌東RC

赤泊 史昭	青木 功喜	荒岡幹史郎
朝倉 正人	坂東 宗一	千葉 峻三

柳 孝一 吉田 淳一

近藤 敦 三上 重之 望月 好明  
 中西 泰司 小野 修 佐野 文男  
 瀬川 俊男 清水 昭子 梅田 鉄夫

**札幌真駒内RC**

神谷 英光 金坂 和正 川越 仁  
 小森 吉夫 黒田 一夫 丸山 淳士  
 森谷 明弘 中山 裕視 南部 昭憲  
 小野寺鉄男 斎藤 康嗣 佐々木 敦  
 佐々木則秋 高坂 勝義 渡辺 修  
 山田 一也 山口 洋司 吉村 洋吉

**●第6グループ**

**岩内RC**

東山 洋徹 井戸 幸夫 伊藤 正敏  
 勝戸 昭二 小杉高一郎 野澤 幸平  
 小川 進 大橋 由政 斎藤 徹  
 佐藤 泰視 菅 伸之 武井 優  
 梅庭 昭寛

**札幌南RC**

青木 健次 トーキル・クリステンセン 本間 良二  
 今井 國雄 岩城 秀晴 岩城 節子  
 金井 英明 金井 重博 加藤 正雄  
 川井 一男 河森 利行 熊本 努  
 師尾 純一 武藤 繁 西川 哲也  
 太田 眞琴 斎藤 元護 佐藤源五郎  
 佐藤 伸 須田 義雄 杉目 幹雄  
 田井 秀典 平 昌夫 武部 實  
 武田利兵衛 山口 潔 吉田 壽昭

**俱知安RC**

青山由美子 旭 克久 原 実  
 細田ヤコエ 櫛引 英雄 名畑 秀樹  
 岡本 晃治 小野塚清一 柴田 洋一  
 鈴木 保昭 高橋 秀樹 滝口 直久

**札幌大通公園RC**

阿辺 勝也 荒井 吉枝 藤田 征二  
 長谷川美栄子 石田 俊平 開発由美子  
 金森 圭樹 木津 敏彦 紺野 眞  
 増子 岳人 新田 直子 小笠原 肇  
 岡 宏幸 大坂 忠 リギズ・テリー  
 佐藤 文彦 菅原 秀二 田中 利男  
 鏑原 睦男 上田ゆう子

**小樽RC**

足立 竹秀 青木眞一郎 赤尾 正彦  
 鈴谷 佳一 遠藤友紀雄 廣川 建哉  
 堀岡 秀之 石井 伸和 板垣 宏志  
 岩山 豊 上参郷眞章 金久保兵士郎  
 河辺 由清 菊地 稔 熊澤 隆樹  
 前田 法彦 松倉 弘 三山 雄弘  
 中野 豊 野口 英機 能島 正朋  
 佐藤 修 清水 雅章 杉江俊太郎  
 武井 豊 丹呉 幹彦 谷内 馨一  
 渡辺 大助 山田 雅敏 吉村 克之

**札幌セントラルRC**

羽賀 俊夫 橋本 雅夫 日色 無人  
 五十嵐成男 石垣 博美 小坂 祥司  
 町田莊一郎 丸山 知子 宮本 隆支  
 佐々木春代 芹田 馨 高田 善宏  
 田中 宏 内山 滋子 上野 了  
 若山登美子 山本 元

**小樽南RC**

阿部 誠 新井隆次郎 福島 正紘  
 浜口 貞雄 廣瀬 保男 石崎 則孝  
 板垣 明 見延庄三郎 村田 達哉  
 中川 勝彦 成瀬 桜男 小倉 洋一  
 大黒屋宏章 大竹 秀文 斎田 義孝  
 相馬 哲也 渡辺 雅敏 山谷 隆平  
 山崎 忠顯

**新札幌RC**

原口 伸一 五十嵐 勤 井原 敏男  
 石田 茂夫 石黒 光男 伊藤 豊

**小樽銭函RC**

阿部 益一 安齊 博 江刺家俊輔

藤川 正二	藤中 博文	藤田 政昭	大滝 和子	大谷 博章	大谷 恵一
石岡 信之	片見 怜子	河崎 義章	斎藤 洌	瀬川 五水	鈴木 政夫
松本 光世	長尾 繁範	多田 武夫	竹内 實	津田 利夫	

**蘭越RC**

本間 義明	堀川強太郎	伊瀬 政治
金子 一憲	新見 健	佐藤 義久
志比川 武	白石 勇	山岡 信幸

**余市RC**

荒木麻美子	荒木志津子	本多 宏行
嘉屋 達雄	木村 信一	近藤 徹哉
目黒 幸隆	森 義彦	毛利 吉宏
西田 雅之	高橋 哲雄	谷川 淑郎
山田 昭恵	山本 繁樹	安田 亘
吉原 伸		

**●第7グループ**

**恵庭RC**

会津 宣則	力弓 忠	藤井 哲夫
福田 悟	福原 育夫	早瀬 源一
雛田谷武志	弘中 正利	細川 茂
伊藤 進	垣原 鉄司	片石 哲男
川原 光男	久野 等	日下 健三
眞野 尅脊	松尾 道義	三上 明德
三浦 孝治	宮内 光則	水野 凡
諸橋 力	村上 淳	村上 利雄
村本 満男	中川 富雄	中里 邦治
中下 修	小原 健栄	小田 和実
大川 健一	大川 和代	大野 良夫
斉藤 茂生	柴田 弘道	清水 明
新川 進	鈴木伊佐男	鈴木 毅
田垣 年啓	高木 薫	高橋 健
高岩 擴	竹内 敏雄	田中 利則
田中 幸正	館内 辰男	堤 由延
内田 信一	山田 邦昭	山澤 興治

**北広島RC**

馬場 信吾	加々見盛幸	加藤 寛治
菊池 重敏	真木 孝男	松本 明美
宮崎 真	宮崎 雅好	野村 直弘

**長沼RC**

天野 敦子	青木 雄一	古川 大之
花輪 博一	池内 昌之	久保 敏雄
政角 勝雄	三輪 崇徳	望月 良典
森下 伸	仲野 勤	佐々木信雄
清水 彰	清水 慧子	下野 勝昭
高木 繁秀	高橋 康子	辻野つね子

**由仁RC**

浅川 徳一	後藤 篤人	蜂谷 光雄
本間 好道	市川由紀男	伊藤 清志
河端 利男	川合 俊雄	大坂 直人
大内 正一	佐藤 勝一	佐藤 修
庄司 弘	高山 宏道	竹田 光雄
吉田 弘幸		

**●第8グループ**

**えりもRC**

荒木 義廣	築紫富美雄	伝法 英司
岩本 溥叙	菊地 竹男	小林 強
西川 一雄	岡崎 晃	佐藤 寿博
新松 隆	菅沼 敏昭	富越 誠也
山田 明	山科 幸一	山内 重保

**三石RC**

明石 秀男	出口 弘史	榎本 恵子
広瀬 静夫	川端 武男	小島 安彦
東城 薫	富永 信	山田 博継
山田 信行		

**様似RC**

郷司 公雄	橋坂 兼雄	久野 俊昭
中村 茂	小野 哲弘	坂本 好則
島田 一省	高木 茂一	田中 正之
山本 康仁		



### 静内RC

嵐 忠一	土井昭五郎	不動 信之
藤本 誠男	福原 義晃	福嶋 尚人
平野井 繁	細川 好弘	市毛 満
池田 征紀	石垣 勝英	岩切 隆夫
上居 久実	蚊野 好美	河田 勝男
近藤 忠義	増本 裕治	松本 道明
見上 糸松	宮内 正寿	長浜 和也
中島 滋	中山弘三郎	能藤 一成
岡本 豊	奥田 隆二	小野寺道春
佐藤 隆司	澁井 郁夫	杉田 清
武岡 大侖	梅庭 泰弘	渡部 正夫
山田 一孝	山口 俊秀	四ツ屋義一

### 浦河RC

阿部 敏彦	秋山 靖典	福士 幹紀
花谷 實	伊藤 正明	木田 尚孝
小林 忠雄	今 朝光	前田 紘陽
三枝 實	三好 吉男	森 啓
奥田 宗夫	大針 道生	大谷 律子
大山 勝美	酒井 乾	蘇田 又栄
園 修	砂原 肇	高杉 保廣
武田 豊	種本 尚志	谷口 克樹
富田 輝次		

## ●第9グループ

### 伊達RC

浅水 勝男	大光 巖	伊藤 金蔵
金本 栄一	堅田 進	川南 忠三
木村 定吉	工藤 賢一	栗原 弘治
栗橋 義徳	栗本 茂生	守谷 保夫
武者 賢一	中井 英光	中嶋 康
新井田 孝	小野寺隆之	笹木 学
菅 俊治	鈴木 啓一	唯木 久彌
辻田 郁哉	山崎 満晴	

### 室蘭RC

濱中 實	平野 和典	岩田 弘志
鴨井 清成	鴨井 清一	菊地 千之
木下 博	北川 一雄	国田 雅弘
前田 迪夫	佐藤 知雄	関村 和義

進藤 勝哉	多田 昌央	田所 邦夫
谷田 康則	横井 則夫	吉澤 政彦

### 室蘭東RC

天谷 富雄	荒井 孝亘	石田 実
小林 進	黒田 秀雄	前田 康博
真柄 優子	佐々木勝男	佐々木健治
芝垣 美男	上田 康郎	矢萩富士雄
寄木 清二	吉田 順治	

### 室蘭北RC

廣瀬 禎	岩本 信平	川本 康裕
熊谷 弘夫	松田 博文	松島 茂
村井 玄乙	中田 孔幸	西尾 静枝
斎藤 泰成	斎藤 義寛	笹谷 豊明
菅原 悦子	附田 博	内池 真人

### 登別RC

有坂 了堅	千葉 泰二	遠藤 秀雄
遠藤 征子	早川 邦雄	伊奈 昭夫
石山 春男	片岡 哲雄	木村 和夫
小西 勝美	工藤 勝雄	草塩 幸子
増田チエ子	松山 哲男	皆川 和廣
宮武 忠史	森川 英雄	守屋 弘
村上 忠雄	仲川 弘誓	中村 栄治
中村 雅	野村 和司	奥山 博之
斎藤 正史	角 哲雄	鈴木 実
高岸 満則	高橋 恒夫	寺島紀子夫
時田 捷司	戸塚 守夫	上田 博子
和田 浩一	和田正二郎	若木日出男
山田 新一	山口 賢治	山口 登
山瀬 隆幸	吉野 洋一	

### 洞爺湖RC

阿野 康春	川南 明則	前谷 休市
皆川 一男	三浦 昭三	高橋 雅記
若木 昭夫		



## ●第10グループ

## 函館RC

遠藤 哲二	藤井 方雄	石塚 龍弥
加賀谷聰徳	木村 弘志	小泉 康祐
今 初弘	久保内康之	工藤 敏夫
國立 金助	黒崎 敏雄	松田 俊司
松村 敏昭	森川 順治	室田 浩三
中村 壮一	中田 泰司	南部 聖一
坂本 修康	佐藤 公郎	柴田 繁男
菅野 剛造	鷲見 好春	竹田 公一
渡邊 兼一	百合 宣博	

## 函館亀田RC

出戸 秀光	堀 好夫	金澤 浩幸
松田 武	沖田 豊	柴田 明知
鹿野 文男	玉井 清治	谷藤 雅司
寺田 真三	山口 勝彦	吉田 孝蔵

## 森RC

出町 英二	橋本 利弘	堀尾 功
岩本豊太郎	梶谷 恵造	金丸 勝善
川村 竹光	木村 英樹	近藤 宣明
松浦 勝	三浦 祐伸	向中野貴夫
村上 正人	長瀬 賢	野田 剛
桜田 伸也	島野 祐司	梅本 勲
渡辺 英明	吉田 好	吉田 豊

## 七飯RC

原子 秀康	石田 勉	加藤 直樹
川尻 英樹	美村 文雄	大竹幸次郎
佐々木 弘	柴田 晴史	菅原 昭
上野 一義	山内 一男	山崎 勲

## 長万部RC

赤塚 繁夫	井上 正範	片山 哲男
片山 幸夫	奥山 勉	大友 伸之
佐々木広美	佐藤 一雄	角 健
高森 治光		

## ●第11グループ

## 江差RC

深見 秀治	神 信雄	前川 敏雄
松原 富郎	小笠原 隆	隅田 秀男
田畑 裕士	横内 文	

## 函館五稜郭RC

蝦名 康夫	後平幸太郎	本間 哲
上出 眞也	川上 誠	川内 淳司
光銭 裕二	今 均	小坂 三男
松本 明	棟方 勝	長雄 唯一
中村 喜憲	中澤 秀雄	能戸 彰
大日向豊吉	菅谷 剛	鈴木 良二

## 函館東RC

明本 修一	古田 清一	林 完治
今井 義憲	門脇 雅夫	小林 眞樹
小泉護太郎	松井 久男	松山 茂
宮崎 裕之	鍋谷 操子	大桃 泰行
佐藤 美子	菅原 憲夫	時田 茂
横岡 孝一	米屋 邦夫	吉田 勤
吉川 達也		

## 函館北RC

石橋 輝夫	北村 祐治	小池 凌一
松見 修二	南木 哲雄	中川 洲平
中野 亮	小笠原 孝	大谷賀津雄
柴崎 晃	高野 彰	藪下 義晴

## 上磯RC

宮澤 生雄	大室 米喜	堺 正英
佐藤 勇二	富田 和史	月舘 久治

## 松前RC

小川 正紀	佐々木伸一
-------	-------

## ●第12グループ

## 白老RC

藤岡 和男	我喜屋 優	服巻 滋之
堀田 仁史	加藤 信雄	川田 憲秀
木戸 正彦	中山 育子	大道 實



砂原 郁子      鈴木 琢磨      田辺 真樹  
手塚 貴志      戸田実津男      和歌 宏侑

### 苫小牧RC

阿部 喜朗      青山 一夫      荒 博  
藤澤 正昭      藤瀬 幸保      原間井 昇  
橋本 洋一      畠山 則繁      畑山 一之  
保利 恒男      市町 峰行      今井 猛  
稲垣 二郎      石田 和文      板谷 剛  
梶川 昇      君嶋 基弘      岸 明男  
今 善幸      今野 陽三      栗田 錦也  
町田 正年      松崎 純男      宮田 昭一  
西川 辰美      小保方伸一      沖 一郎  
尾野 信夫      大森 政代      大下 勲  
佐々木博信      杉山 修二      高杉 俊彦  
田中 正臣      得能 隆      圓谷 敏彦  
渡辺 健治      山口 昭悦      山本 正幸  
山本 淑裕

### 苫小牧東RC

浅川 一臣      浅川 ムツ      川村 義昭  
木村 修      北 裕和      小林 忠男  
児玉 和雄      古宇田 涉      松原 實  
松下 昌平      水元 修治      中野 孝一  
小笠原正男      三小田吉邦      佐藤 正孝  
佐藤 正      関 千代子      菅野 嘉一  
高井 昌機      田中 彰      田仲 勉  
綱木 保利      柳 忠夫

### 苫小牧北RC

阿部 寛      阿部 光一      荒井 捷一  
藤田 信一      古戸 寅雄      伊部 廣明  
石田 貢      伊藤 長英      伊藤祐紀子  
伊藤 竹雄      菊地 芳彦      丸屋 憲一  
中山 佳孝      岡田 秀樹      小野 多七  
高木 一男      高橋 寛      高橋 康則  
田中 稔      谷岡 裕司      土屋 孝人  
矢部 繁      山田 信夫      山田 新一  
山本 雅昭      山崎 正寿

### 千歳RC (ホスト・クラブ)

阿部 悟      阿部登喜子      安達 洋  
安達 トモ      曙 恒平      曙 雅子  
秋元 達也      秋元 正子      浅沼 廣幸  
浅沼まゆみ      浅利 作造      浅利 ユリ  
藤川 昭三      藤川 愛子      藤本 敏廣  
藤本喜美子      藤崎 正敏      藤崎 博美  
藤田 豊      藤田 悦子      藤谷 信弘  
藤谷真佐子      福田 武男      福田 裕子  
古川 勝久      古川 恵理      古谷 眞一  
古谷 典子      服部 隆志      服部あき子  
羽山 昇蔵      羽山喜美代      日向 祥一  
日向 典子      平間 和弘      平間リツ子  
五十嵐 宏      五十嵐キヨ      五十嵐桂一  
五十嵐志貴      今村 静男      今村 恵子  
井上 正雄      井上 優子      伊藤 舜一  
伊藤美恵子      岩佐 俊幸      岩佐アチャラー  
岩崎 暉久      岩崎 康子      梶原 勝  
梶原 弘美      上井 昭一      上井 静子  
加藤 武仁      加藤 政子      川端 清  
川端樹美枝      川下京三郎      川下 豊子  
木村 照男      木村 邦子      喜多 清皓  
喜多カツ子      小林 靖弘      小林 郁瑞  
三ツ扇 健      三ツ扇亮子      溝田 幸和  
溝田真由美      本宮 輝久      本宮美佐子  
村上 正治      村上千枝子      村松 克重  
村松ヒロ子      村田 研一      村田 典子  
長澤 邦雄      長澤多佳子      中本 陽三  
中本日出香      中村 堅次      中村 紀子  
中村清太郎      中村 芳枝      中里 豊  
中里テル子      中山 和朗      中山 博子  
夏山 好一      夏山ハナ子      西 誠  
西 和子      沼山佐太郎      沼山千賀子  
小原 徹夫      小原 淳子      小笠原 良  
小笠原保子      大村 孝男      大村 貴子  
大西 信也      大西 道子      大沼 三郎  
大沼 陽子      尾谷 透      尾谷 美穂  
斉藤 公彦      斉藤 恭子      酒井 宏  
酒井 悦子      佐々木 昭      佐々木美津子  
佐々木金治郎      佐々木モト子      佐藤 秀雄  
佐藤 宏子      末広 孝      末広 京子

菅原 文雄	菅原ミヨ子	高田 昭治	井上 京子	入口 博美	入口 明
高田 文子	高橋 都	高橋 徳夫	波田 信夫	波田 由紀	松坂 敏之
高慶 繁博	高慶美知子	武石 忠俊	松坂 里子	水口 昌仁	水口 恵子
武石 悦子	玉山 敬吏	玉山ひろみ	村井 利行	村井トモエ	村山 順助
丹波 正宏	丹波紀美子	丹治 秀一	村山 恵子	長手 英記	長手 幸江
丹治 菊枝	渡部 淑郎	渡部 純子	西野 文雄	西野 伸子	沼田 常好
谷地田 武	谷地田真理子	山田三重子	沼田 道子	大井 綱雄	大井 祐子
山田 正利	山田 睦雄	山田恵美子	大野 馮	大野 通子	大屋 建一
山本 克郎	山本 順子	横田 義弘	大屋 道子	斎藤 博司	斎藤 清子
横田 弘子			坂井 治	坂井 知子	佐々木俊英

千歳セントラルRC (ホスト・クラブ)

千葉 順吾	土居 栄治	土居 道子	白木 松敏	白木 弘子	須藤 丈
藤本 治康	藤本てる子	深見 浩	須藤 典子	鈴木 昭廣	鈴木美恵子
深見 紀江	羽生 有三	羽生 伴子	多賀 勲	多賀 秀子	田口 廣
羽芝 涼一	羽芝 優子	井上 英幸	田口 路子	高塚 信和	高塚 弘美
			竹原 孝	竹原真理子	和田 次彦



## 2002-2003年度 国際ロータリー第2510地区 地区資金収支決算書

### ■一般地区資金

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	12,330,687	12,330,687	0	
2. 一般地区資金 上期@4,430 ※	15,948,000	15,318,940	629,060	上期 3,458人
同 上 下期@4,430 ※	16,169,500	15,372,100	797,400	下期 3,470人
3. RI助成金	2,400,000	2,833,888	△ 433,888	
4. ガバナー月信購読料	4,080,000	3,770,300	309,700	1部 100円
5. 雑収入	100,000	129	99,871	預金利息
6. 地区大会繰入金	0	6,096,197	△6,096,197	
収入合計	51,028,187	55,722,241	△4,694,054	

※2001 - 2002年度は上期@4,120 下期@4,120となっており、2002 - 2003年度はそれぞれ@310  
ずつ増額しております。

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費	500,000	500,000	0	
2. ガバナー記念費	200,000	200,000	0	
Aの部 小 計	700,000	700,000	0	
B. 助成金				
1. 地区協議会費	800,000	800,000	0	
2. 都市連合会 (IM)	720,000	880,000	△ 160,000	11グループ×@80,000
3. 会長エレクト研修セミナー(PETS)	400,000	400,000	0	
4. 地区リーダーシップセミナー	100,000	0	100,000	
5. 分区分協議会 (グループ協議会)	350,000	350,000	0	地区チーム研修セミナー
Bの部 小 計	2,370,000	2,430,000	△ 60,000	
C. 負担金				
1. ガバナー会	700,000	692,800	7,200	(上期3,458+下期3,470)×@100
2. 日本ロータリー文庫	1,050,000	1,039,200	10,800	(上期3,458+下期3,470)×@150
Cの部 小 計	1,750,000	1,732,000	18,000	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会	500,000	0	500,000	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	602,082	△ 102,082	全4回+臨時1回
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	0	2回+新旧引継会議
4. 地区委員長会議	400,000	218,842	181,158	新旧引継会議
5. 地区研修リーダー会議	30,000	0	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	50,000	50,000	0	
7. 地区情報委員会	150,000	111,080	38,920	
8. 地区広報委員会	150,000	75,000	75,000	
9. 地区雑誌(ロータリーの友)委員会	30,000	28,722	1,278	新設
10. 地区IC委員会	30,000	30,000	0	新設
11. 地区拡大委員会	30,000	4,620	25,380	



科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	0	地区会員増強委員長会議
13. 地区職業奉仕委員会	100,000	100,000	0	
14. 地区社会奉仕委員会	120,000	120,000	0	
15. 地区家庭奉仕委員会	120,000	24,411	95,589	新設
16. 地区新世代委員会	100,000	50,000	50,000	
17. 地区ライラ委員会	30,000	30,000	0	
18. 地区インターアクト委員会	150,000	150,000	0	
19. 地区ローターアクト委員会	150,000	150,000	0	
20. 地区国際奉仕委員会	100,000	100,000	0	
21. 地区世界社会奉仕委員会	150,000	150,000	0	
22. 地区青少年交換委員会	500,000	500,000	0	
23. 地区親睦活動委員会	30,000	27,720	2,280	
24. 地区友情交換委員会	30,000	30,000	0	新設
25. 地区ロータリー財団委員会	50,000	0	50,000	
26. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	0	
27. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	0	
28. 地区GSE委員会	50,000	50,000	0	
29. 地区財団増進委員会	50,000	0	50,000	
30. 地区補助金委員会	20,000	20,000	0	
31. 地区米山記念奨学金委員会	50,000	27,883	22,117	
32. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	0	
33. 地区財務委員会	30,000	0	30,000	
34. オン・ツー・ブリスベン委員会	50,000	50,000	0	
35. 意義ある業績賞選考委員会	30,000	0	30,000	
36. その他委員会	100,000	42,538	57,462	子ども奉仕委員会設立準備会議
37. 予備費	140,000	0	140,000	
Dの部 小 計	5,000,000	3,722,898	1,277,102	
E. 旅費				
1. ガバナー会	150,000	98,420	51,580	
2. パストガバナー会	500,000	566,160	△ 66,160	
3. ロータリー研究会	1,000,000	1,430,280	△ 430,280	
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	164,760	△ 14,760	
6. 全国地区連絡会議	400,000	623,260	△ 223,260	会員増強、青少年交換、R財団、青少年育成3回、DICO
7. その他会議	200,000	153,160	46,840	青森会議
Eの部 小 計	3,100,000	3,736,040	△ 636,040	
F. ガバナー事務所費	13,600,000	11,730,873	1,869,127	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	0	
H. ガバナー月信発行費	4,300,000	5,994,980	△1,694,980	うち広告収入766,325円
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	820,559	179,441	
J. 地区文献資料室費	1,900,000	1,730,013	169,987	
K. 総予備費	177,500	0	177,500	
L. 臨時支出金				
支 出 合 計	38,697,500	37,397,363	1,300,137	
次期繰越金	12,330,687	18,324,878	△5,994,191	
総 計	51,028,187	55,722,241	△4,694,054	



## 特別地区資金

## 〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	8,839,736	8,839,736	0	
2. 特別地区資金 上期@4,120 ※	14,832,000	14,246,960	585,040	上期 3,458人
同 上 下期@4,120 ※	15,038,000	14,296,400	741,600	下期 3,470人
3. 雑収入		530,053	△ 530,053	預金利息、WCS委員会への寄付金53万円
収入合計	38,709,736	37,913,149	796,587	

※2001 - 2002年度は上期@4,430 下期@4,430となっており、2002 - 2003年度はそれぞれ@310ずつ減額しております。

## 〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	7,612,500	7,612,500	0	会員1人あたり@2,100
2. 地区協議会	3,625,000	3,625,000	0	@1,000
Aの部 小 計	11,237,500	11,237,500	0	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	1,812,500	1,812,500	0	@500
2. 地区ローターアクト事業費	2,465,000	2,465,000	0	@680
3. 地区新世代活動事業費	1,275,000	1,275,000	0	ライラ委員会含む
4. 地区青少年交換事業費	6,525,000	6,525,000	0	@1,800
5. 地区世界社会奉仕事業費	2,283,750	1,728,329	555,421	@630
6. 地区財団奨学生事業費	652,500	641,735	10,765	@180
7. 地区GSE事業費	1,776,250	3,728,538	△1,952,288	@490
8. 地区財団学友事業費	217,500	217,500	0	@60
9. その他の事業費	652,500	1,430,186	△ 777,686	社会奉仕40万、米山学友5万、ワークショップ5回分980,186円
10. 世界平和奨学金事業費	100,000	100,000	0	
11. 予備費	872,500	0	872,500	
Bの部 小 計	18,632,500	19,923,788	△1,291,288	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. 臨時支出金	0	0	0	
支出合計	29,870,000	31,161,288	△1,291,288	
次期繰越金	8,839,736	6,751,861	2,087,875	
総 計	38,709,736	37,913,149	796,587	

第2510地区資金次期繰越金

(単位：円)

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一般地区資金	12,330,687	43,391,554	55,722,241	37,397,363	18,324,878
特別地区資金	8,839,736	29,073,413	37,913,149	31,161,288	6,751,861
合 計	21,170,423	72,464,967	93,635,390	68,558,651	25,076,739

ガバナー事務所費の内訳細目

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 額	摘 要
1. 給与手当	3,300,000	3,668,412	△ 368,412	常勤事務員給与、臨時事務員アルバイト代
2. 家賃・光熱費	900,000	275,000	625,000	事務室料分担金
3. リース料	500,000	377,395	122,605	パソコン、コピー機
4. 事務用品費	1,000,000	131,294	868,706	
5. 印刷費	1,200,000	924,787	275,213	封筒・便箋印刷、コピー
6. 登録料など負担金	50,000	50,000	0	
7. 会議費	800,000	593,409	206,591	地区幹事会ほか
8. 通信費	900,000	959,795	△ 59,795	電話・FAX使用料、送料
9. 旅費交通費	500,000	430,100	69,900	
10. 渉外費	900,000	890,614	9,386	祝儀・香典・食事代ほか
11. 資料費	500,000	646,668	△ 146,668	役員名簿、第4・5グループIMビデオ
12. 備品費	300,000	89,540	210,460	看板取付・取替料
13. 地区要覧費	700,000	900,000	△ 200,000	作成費、送料
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	1,200,000	0	12名×@100,000
15. 雑費	600,000	593,859	6,141	振込手数料ほか
16. 予備費	250,000	0	250,000	
合 計	13,600,000	11,730,873	1,869,127	



## 2002-2003年度 国際ロータリー第2510地区 地区年次大会収支決算書

### ■一般地区資金

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
登録料	27,450,000	25,859,000	会員 1,749名×13,000円=22,737,000 家族 30名×10,000円= 300,000 青少年 68名×5,000円= 340,000 晩餐会 195名×10,000円= 1,950,000 ゴルフ 76名×5,000円= 380,000 囲碁 38名×4,000円= 152,000
地区分担金	8,312,500	8,312,500	一般地区資金 700,000 特別地区資金 7,612,500
雑収入	1,130,000	756,295	御祝儀 470,000 GSE参加費 120,000 寄付 (ゴルフ) 25,000 寄付 (囲碁) 20,000 出店料 60,000 ユニセフチャリティ募金 61,252 預金利息 43
地区繰越金		984,331	
収入合計	36,892,500	35,912,126	

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
総務委員会	8,100,000	5,482,020	事務経費 1,274,625 人件費753,600 事務室料111,000 事務封筒他410,025 会議費 798,897 試食会71,500 昼食代52,080 飲食費15,730 会議費659,587 印刷費 1,722,840 プログラム904,050 リーフレット他750,330 コピー68,460 企画運営費 966,000 ログ・スローガン231,000 マニュアル企画577,500 シナリオ157,500 通信費 97,905 郵券37,740 電話60,165 その他雑費 560,501 ガバナー記念品300,000 送料・手数料7,560 雑費252,941 ユニセフ寄付 61,252
会場委員会	5,500,000	5,054,752	会場使用料 2,059,102 大ホール1,519,402 ホテル539,700 会場美術費 2,995,650 会場看板他2,571,345 美術デザイン315,000 花他109,305
表彰・追悼	550,000	441,971	表彰品費 378,971 フォトフレーム他378,971 追悼費 63,000 追悼ビデオ63,000
式典・プログラム	2,050,000	1,778,566	記念講演 1,281,866 講師講演料1,055,555 源泉111,111 航空券他115,200 記念フォーラム 250,000 パネリスト車代250,000 アトラクション 246,700 二期会御礼100,000 機器リース107,100 山田会員御礼他39,600



科 目	予 算 額	実 績 額	摘 要	
食事委員会	11,250,000	10,854,000	晩餐会 1,554,000 懇親会 8,700,000 会場飲物 600,000	
接待委員会	500,000	622,945	R I 会長記念品300,000 食事代235,932 お土産87,013	
登録増強委員会	800,000	689,626	名札他 366,576 登録増強費 323,050	名札304,500 リボン他62,076 ポスター253,050 登録推進費70,000
登録宿泊委員会	1,000,000	491,120	旅費 306,300 宿泊費 184,820	厚生年金45,800 ロイトン260,500 講師打合せ122,000 タクシー代62,820
エクスカーション	300,000	40,500	市内観光 40,500	ハイヤー代40,500
ゴルフ委員会	750,000	756,508	景品445,729 飲食287,962 その他22,817	
囲碁委員会	400,000	292,961	景品92,245 飲食159,499 その他41,217	
記録委員会	3,400,000	3,280,510	記念誌 2,633,000 ビデオ撮影 574,694 発送費 72,816	記念誌作成費2,583,000 記念講演テープ起こし50,000 写真撮影238,694 ビデオ撮影ダビング336,000 ビデオ送料23,955 記念誌送料48,861
音楽委員会	50,000	30,450	ピアノ他	
緊急救護委員会	30,000	0		
予備費	2,212,500	0		
支出合計	36,892,500	29,815,929		
余 剰 金		6,096,197	一般地区資金へ繰入れ	



2002-2003年度 国際ロータリー第2510地区

## 地区協議会収支決算書 (2003.4.19) 千歳市民文化センター ホストRC：千歳セントラルRC

〈収入の部〉 (単位：円)

科 目	実 績
一般地区資金	800,000
特別地区資金	3,625,000
合 計	4,425,000

〈支出の部〉 (単位：円)

科 目	実 績	科 目	実 績
総務委員会	720,660	資 料 費	300,741
接待委員会	450,355	雑 費	103,112
会場委員会	1,850,132		
記録委員会	1,000,000	合 計	4,425,000

以上の通り報告致します。

2003年9月1日

地区協議会実行委員会

会 計 井 上 英 幸

## 2004年国際大会地区協力金

(単位：円)

科 目	収 入 金 額	支 出 金 額	備 考
上期@1,000×3,458名	3,458,000	3,458,000	2002.12.17振込
下期@1,000×3,470名	3,470,000	3,470,000	2003. 6.26振込
合 計	6,928,000	6,928,000	

## 第1. 決算書注記

1. 地区資金クラブ負担金の収受に係る地区内会員数は、次のとおりです。

- (1) 会員数 上期 3,458名 下期 3,470名
- (2) 会員一人当り負担額
  - 上期 一般地区資金 4,430円
  - 特別地区資金 4,120円
  - 下期 一般地区資金 4,430円
  - 特別地区資金 4,120円

2. ガバナー月信購読料 1部 100円  
(13回発行、有料購読者3,141名)

3. 予算額を上回った科目および支出超過科目には△を付記しました。

## 第2. 資金区分概要

1. 一般地区資金

(1) 収入の部

①地区内会員数の減少(予算比:上期142名、下期180名)のため、会員負担金収入は予算に対比して下記の通り減収となりました。

上期 629,060円

下期 797,400円 合計 1,426,460円

②地区大会の余剰金6,096,197円は収入として一般地区資金へ繰入れました。

③前期繰越金は予算、決算とも前年度決算確定額で計上しております。

(2) 支出の部

①ガバナー事務所費は、予算に対し1,869,127円削減することが出来ましたが、ガバナー月信発行費は広告収入で補填しても1,694,980円の支出超過となりました。

②一般地区資金の支出規模は予算38,697,500円に対し、決算は37,397,363円であり総体として予算の範囲内の支出になっております。

上記の結果、収入合計55,722,241円から支出合計金額37,397,363円を差し引いた18,324,878円を次期に繰越しました。

2. 特別地区資金

(1) 収入の部

①会員数の減少により特別地区資金も下記の通り予算に対し減収となりました。

上期 585,040円

下期 741,600円 合計 1,326,640円

②地区世界社会奉仕事業費の一部の支出につき疑義が生じたため、特別寄付金を募り収入としました。寄付金収入530,000円は雑収入として計上され、次期へ繰越されません。

③前期繰越金は予算、決算とも前年度決算確定額で計上しております。

(2) 支出の部

①地区GSE事業費は今年度GSEが行われ支出超過となりました。また、その他の事業費も支出超過となっておりますが、予備費の範囲内での超過となっております。

②特別地区資金の支出規模は予算29,870,000円に対し、決算は31,161,288円であり1,291,288円の支出超過となっております。

上記の結果、特別地区資金の収入合計金額37,913,149円から支出合計金額31,161,288円を差し引いた6,751,861円が次期繰越金となりました。

## 地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出します。

2003年9月11日

国際ロータリー第2510地区

2002-2003年度

財務委員会委員長 杉 下 清 次

## 地区資金収支決算書監査報告

別紙の地区資金収支決算書について監査の結果、適正であると認めます。

2003年9月11日

国際ロータリー第2510地区

2001-2002年度

ガバナー 岩 城 秀 晴

## 地区大会実行委員会名簿

### 役員

ガバナ一	佐藤秀雄
地区幹事	坂井治
ホストRC会長	佐々木昭
	大野馮
大会実行委員長	浅利作造
副委員長	村上正治
	丹治秀一
幹事	佐々木金治郎
副幹事	古谷真一
	曙恒平
	村田研一
会計	谷地田武
S A A	横田義弘

### 実行委員

<b>総務委員会</b>	◎佐々木 金治郎
	○服部 隆志
	西 誠
	大西 信也
<b>会場委員会</b>	◎古谷 真一
	○藤崎 正敏
	井上 正雄
	平間 和弘
	夏山 好一
	喜多 清皓
	山田 三重子
	日向 祥一
	五十嵐 桂一
	藤田 豊
	丹波 正宏
	渡部 淑郎
	伊藤 舜一
	玉山 敬吏
	梶原 勝
	菅原 文雄
	大村 孝男
	小原 徹夫

### 懇親委員会

	今村 静男
	安達 洋
	加藤 武仁
◎	村田 研一
○	秋元 達也
	岩崎 暉久
	高橋 都
	川下 京三郎
	中山 和朗
	三ツ扇 健
	阿部 悟
	溝田 幸和
	五十嵐 宏
	藤本 敏廣
	川端 清孝
	山本 克郎
	小林 靖弘
	小笠原 良
	中本 陽三
<b>S A A委員会</b>	◎藤谷 信弘
○	村松 克重
	大野 馮
	山田 睦雄
	大沼 三郎
	斉藤 公彦
	沼山 佐太郎
	藤川 昭三
	玉山 敬吏
	中山 和朗
<b>登録委員会</b>	◎曙 恒平
○	井上 英幸
	古川 勝久
	中里 豊
	入口 博美
	大井 綱雄
	大屋 建一
	汲 田 信夫

斎藤博司  
 佐々木俊英  
 佐藤文雄  
 白木松敏  
 鈴木昭廣  
 須藤丈  
 高塚信和  
 多賀勲  
 田口廣  
 竹原孝  
 千葉順吾  
 土居栄治  
 長手英記  
 西野文雄  
 沼田常好  
 羽芝涼一  
 羽生有三  
 深見浩  
 藤本治康  
 松坂敏之  
 水口昌仁  
 村井利行  
 村山順助  
 和田次彦  
 千歳ローターアクト  
 中澤 啓会長 他全会員

広報記録委員会

◎本宮輝久  
 ○谷地田武  
 岩佐俊幸  
 西誠  
 三ツ扇健  
 高田昭治  
 中村清太郎

救護委員会

◎長澤邦雄  
 ○浅沼廣幸  
 尾谷透

ゴルフ委員会

◎大屋建一  
 ○曙恒平  
 上井昭一  
 五十嵐宏  
 佐々木俊英

竹原孝  
 羽芝涼一  
 松坂敏之  
 五十嵐桂一  
 大村孝男  
 小原徹夫  
 羽山昇藏  
 千歳ローターアクト会員

囲碁委員会

◎藤田信一  
(苫小牧北RC)

司会進行

◎横田義弘  
 ○酒井宏  
 古谷真一  
 村田研一

※ ◎委員長 ○副委員長



## 編集後記

千歳市で初めて開催されました地区大会はお陰様で多くのロータリアンの皆様にご好評を頂き無事終了することができました。

第7グループ、両ホストクラブは佐藤ガバナーを始めとして、大任を果たした喜びと感動にひたっているところであります。

さて、私たち広報・記録委員会はこの感動をどういう風に正確に、読みやすく、楽しい記録として残していくかに頭を悩ました。

しかし、如何せん、素人集団ですので特別な妙案が湧く筈もなく、やはり記録を正確に残すということを主眼に、ひたすら労力を重ねて参りました。

従いまして、出来上がりは少々泥臭くなったかも知れませんが、皆様のご期待に沿わない部分もあるかも知れませんが、ロータリーの友情に免じてお許し頂きたいと思えます。

誤字、脱字、文章の校正には充分注意をしたつもりですが、漏れ、誤り等がありました節は何卒ご寛恕下さい。

本誌作成に当たりましては多数の関係者の皆様に、テープ起し、原稿の提出や事前チェック等で大変ご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。

心から感謝を申し上げます。

### 広報・記録委員会

本 宮 輝 久

谷地田 武

岩 佐 俊 幸

西 誠

三ツ扇 健

高 田 昭 治

中 村 清太郎

2003～2004年度国際ロータリー第2510地区 地区大会記録

---

発行日 2004年5月  
発行者 第2510地区大会実行委員会  
千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ  
編集 第2510地区大会記録 広報・記録委員会  
印刷 千歳印刷株式会社

---



Lend a Hand